臺灣日日新報 夕刊

一月十三日

夕刊定價一部式錢

發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社 [illegible]

東京支局 大阪支局 [illegible]

山海關の奪還と熱河固守に決す

蔣介石、四十萬の兵を動員

◇…但し、支那側よりの情報

【天津十二日發電通】支那側よりの情報に依れば蔣介石は積極抗日を決意し北支軍隊に總動員を命じ四十萬の抗日軍を以て山海關を奪還し熱河を固守するに決した、この抗日軍の編制は學良軍十五萬、湯玉麟軍十萬、宋哲元軍四萬、孫殿英軍四萬、商震軍三萬、龐炳勳軍三萬、高桂滋軍二萬等で武器彈藥は中央より支給する事となつてゐる、尙山西軍と韓復榘軍は豫備軍として後方を守ることとなつた

商、龐兩軍灤河方面へ

【天津十二日發電通】十一日來天津を通過し灤河方面に向つた十二列車は商震軍と龐炳勳軍を搭乘せしめてゐたこと判明した、平漢線順德高邑にあつた龐炳勳軍殘部も既に北上を開始し十二日夜天津を通過する豫定尙龐軍は灤河附近に集結の豫定

熱河の僞勇軍全軍に通遼攻撃の命令下る

舊正月前にーと、朱總指揮から

【奉天十二日發聯合】僞勇軍總指揮朱慶瀾は開魯附近の熱河僞勇軍全軍に對し舊正月前出來得れば新曆一月二十日前に通遼を攻撃すべしと命じた

湯玉麟も行動開始を命令

【奉天十二日發聯合】熱河省主席湯玉麟は數日前學良の命をうけ馮占海、大刀會匪その他約三萬をして開魯より通遼方面に行動を開始せしむる樣命令を發した

茂木、三宅の兩部隊が永安堡を攻撃して占據

鄭桂林は省境の山中に逃走

【錦州十二日發聯合】十一日早朝に行動を起した茂木部隊、三宅部隊の主力は十二日午前十一時三十分僞勇軍鄭桂林軍の根據地永安堡を攻撃し之を占據した、鄭桂林は逸早く省境の山中に逃走したので我が飛行機〇機はこれの徹底的爆撃を敢行した

三宅〇隊一二百の匪軍を撃退

【山海關十二日發電通】三宅〇隊は十一日午前十一時頃[illegible]北方約一里[illegible]の匪賊約二百を北方に撃退し十二日引續き四方面の匪賊討伐に出動し[illegible]に閉ざされた[illegible]前進中

鄧文軍一千開魯に侵入す

【新京十二日發電通】諜報入電に依れば四洮線を爆破し熱河省に入れる李海青軍五千中鄧文の一千は開魯城内に侵入して不穩の形勢あり、城内大混亂を來しつつあり、湯玉麟は學良の命に依り馮占海、李海青の部下三萬に開魯より省境を越え通遼方面に移動を命じた

學良は内實逃げ腰

フランス亡命の準備中らしい

【新京十二日本社特電】學良は[illegible]大軍を配備し徹底的抗日をなし一戰を辭せずと稱しゐるも、諸地點の著電によれば學良は着々[illegible]を整へつつあるが、日軍に對する[illegible]なく[illegible]をたててその貴重品財寶を秘かにフランス銀行へ送りつつあり、之によりて見るに學良は最後の逃路を[illegible]しフランス亡命の[illegible]準備をなしをるものの樣である

預け先のない博物館の寶物

北平で早手廻しの荷造

【新京十二日發本社特電】山海關事件勃發するや日軍が一氣に平津[illegible]を決定するのではないかと[illegible]し[illegible]努力をした北平の古宮博物院では院長易培基指揮の下に寶物を一齊に[illegible]之を[illegible]の[illegible]として[illegible]を[illegible]に[illegible]たが[illegible]するかの[illegible]になつてどの[illegible]に[illegible]けても[illegible]に手[illegible]する[illegible]になるので院長すつかり[illegible]、山海關事[illegible]假を中心に古宮の寶物の置き場所に困惑してゐる

日軍を撃退

支那の嘘八百

【南京十二日發本社特電】南京政府は國民に對する宣傳の立前から左の如き[illegible]の公式發表をなした

九門口の日軍は昨日我軍の[illegible]二日に亘る戰鬪の結果同地から駆退された

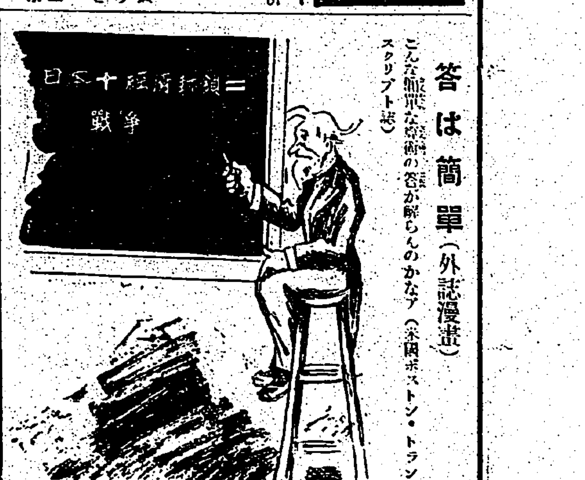
銘酒 白鹿

昨今の國民政府

物々しき緊張振り

最後的國策決定か

【南京十二日發本社特電】廣東派首領[illegible]は十一日朝[illegible]法院に[illegible]し[illegible]に[illegible]しここに蔣介石との提携完全に實現した、目下その[illegible]が國府の外交方針に如何に影響するかは[illegible]が[illegible]石を中心に各要人の動き頻繁を極め最後的國策決定近きを思はしむ、[illegible]介石は昨朝宋子文、何應欽、羅文幹、陳立夫の四氏を[illegible]に招き[illegible]する所あり、次いで外交次長[illegible]の北上となり更に何應欽は今朝[illegible]に[illegible]する[illegible]國府は物々しき緊張振りを見せてゐる



答は簡單（外誌漫畫）

こんな簡單な[illegible]の答が解らんのかなア（米國ボストン・トランスクリプト誌）

上海の排日又も惡化

山海關事件の餘波

【上海十二日發聯合】山海關事件[illegible]發生以來上海に於ける日貨排斥氣運が濃厚となりつつあり一時[illegible]んに取引が行はれつつあつた日本品も支那商人側の手控へから新年明け以來全く不振を極めてゐるが上海市商會では十二日全市各業工會に對し永久に日貨を排斥すべしとの通牒を發した、北の[illegible]は單に日貨の排斥に留まらず進んで排日運行にまで悪化しつつあり特に通學中の日本人小學校兒童及び女學生に對する[illegible]行爲[illegible]我[illegible]局は工部局及び支那側[illegible]局の注意を喚起したので此[illegible]より[illegible]取締に[illegible]の注意を拂つてゐる

北支在留英人の保護を希望

英大使リンドレー氏外相と會見

【東京十三日發電通】英大使リンドレー氏は十二日正午本因政府の訓令に基き內田外相を訪問し北支那には秦皇島、開灤炭鑛その他各地に英國人多數あり萬一今後北支にて日支兩軍衝突せば此等在留英人の生命財産を保護されたいと英政府の希望を開陳した

日本側幕營內で日支代表會見

英海軍士官立會て

【秦皇島十二日發聯合】在山英軍[illegible]オークストン[illegible]長の日支[illegible]支[illegible]に對し我方は支那[illegible]代表者との會見に[illegible]ず支那[illegible]を[illegible]かめ[illegible]る事となり、英[illegible]は英軍[illegible]を會見場所として提供して來た、然し結局日支會見は本日午後日本[illegible]內・英海軍士官立會の下に[illegible]長と[illegible]代表[illegible]に行はれ[illegible]の間に先づ[illegible]が[illegible]されたが內容は[illegible]されない併し今後更に交涉[illegible]の

南京政府が日本を讒訴

匪賊事件議定書の調印國に

【南京十二日發聯合】南京政府外交部に十日山海關事件に關し[illegible]事件の一九〇一年議定書調印國たる米、英、佛、伊、スペイン、オランダの諸國に同文覺書を送り[illegible]注意を喚起した[illegible]十一日午後[illegible]

伊太利兵を支那軍が狙撃

秦皇島に向ふ途中

【天津十二日發聯合】駐屯軍司令部發表に依れば十二日午前十時伊太利兵四名は支那人三名と山海關より秦皇島に向ふ途中石河西方地點で支那軍の狙擊を受け支那人三名はやつと逃れたが他の四名は行方不明となつた

伊國兵一名行方不明

三名は歸來す

【天津十二日發電通】駐屯軍司令部發表　十二日午前十時イタリー兵四名山海關より秦皇島に向ふ途中支那兵に射擊され、內三名辛うじて歸來、一名行方不明となる

[illegible]から途に[illegible]した

羅國內閣辭職

【ブカレスト十二日發電通】ルーマニア內閣は內相と憲兵司令の[illegible]

西國の暴動擴大

ソ政府樹立に進展

【マドリッド十二日發電通】去る八日カタロニア地方に勃發したスペイン無政府主義者の暴動にその後ヴァレンシア地方にも擴大し一部暴民に依るソヴエット政府樹立にまで發展したが、本日まで判明した處、官憲側の死者五十五名、[illegible]七十名である

基隆旭橋の起工式

【基隆電話】基隆驛前通り旭橋の[illegible]は本年度[illegible]として[illegible]押し詰まつて請負入札を行ひ同十二月十五日より[illegible]工事著手中の所、一月十三日午前十時[illegible]の中の同工場に於て神式による[illegible]起工式を擧行[illegible]の式から所定の順序で[illegible]市尹、松木[illegible]長、小[illegible]府技師、近江、山內諸氏の[illegible]式を閉ぢ引續き公會堂に於て[illegible]やかなる[illegible]を開催し正午解散した、同工事は上部下部に分ち[illegible]は東洋コンプレスソル會社、[illegible]は基隆市[illegible]の各部分工事でその總工費八萬五千圓、アーチ型で人道車道を區別し[illegible]長さ十五間の新式のものである

吉野丸十三日神戸に入港

【神戸十三日發本社特電】吉野丸は十三日早朝入港したが議會に出席の岡田財務局長[illegible]に內務者に於ける[illegible]會議に出席の森田衛生課長等[illegible]く[illegible]氏は此の會議に列席するのは[illegible]から初めてであるが[illegible]務的打合が主で全國的に統一して[illegible]防を圖らうと云ふにあるのだらうと思ふ

內鮮直通電話の開通式

十四日に擧行

【京城十二日發本社特電】[illegible]中の內鮮直通電話開通式は一般開通を前に十四日午前十時より擧行される

占領し、無辜の市民數千が[illegible]し、其財産に莫大の損害を被らしめたのみならず、更に大軍を山海關及び北寧沿線に集注してゐる、斯る事情の下で支那政府は日本の侵略を抗拒すべき正當の權利に基づく支那側防禦の行動・其因する總ゆる事態に對し法律上事實上から責任を負ふ事は出來ない

紐育市況（十二日發電通）

株式引緩む　當地株式市況は小麥相場の軟調に引摺られて引緩み引際値下りユー・エス・スチール株八分七安の三〇弗八分一、アナコンダ銅株[illegible]分一安の八弗

米棉保合　米棉は朝[illegible]一時[illegible]五〇仙の値上りを見せたが株式、小麥の軟調に伴れて引緩み引値は保合乃至三ポイント安（[illegible]）

銀塊[illegible]　米日銀塊[illegible]二〇弗八平均一〇[illegible]安

[illegible]一仙四分一と一八仙四分三[illegible]

市俄古小麥低落

【シカゴ十二日電通】小麥引值は大豐一仙安、低落の一因に東洋紙がオーストリア小麥三七〇〇萬ブッシエルを購入したとの說傳つた爲め

人事

▲赤[illegible]氏（[illegible]）十三日[illegible]　十四日[illegible]

何陋庵主人

動靜[illegible]

[illegible]

その日その日

〇支那を現在の樣に増長させて日本と[illegible]させたのは、或る點まで國際聯盟や九ヶ國條約のしわざ

〇不動のカナ縛りで大國は何も出來ぬからヤレ〳〵と云つて[illegible]日を[illegible]けて來たのが今迄のおシナさん

〇十六日からの十九國委員會ヤソレに次ぐ總會では、今日迄の[illegible]ほしに支那を押へて日本と握手させる事だ、ソレ以外に方法はない

〇早く和[illegible]して安定を得たいのは山々だが、身の程知らぬ支那國內の[illegible]論に引摺られ政府グニャ〳〵

〇之が支那最大の惱み、政府が力を以て[illegible]取締に成功する迄は日支國交は回復できぬ

〇不[illegible]の子[illegible]に、[illegible]の[illegible]を[illegible]み直せとお[illegible]を願ひたい

〇名門や[illegible]の子から左[illegible]分子が時々飛び出す、[illegible]化の[illegible]皮肉でいらつしやる

〇[illegible]決主義の解決に[illegible]が熱心とは[illegible]

〇「反[illegible]」のない[illegible]は一つだ、[illegible]づくめなんだ

〇[illegible]車事故で子[illegible]父兄の責も重い、[illegible]てゐる間は事故[illegible]

進へ

▲河村木社長[illegible]十三日夜行にて[illegible]南及び[illegible]

▲小川[illegible]一氏（大阪小川商店社長）十三日內地へ

▲横山長七氏（[illegible]）十三日來北（鐵道ホテル）

▲山西[illegible]氏（[illegible]）中南部出張中のところ十二日歸[illegible]

▲宮島[illegible]氏（[illegible]）十三日朝日丸[illegible]

無絃琴

[illegible]三十日[illegible]三十分[illegible]ごろ何[illegible]四名の支那人が、日本商品を取扱ひ運搬した行爲が救國運動に違反するといふ理由の下に[illegible]及院在武官から[illegible]に[illegible]にも拘らず途に[illegible]局の手によつて[illegible]された事件は南支で可なり[illegible]をしてゐる[illegible]形代表は支那に死刑[illegible]やらだ▲一商[illegible]ネ人にでは支那國法何れにありや[illegible]を得ない、そして日本商品を取扱ひ又に運搬した行爲だけで之を國家[illegible]したなどは何者にネ人における[illegible]代表の[illegible]を[illegible]したものと[illegible]はねばならない▲且つ之は明かに通商[illegible]違反である事のみならず人道上よりみても世界人類の[illegible]し[illegible]べからざる[illegible]まりなき行爲と云はざるを得ない[illegible]く[illegible]の[illegible]で[illegible]に[illegible]で[illegible]とい[illegible]國が出[illegible]國[illegible]あるかを人いに[illegible]めねばならぬ[illegible]の[illegible]人道に大いに[illegible]てゐるだらう[illegible]

少年航空兵の死

(3)

桃井京次作

淺枝次朗畫

美しき姉弟（三）

美智子が士官につれられて這入つたのは、飛行〇聯隊の將校集會所である。建物の內部は、ひどく明るい[illegible]がともつてゐた。廊下を一曲り二曲りする間に、撞球部屋もあつた。小さい[illegible]會ぐらゐ出來さうな[illegible]室もあつた。だが加藤中尉は、彼女を導いて、結局、その建物を內部から突きぬけて、西の裏口の階段へ立つたのである。

——未だ、二十分ばかり時間がありますが……ひとつ何うですか……と加藤中尉は、腕時計から美智子の[illegible]へ眼をうつしながら、續いて言つた。

——[illegible]隊で向かつてゐる少年航空兵の、運動競技を、お眼にかけませう。今日は[illegible]組に分けて、野球とホッケーとラグビーとを、やらせてゐるのです。[illegible]女はラグビーは？お好きですか？

多いと、やがて[illegible]をする軍人の士官に、明るく[illegible]いて來る。いや本當に、然うですよ。私も、ラグビーと云ふ競技に現はれる、あの[illegible]な精神が大好きで、ここの生徒達にもそれを[illegible]で、やらせたのが、側まりでしたよ。ほら、[illegible]のグラウンドで[illegible]。やつてる[illegible]でせう？

——まあ……！あれが……？

——然うです、あの中に弟さんが居る筈です。ええと、ほら、今オフサイドの反則をやつた生徒の、右へ二人目。黑帽をかぶつた組の、T・Bの[illegible]です。あれが生田生徒だ。

——まあ！あ、然うらしう御座いますわ。あら本當、あれが弟ですわ！

美智子は、少し夢中になつて、自分の一人の弟を、その弟と敵になり又は味方になつて駈けめぐる[illegible]を、美しくみはつた眼で追

つた。[illegible]、下士官らしい審判者の[illegible]笛が鳴る。そのたびに[illegible]方二十人ばかりの[illegible]者の[illegible]或はスクラムを組み或は[illegible]やうに[illegible]、[illegible]しては[illegible]ふ有樣、それは、[illegible]いが、[illegible]る[illegible]黑々として[illegible]火のやうな[illegible]か[illegible]で[illegible]いか。

そのうちに、[illegible]が一と[illegible]吹き鳴らされたと[illegible]。一同の運動が[illegible]と止んだ。

——[illegible]！もう[illegible]と外の[illegible]行つてる[illegible]を見に[illegible]んな[illegible]に[illegible]少し[illegible]

加[illegible]中尉が[illegible]して[illegible]し[illegible]見る[illegible]方から[illegible]の[illegible]が[illegible]して來て、[illegible]一[illegible]されない[illegible]に[illegible]る。それが[illegible]いて[illegible]となつた。五分間か七分間の[illegible]手[illegible]大人も及ばぬ[illegible]たる[illegible]ばせ、[illegible]の若[illegible]の[illegible]ない[illegible]

——ラグビーを御存じいますか？姿まだよくルールが分からないのですけれど、見るのは大好きです。

美智子はさう言つて正直に答へた。——ほう、そりや結構。生田生徒は、このテニスコートの左り向ふにある運動場で、ラグビーをやつてる筈ですから、それでは其處を見に行つて[illegible]。さあ、ど[illegible]——

歩き出してからも、加藤中尉と美智子とは、お互ひに氣の利いた[illegible]をする[illegible]を[illegible]あつたのだつた。

——軍隊でラグビーなんか、やるんで御座いますか？姿、[illegible]もよりませんでした。

——いや[illegible]の方ではやりません。少年航空兵だけに、それも土曜の午後や日曜の午前中にやらせてゐるのです。

——さうですか？

——[illegible]びもよらなかつた、とは[illegible]れるのは、決めての意味ですか。それとも……

——むろん結構だと思ひますわ。ほかの[illegible]よりも、競技の中でもラグビーが一等、[illegible]的でよろしうございますもの。

——ヘヘ、なかなか[illegible]ますな

——どうです、みんな元氣でせう？

——[illegible]、[illegible]しくなつて、ただ[illegible]女のやうな理解者が、一人でも[illegible]の[illegible]に[illegible]

——この冬の[illegible]中に[illegible]

洋服

黑サージ 黑セビロ 三ツ揃 A十二圓 B十七圓 [illegible]

黑サージ詰襟 上下 A九圓 B十一圓

黑メルトン セビロ 三ツ揃 金十二圓・同[illegible]金九圓

モーニング 上衣チョッキ[illegible] コール縞ズボン [illegible]

オーバー 黑、紺、ラクダ [illegible] A五圓 B十圓

純毛黑トンビ サテン裏 A十二圓 B廿二圓

財團法人 大阪洋服學校

洋服裁斷講義錄 [illegible]

大阪中之島 [illegible]

ふしあはせな奥樣方へ

子寶なく淋しく暮らす御夫婦へ[illegible]

[illegible]の新聞で見た[illegible]とお申込のお方に限りどなたにも無料送呈いたします

大阪市[illegible]木津川町[illegible]

神道 木津川教會

有馬 吉山 太縄 三医学博士創製

結核 治療 豫防 免疫 診斷 新劑

日本國內の成績

肺結核ノ初期　肺結核ノ中期　外科的結核　眼科的結核　泌尿生殖器結核　肋膜腹膜炎　皮膚結核　氣管支喘息　痔瘻其他　發病豫防　無害確効

AOAOAO　アーオー　AOAOAO　A

（警告）（二家一）

[illegible]

月やく

サシコミ外用藥

[illegible]お困りの方は[illegible]使用者自身の[illegible]ポトケチ、局部で作用を起し[illegible]いて[illegible]

奈良市小西町一番地

松葉園

第五次會見に於て事務局案全く確定

わが代表部初會議を開き協議の末政府に回訓要請

【ゼネバ十二日發電通】杉村事務次長は十二日午後五時二十分より六時三十分までドラモンド事務總長と第五次會見をなした結果、事務局案の確定を見た、同案は若干の點に就き字句の修正をしたが滿洲國の現實の存在を基礎とすること及び米露兩國の招請はせぬこと等の根本精神には大變化なく、直接交渉と連絡を保つべき委員會の任務並に構成に就ても既報の如く決つた、同日午後七時よりホテルに松岡、長岡、佐藤の三代表を訪問、之を報告し意見を交換した、午後九時よりは代表本部で右四氏の外澤田中將、澤田帝國事務局長、伊藤次長以下を加へて本年最初の代表會議を開き取あへず事務局案公文を帝國政府に打電した後深更まで協議をなし、その總論を代表部の意見として帝國政府に報告し至急回訓方を要請した

イ議長に示してから事務局案は正式決定

【ゼネバ十二日發電通】十九國委員會の決議案と日本側對案の調和の基礎として提示された事務局案は事務局側と杉村次長と協力して十二日午前二時すぎ書き上げたが、その內容は十九國委員會の決議案を尊重するため第一決議案第二決議案及び附屬理由書とも名稱及び形式をそのまま踏襲し、單に問題となつた點だけを新になだらかな行方で根本的に書換へたものである、杉村次長は十二日午前九時五十分松岡代表を訪ひそのことを報告し、十一時から事務總長室でドラモンド總長と右案を圍んで最後的協議を行つたが充分手を入れた後十三日夕來着するイーマンス議長に示し正式に事務局案として決定を見る筈、若しこの案が日本側の容るる所とならなければ日支問題は十九國委員會の十六日再開と同時に重大危機に臨む譯である

十三日もう一度會談

【ゼネバ十三日發聯合】十二日夜の首腦部會議の結果杉村氏は代表部の意見を代表し十三日朝ドラモンド氏と會見することに決定した、よつて杉村氏は最早一個人の資格でなく我代表部の意向を體へて折衝するものだから十三日のドラモンド氏との會談は頗る重視されてゐる、此の折衝が何の程度まで聯盟と我代表部の立場を接近せしめ得るや疑問の餘地多きも右杉村ドラモンド兩氏會談後更に代表部の首腦會議を開きその結果如何によつては政府に請訓することになつてゐる

若干の修正增補が必要

事務局案を中心に凝議

【ゼネバ十二日發電通】十二日午後九時（日本時間十三日午前四時）より我代表會議は深更まで事務局案を中心に凝議した、その結果不滿の點數ケ所を發見したので右を東京に報告すると共に代表部の意見として杉村聯盟事務次長を通じ十三日ドラモンド事務總長に傳達して再考を求むることとなつた、尚代表部會議は事務局案は大體として十九國委員會の決議案を緩和する一方激越なる言過しを避けた爲めその[illegible]將來紛議を生ずる畏れあり、聯盟國の現狀に於ては日本の意思に反する結論を生ずる事なきを保せず、決議案附屬の理由書に之が[illegible]餘地を殘す恐れなしとせずとの意見を出で、今後若干の修正增補を必要とする形勢である、右會議後[illegible]

【ゼネバ十二日發電通】事務局案に對するドラモンド總長の[illegible]杉村次長の手を通[illegible]らの意見を通じるがその結果若[illegible]の肚を決する譯だ

二十日に臨時總會か

支那が動議を出せば

【ゼネバ十二日發電通】國際聯盟の一部では十六日十九國委員會で支那側が規約第十五條第四項に依る報告書作製の動議を提出せば臨時總會を二十日に開く事になるとの觀測が有力に傳へられてゐる

事務局案の前途

全く樂觀を許さず

「フランスの態度は疑問」

【ゼネバ十二日發電通】事務局案は今次規約十五條三項に依る和解の唯一の試みと見られてゐるが、右案に對し日本側も全部的支持を與へ得る[illegible]斷絕すべき點あるのみならず、若し支那側が之を容認するも小國側が之を容認するや否やは疑問あり、又社會黨左派を主力とするフランスが從來の大國的態度を持すか如何か疑問視され、フランスが態度を變更せば他の小國も再び十九國決議案を堅持し日本の脫退を促す恐れあるべく、イギリスは東洋に直接利害關係ある[illegible]聯盟の紛糾を縮小すること[illegible]的態度に左右はしまいと見らるるも、之とてもその態度を明らかにしたものにあらず、事務局案の前途は樂觀を許さず、一說に依れば一方事務局は十五條四項に依る報告書の起草準備を開始し、和協委員の[illegible]十九國委員會に提示すべしと[illegible]

事務局案理由書

十三日決定

議長宣言の形式をとらん

【ゼネバ十二日發電通】事務局案中第一第二決議案は完成してゐるが之に附すべき理由書はドラモンド總長の[illegible]の要あるためドラモンド、杉村兩氏が十三日改めて研究後午後代表部に齎らす筈、尚同案には[illegible]及び現狀の[illegible]取る事になつた、その內容は[illegible]

元慶大教授の某博士檢擧

中野町に潛伏中

【東京十二日發電通】[illegible]より行方不明なりし[illegible]を晦まして[illegible]しかも十二日午後六時中野町[illegible]潛伏してゐる事を突止め[illegible]

西門町の小火

放火か惡戲か

十二日午後五時半頃臺北市西門町三の一九[illegible]川ケキ（[illegible]）方より出火したが家人が發見し大事に至らなかつた[illegible]原因は放火とも云はれて目下[illegible]係で詳細取調べ中

來臺した赤池濃氏

【基隆電話】[illegible]十一日午前四時基隆入港、港外で[illegible]內港に入つたが、[illegible]六十八名、[illegible]の[illegible]であつたことを語つてゐた、同船で來臺した赤池濃氏が[illegible]安武文教局長、堀田交通局長[illegible]大正十二年から三年の春にかけて[illegible]

連絡統一を計る爲

政務打合せ初會議

今後も月二、三回づつ開催

中川總督は十三日午前九時半より官邸會議室に小濱長官代理、堀田交通局總長、田端專賣局長、殖田殖産局長、王野[illegible]局長代理、[illegible]川遞信部長、殖田殖産局長代理及び官房各部長を招致して本年最初の政務打合せ會議を開催した、同會議には具體的[illegible]は附議されなかつたが、今後は從來より一層各局政務の連絡統一を計りて總督府政治の[illegible]することになり[illegible]會議を一ケ月二、三回づつ開催することになつた

（寫眞は[illegible]正面中央が總督でその右から小濱長官代理、殖田殖産局長、田端專賣局長、殖田殖産局長、堀田交通局總長、安武文教局長、深川遞信部長其他）

思ひ出を辿って主に蕃界を見たい

自治制實施は一大難問題

けふ來臺の赤池濃氏談

卽ち佐久間總督時代內務局長として西來庵事件及びタロコ蕃討伐の狀況を見るために來[illegible]中川總督、平塚長官は明治三十五年東大出の同級生で外にも知人は多い、諸君會では何をやるのか知らないが私としては支那の政敎卽ち

滿洲に於て大いに王道精神が唱へられてゐる際なので世界に冠たる東洋精神について話したいと思つてゐる、各方面の視察も行ふが主として蕃界を見たい、これは佐久間總督時代の思出を辿るためと、現在では如何に蕃領が上つてゐるか、又蕃地から盛んに叫ばれてゐた[illegible]道路が何處まで進捗してゐるかを見るためである、政治は永[illegible]

[illegible]の政も[illegible]するものは支那の出現[illegible]大政治家の出現でなければならぬと思ふ、支那共同管理[illegible]等も大正十三年東亞[illegible]現在でも[illegible]アーベンド氏の[illegible]ものとして

反響を生んでゐる程であるが、我國でも數年前までは[illegible]が力強いものと[illegible]

兇行蕃人十名は留置處分に決定

イカノ蕃社は移住か

高雄州屏東郡下蕃地に昨年九月十九日に突發した大關山蕃兇行事件は昨臘十七日押し迫つて臺東廳及び高雄州の兩警察が苦心の結果兇行蕃人タルム二族及ラマタセンセン一族を檢擧し其後の[illegible]官憲の指導よろしきを得て何等動搖の色を見せず、殘る問題は目下黑[illegible]の兇行蕃人十名に對する

處置　如何である、[illegible]來理蕃の實情は教育產業共に顯著なるものがあるにも拘らず、これを全く否認するが如き不祥事件が時折突發するのは遺憾なことである、最近蕃務者でも蕃人の向上に伴ひ民法治下の蕃地に對し何日迄も[illegible]のみによつて[illegible]する處置を爲すのは不合理であるといふ見地から總督府に對し蕃地に平地の刑法及び民法を適用しては如何と云ふ[illegible]

大關山　事件兇行蕃人に對する處置については當該者にも種々の議論があるので[illegible]硬軟二樣の意見を[illegible]たる臺東側の意見を標準として處斷することになつたが、これに依ると兇行蕃人十名は死刑處分をせず蕃社事件の例に倣ひ留置處分を爲すことに略決定し、兇行者を出したイカノバン社はリランツ及びエバコに移住させることになつてゐる

書道研究會の書初式

臺北市佐久間町の書道研究會では吉例に依り來る十五日（日曜）午前九時より鐵道ホテル餘興場に於て書初め式を左記の順序に依り舉行する由、今回の會員出品者は五名で式後餘興として會員の競書が澤山あると、その順序左の如し

開會△唱歌君が代△修道[illegible]與△會長訓話△來賓祝詞△修習者總代[illegible]△書初△茶話會△餘興

刀劍陳列會

臺日では講演會

臺北刀劍會では十四日午前九時から午後五時半まで市內本町臺北藥業組合事務所階上にて刀劍陳列會を開催するが、陳列刀劍は臺北刀劍會會員の出品になるもののみであるなほ同日午後七時から臺灣日日樓上にて目下來臺中の東京九段遊就館內中央刀劍會の創立委員にして現に同會の審査員を兼ね斯道の重鎭である榊原浩逸氏の『刀劍に就いて』の講演あり會費は五十錢刀劍鑑定の需にも應ずるにつき希望者は申出でられ度いと

二十五甲步の林野燒く

【新竹電話】十二日午後一時新竹州大湖郡大湖庄南湖一五九番地劉阿石が目下開墾を施せんとして[illegible]焼せしめ折柄の北風に大湖庄[illegible]林野二十五甲步を燒失した

赤池氏總督を訪問

總督府[illegible]講習會講師として來臺した貴族院議員赤池濃氏は十三日基隆入港の扶桑丸にて來臺し文敎局差し廻しの自動車にて來北し鐵道ホテルに入り午前十一時官邸に中川總督を訪問した

一切は判らない

[illegible]して對支外交の失敗を招いてゐたのが滿洲事件を一轉期として全國民が支那の何物であるかをシッカリと摑むに至つたことは實に喜ばしいことだ、支那は三世の日米爭戰の原因をなすものであるといふことを考へねばならぬ、今日の外國の[illegible]總督の任期制といふことは一寸考へものだが長く踏留つてみて貰ひたいといふことは同感だ

自治制實施といふことは實に一大難問題だネ[illegible]更に同氏は英國の完備した立憲政治と比較して大いに我國政治と政治家廢敗を論じてゐた

自動車運轉手試驗

臺北州の自動車運轉手試驗は左の通り行はれることになつた

△實地試驗　十二月二日より同十四日まで（五日、十一日、十二日を除く）十日間毎日午前八時半より圓山運動場にて行ふ

△試驗官、委員長州保安課長、委員金丸警部、二谷技手、同補助員交通係全部

△身體檢査　十二月十五日午前八時半より臺北州衛生課細菌檢査室にて行ふ

△筆記試驗　十二月十六日午前八時半より臺北市大和町成淵學校にて行ふ

士林ナイフで父親を斬る

叱られた上頰を一つドヤされて

十二日午後四時頃臺北市太平町三丁目米商陳宗塗（[illegible]）がその一人子陳阿興（[illegible]）を叱責中、陳阿興が父を恐れない許りでなく父に食つてかかつたので宗塗は『何をこの親不孝者奴！』と許りに頰っぺたを一つ毆ると阿興は益々猛り狂ひ遂に附近にあつた士林ナイフで父に突きかかり胸部に全治二週間の傷害を與へて逃走した、取調するところによれば阿興は一人息子であつた關係上宗塗はこれ迄阿興の色々た我が儘を許して放縱に育てて來たために阿興が增長して父の命を聞かず右事件を惹起したものであるとの事で目下北署刑事で[illegible]細調査中である

步みの親に向つてその子が刀で傷害を加へたと云ふ親不孝な事件は一對價格四十圓を強奪した外市內數ケ所で竊盗を働いてゐたことが判明したので餘罪ある見込で引續き取調べ中

五十三錢の泥棒追跡

映畫そつくりの捕物

【基隆電話】新竹市北門街一〇五住所不定吳近發（[illegible]）は去る三日午前一時、基隆市福德町市場露店の李乞食（三〇）に發見され逃亡、李が泥棒々々と連呼して追跡したため附近のもの二十數名が馳せつけたので吳も同じく泥棒者の如く見せかけるため泥棒々々と叫びつつ逃亡路に追ひ詰められるや懷中からナイフを取出し一同を威嚇・李の右手に手傷を負はせひるむ隙に更に逃亡映畫そのままの活劇を演じてゐる中時間のことと[illegible]踏み迷らし元橋附近の運河に飛び込んだのか運の盡きで危ふく溺死しやらとする所を追跡者のため救ひ上げられ、そのまま基隆署に突出された、同署では取調べの結果同人は昨年十二月二日午前一時頃臺北市[illegible]町一〇一ケ[illegible]方に忍び込み[illegible]の[illegible]民[illegible]の手より[illegible]

ゆうかり初句會

十五日（日曜）正午から新起町大和屋に新年句會を開催、同好者の參會を希望すと、尚當日午後六時から引續き同所にて新年宴會を催す由にて宴會出席希望者は當日午後二時までに申込まれたしと（兼題新年雜詠三句、出句締切午後三時）

鶴林教頭逝く

臺北市東門町曹洞宗別院內臺灣中學林教頭鶴林利見氏は本月九日午後六時逝去した、同氏は東京曹洞宗大學卒業後同中學林に教鞭を執り十二年間蕃務[illegible]の爲かつた人だが曹洞宗別院では十四日午後二時同院で[illegible]を行ふと

榮座の源之丞一座

榮座で開演中の澤村源之丞一座は十一月十二日は西門會館で非常な人氣を博したが十三日から一般に公開出しものは一夜千鳥（曾我物語）三幕十七場（酒屋の場）奧庭千本櫻（道行より御殿迄）

米況

正米市況（前場）

臺北米穀保合

	寄	中	先
▲二期蓬萊米			
富	八、一四	八、三六	八、五〇
中	一	三五	[illegible]
安	一六	三三	三三
▲二期在來米			
富	八、二六	八、四〇	不
中	一二七	四二	申
安	六	四一	

▲二期蓬萊米は昨後場小緊き氣先材料もなく保合商外これと云ふ動新しき材料もなく保合富[illegible]八圓一四錢と同事に[illegible]に向ひ[illegible]

商況（十三日）

大阪期米

▲前場　高に出り跡弛み三三錢と止め二十三日先限は八四五〇錢と同事に一本一本

▲二期丸昭米は昨後場小緊く保合の氣先材料も[illegible]安値受[illegible]に小緊く寄浪は八四二六錢と二十高に出り二七錢あつて二六錢で止め十七本中浪は八四四〇錢と一十安に出り四三錢と入れ跡弛み四一錢と止め十八本先限不申

東京期米

▲前場

節	寄	中	先
一	二五二一	二五六二	二六一六
二	二五三四	二五六一	二六一六
三	二五二一	二五五九	二六一五
四	二五一九	二五五八	二六一二
五	二五一七	二五五三	二六一七
六	二五一九	二五六〇	二六一一
七	二五二〇	二五六〇	二六一一
八	二五二〇	二五六〇	二六一三
九	二五二三	二五六六	二六一八
十	二五二三	二五六五	二六一六

神戸期米

▲前場

	寄	中	先
當	二五一二	二五五四	二六一〇
北	二五二二	二五六〇	二六一八
高	二五二五	二五六〇	二六一八
安	二五一二	二五五四	二六一〇

株式

東京短期

▲前場

	寄	引
東新	二〇八、六〇	二〇九、五〇
鐘紡	二四六、六〇	二四九、[illegible]
鐘新	一二三、九〇	一二四、四〇
日糖新	五二、一〇	五二、二〇
明糖	一〇三、九〇	一〇三、三〇
淺野新	三九、六〇	三九、[illegible]
日產	一〇一、七〇	一〇三、八〇
日石	六一、[illegible]	六一、三〇

東京長期

▲前場

	寄	引
東新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糖新	[illegible]	[illegible]
明糖新	[illegible]	[illegible]
淺野新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]

大阪長期

▲前場

	寄	引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
明糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]

大阪短期

▲前場

	寄	引
新	[illegible]	[illegible]
大株	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
明糖	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
東洋紡	[illegible]	[illegible]

天氣概況（十三日）

本島は北部が雨他は[illegible]に曇りとなつて居ります、[illegible]は下降する見込であります

▲天氣の豫報（十四日）一臺北州[illegible]東の[illegible]後曇時々小雨

リン病　消渴

番外　うどん　松[illegible]

會葬御禮　伊藤[illegible]太郎　親族一同

又々樽酒がしました　澤山入荷致しました
時勢に順應して行く經營方針は本年も[illegible]和洋料理の御宴會に御利用を願ひます
臺北　メトロポール　電話[illegible]

日時　十一月十四日（火曜日）午前九時より午後五時迄
榊原浩逸先生歡迎
刀劍陳列展觀
會場　本町臺北藥業組合事務所階上にて
會費　金五十錢
各自愛刀の出品を歡迎
主催　臺北刀劍會

本學林鶴林教頭強テ病氣ノ處養生相叶ハズ去ル一月八日午後六時死去致候間此段謹告仕候
追テ告別式ハ十四日午後二時東門町曹洞宗別院ニテ執行可致候
一月十三日
曹洞宗臺灣中學林

鶴林副會長強テ病氣ノ處養生相叶ハズ去ル一月八日午後六時逝去致候間此段謹告仕候
一月十三日
曹洞宗臺灣中學林同窓會

續殘月譜

(89)

志乃田繼司作
清水三重三畫

銅鑼騒動（一九）

「大變だつ、大變だつ！」

嘉衛の家へ、賜け込んで來たのが、指清だつた。

猫が、銅鑼に散つて居る。

「どうした？」

嘉衛は、のつそり出て來た。

「大實寺の火事は濟んだか？」

「か、火事が濟んだ所か――」

はあ〳〵肩を切りながら。

「大變だつ、すぐ、すぐ、來て下さいつ！」

と袖を引いた。

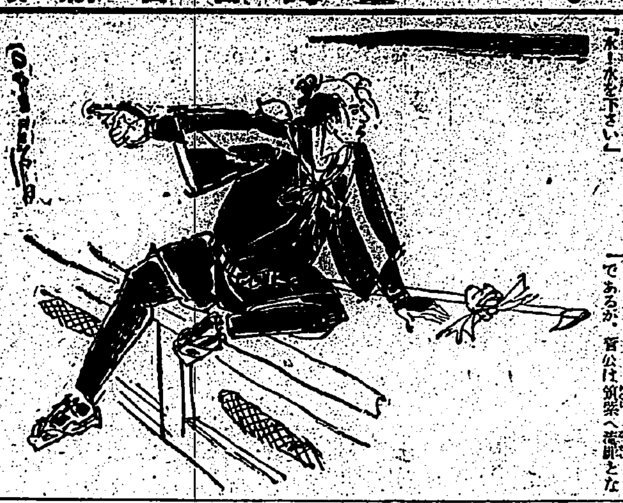
「何處へ行くのぢや」

嘉衛、落ちついたものだ。

「そ、そんなに、ゆ、ゆつたり構へて」

喘ぎ乍ら、指清は。

「水！水を下さい」



「おい？お谷さーん」

嘉衛が叫んだが返事がない。

「お谷さんは何處へ行つたのかな」

とこ〳〵、水を取りに入らう、とするので指清は慌てた。

そして嘉衛を掻き乍ら。

「わしの、わしの水は後で飲むでええ、それよりや、喧嘩ぢや」

「喧嘩？」

「喧嘩ども、小熊組と水組とが、あーあ！水が欲しい。その水組とが、小金神社の森に持ち伏せして――」

「うむ」

「親だつ―は危ない、やられた！親口ぢや、えび竹も眞赤ぢや、東手も眞赤ぢや、みんな血を浴びて、一むちや、大變ぢや、助けて嘉衛ぢや、旦那！嘉衛さ、行つとくれ、早ぐつ！早ぐつ！」

「おー！さうか。そいつは大變ぢや」

と言葉では云つたが、嘉衛は落ち付いて居る。

「まだ親前でなあ」

「へつ」

指清、消い顏で、耳を塞つた。

「何、喧嘩と云ふものは、腹が減つては勝ちは取れぬ」

「へつ」

「茶碗を一杯掻き込むでな。どうぢや、お前もやらんか？」

「へえー」

指清、きよとん、とした顏で。

「大丈夫ですかい？」

「何か――」

「ついで行つて貰はぬと」

「そ、それが、勝てるやうに行かなきや、ものごとは、萬事役に立たんぞつ」

嘉衛は、さう云ふと、勝手へ入つて行つた。

指清、仕様がなくて、附いて勝手へ。

「―どうぢや、久三郎は脇刀帶して居るかつ？」

「たいしたか、どうしたか知らんが、持つとる、そして、友八組頭とやつてる話ーぢや」

嘉衛は、茶碗に飯を盛つて。

「それぢや、わしも、さしづめ、脇刀を帶して行かねばならんなー」

と話し乍ら、悠々、飯を食つて居る。

「大將、早くやつておくんなさい」

「大丈夫ぢや、安心さつしやい。何の、小熊組が頭からうが、水組が手剛からうがぢや、この出器の嘉衛が二本差してぢや、出て行つたら二三十人は忽ち撫斬りぢや」

さう云つて茶を飲み了へると、

「さて、一寸便所へ」

と、嘉衛、呑ん氣さうに、陰囊を持つて腰を上げた。

鷄に關する傳說（下）

―酉年に因んで―

松尾蠢明

鷄を飼はぬ土地は他國にもある、河內國南河內郡で有名な流明寺は、鳴けばこそ別れを急げ鷄の音の、と菅公が詠まれたところであるが、菅公は筑紫へ流罪となつたとき、生れ故鄕のこの村に立寄つて、わが姿を形見に刻まれたが、鷄の聲におどろいて、早夜が明けたかと、中途に手を休めて、そのまま旅立たれた。それ以來、ここの里人は鷄を飼はぬと云ふことである。

また、菅公は、河內を出て西に下る道すがら、岡山縣の兒島半島の琴浦町引網に、しばらく逗留した。

雛や鷄を船につむためである。ここに菅公はいくらかの俳說を殘したが、濱の人々は、それ以來鷄を飼はぬことにした。何へば、鷄があるといふのである。

下野の那須野には、例の那須野與一宗高が城をかまへてゐた。

右大將頼朝は、源氏とその殘黨を亡ぼさうと、那須にも大軍を差向けて、まづ稲原の城を攻めたので、宗高は、黑羽町の北、高岡城に據つた。この城は後に山を負ひ前に那珂川を控へ要害の地に寄手の大軍も、いかんとも攻め落す手段がなかつた。

ある日、城を望むと、水をどんどん汲んでは馬を洗つてゐる。あんな高いところに果して水が湧くものかと、寄手は疑いて、里人を呼んで確かめると、いや湧く事はない筈だと答へた。

では水とみせて、こちらを欺かしたのは、白米に相違ない。さては水に窮したものとみえると、士卒は鷄をあつめて相談の結果、いまの寒井村に命を發して、鷄を一羽殘らず持參させ、その尾に火をつけて放つと、中にあるものが城に飛んだから、屋根に火がついた。

水に窮した場合だけに、城兵は意外の事に防ぐ力もなく、火は、忽ち廻つて見る〳〵難攻不落の高岡城も一朝にして燃えつくしてしまつたのであつた。

宗高は、もはやこれまでと馬に乘つて、三十間も隔てた向岸に飛越えたが、そのときの馬の蹄の跡といふのを殘した岩が、今でもあるさうな。そして寒井村の里人は鷄を飼つてみたばかりに領主を滅ぼしたことを悔んで、その後は飼はぬ事にしたといふことである。

探せば他にもこの種の話ならある。何れも大同小異で、これぞと云つて面白からぬところが多い最後に、わが酉年に關する重なる出來事を述べると、神武天皇東征の大業を遂げさせられ、橿原に天位に即き玉ふたのは、辛酉春正月元旦のことであつた。記念第一年にして、われわれ國民がもつとも慶祝し、もつとも慰賀すべき一大記念の年である。

そして皇紀紀念第一年は、あたかも紀元前の三十年辛酉の年にあたつてゐるのは、偶然の一奇と云ふべきであらう。

源頼義が、陸奥の安倍貞任を征して、これを誅伐したのは、永承五年丁酉秋七月、藤原泰衡が、義經を襲ひ義經の自殺したのは、文治五年己酉閏四月、この年九月泰衡はまた頼朝のために討滅せられた。歴史は、こんな因緣があつておもしろい。

また、赤坂城の陷つたのは、元弘三年癸酉春二月で、吉野城はその閏月をもつて陷り、楠正成が千早城の大籠戰、天皇の伯耆舟上山御幸もこの月であつて、五月新田義貞兵をあげ、鎌倉を攻め北條高時は誅した。

六月、天皇、正成の護衛をもつて、京都に還幸した。上杉謙信、武田信玄川中島大合戰は、永祿四年辛酉秋八月であつた。朝鮮征伐再度の出師は、慶長二年丁酉春二月、加藤清正が蔚山の籠城もこの年にあつた。

からしてみると酉年は「戰爭」と、甚だ因緣がふかい。國際の外交的關係が、危機に瀕んで、ひよつとしたら「日〇戰爭」などといふことになりはしないだらうか。

戰爭は、遠くも日支大戰だから、そんな馬鹿なことでは、起り得ないが、トリの年に戰へば何だかトリドクといつた感じをもつのは、日本人の先祖傳來受けつぎ來つた迷信思想である。

日本人の迷信思想は元來、潔白なもので、鷄を愛好する性格から漸次國民性特有のものが發揮されてきたものである――といふ理論は、さておいて、ここらで、一戰爭あつてくれないと、擬ほ日本はどうなるかわかつたものではない（完）

新興キネ太秦撮影所特作（婦人公論連載）

女給『君代の卷』全十五卷

（十四日より芳の館上映）

原作……廣津和郎
脚色……上島量
監督……曾根純三

―キャスト―

君代……北條たま子
永非秀……小池春江
登美子……歌川八重子
マリ子……川島良子
小夜子……水原玲子
お豐……三桝つる子
恒子……德川良子
掛川秀信……淺田健二
お幸……泉芳子
兒島浩……岬洋兒
ミキ子……木村絢子
從兄宗志……生方一平
道盛繁子……武松里子
父良作……中村正道
母久江……小松峯子
友人金原……宮司淑太郎
すず子……久米愛子
君代の兄永田牧二……若葉馨
初子……春川浩子
父正平……淺野園
ターさん……上代勇吉
不頓老人……橘光造
學生吉田……小松風作
同和田……東城英兒
巡査……小坂信夫
女給みさを……水野政子

梗概 自分で生きるためにと自らカフエージヤメアールの女給となつた君代はT市のラグビー選手でそのカフエーへ通ふ掛川と知り合つた。始めて知つた異性の愛撫に君代の心は盲目的なテムポで掛川にかたむいていつた。そして純な乙女心から一途に掛川を慕してゐた女給君代は彼女のすべてを掛川に捧げたのであつた。そして總ては君代はその與さへも用意したのだつた

× ×

その頃だつた感じてゐた掛川に一抹の不安を感じ始めたのは、たまたま彼が故鄕に歸つてゐる留守中に君代は遊びに來た客達の話から彼には自分の前に今では捨てた女登美子なる女性のあつた事を聞き知つた然し掛川にとつて登美子は君代よりももつと愛親されたる戀人の一人に過ぎなかつた

× ×

ある日登美子を訪ねた君代は登美子から掛川の新らしい戀人として下宿の娘恒子の名を教へられた君代の兄牧二は心から妹を愛してゐた、彼は妹の不始末を耳にした上愛する妹のため掛川の心を取戾す可くその下宿へ陳を圍して訪れたが掛川の返辭は預期以上に冷えきつてゐた。それから間もなく男の子を生んだ君代は吸い兄と嫂の思ひやりから君代の面目を保つため子供は兄夫婦の子として世間にも報じさせた

× ×

だがそのため上京した老父や妹の前で自分の腕を縮めた愛する者を兄の子として扱はねばならぬ悲しい君代だつた、その頃恒子も同じく姙娠しそして同じく棄てられて發狂してゐた、一方登美子は盆谷な遊蕩の淵に沈んで行つた、掛川は學校を出ると共に情事關係の煩瑣から逃避すべく故鄕小樽に歸つていつた、君代は掛川に彼の子である事を一言でも認めさせるために小樽遙々と旅を決心した、だが無情な掛川は兄の家の奥深く隱れて會ふ事さへもしなかつた、從兄を通じて二百圓の紙幣で彼女を追ひかへさうとするのであつた、君代の血は逆流し紙幣を叩き返して彼女はわめいた『掛川秀信は色魔です』と……いい蓄音機、いいレコード氣の利いた小さな酒場、君代の夢そのままのサロンミキで偶し君代は生きる爲に相變らず女給として働いて行かねばならなかつた、盛大飢の小夜子が彼女の殘も打開けた友達になつた

× ×

或る日小夜子は一枚の新聞を示した、そこには某實業家の令嬢と婚約した掛川及令嬢の寫眞と記事が掲載されてあつた、小夜子は君代に取つてあまりにも悩むの土地となつた、君代は見知らぬ他國へ旅立たうと思つた、小さな別離の宴が、ミキの女主人と小夜子とに依つて張られた「ミキ」の店とも知らず新夫人の腕をとつて現はれたのは掛川だつた、小夜子は面罵した、女主人は詰問した、君代は寂しうかべて默ひさへした

だが飽く迄も子供を自己の子として認める言葉を與へ様とせず逃げ路を殘して逃げる樣に去つた。

『子供は女のものです、女だけのものですわ』君代は泣き上る涙の中で諦めの呟きを洩らすより外はなかつた。愛の道、それが女給君代の行手に涯限りなく續いてゐる

最近著の新刊

開闢（一月號）△婦人の知識（一月號）△人生創造（一月號）△殖民時代（一月號）△生きて行く道（一月號）△經濟新報（一月號）△つはもの（一月號）△臺灣時報（第二十八號）△經濟の友（一月號）△財界之日本（一月號）△一味（一月號）△臺灣建築會誌（一月號）

臺日聯珠

郵戰大會珠譜（六）

後手勝　岸　八郎
〃　鈴木　光石

△（三）近以下黑劃何に防ぐも四逍
三々禁

對局者の言葉

△岸氏曰く（四は七）十⑰甲⑨十十㊂と共に選び㊄⑭六⑩八十十⑪ました（九）[illegible]を（三）なら[illegible]（四）又（四）[illegible]なら（三）へ[illegible]組むつもりでした、又（10）と端子に入つて來られたら二、三と端子にする豫定でしたが端の樣に來られたので以下追撃はらくをしました

△非常六段稱　（10）から追勝とせば九は普通に（10）と歩込み白（九）の時『甲』に切つて仕ふ所か

臺日俚謠

投書、何數無制限、何人も投書し得、宛名は本欄迄

△大い日本の初日の光廣い滿洲の野も照らす　臺北　路子

△支那の誤認偕切れぬぜネ八春は何時まで因む？　新竹　莊文

△吼えろ嵐よ寄せろよ浪よ動きやしませぬ御代の春　新竹　竹堂

△赤い朱塗りの太陽のやうな杯を重ねて屠蘇祝ふ　東石　昇月

△初日うらゝに太平洋の波も靜かな御代の春　臺北　松窗

追加吟

◇君とあつたら抱きつくものを朧月夜の庭梅花は　如狂

臺日案內

料金
三回 五十錢　五回 七十五錢　七回 九十錢　十回 一圓三十錢　十五回以上 [illegible]

書籍
●公認千一貸借案內 本一冊 無料旅行十貸借品（拾圓）發部僅少 [illegible]

寫眞
パテー活ヒルム 半額及三分ノ一（特價提供）臺北榮町 西尾商店
パテーパンクロ 新着 臺北市榮町 フタバ寫眞機部
カメラ交換仲介 臺北榮町「ミタニ」（電六六二）

旅館
新婚旅行 廊る閑靜 溫泉の實所 北投溫泉 北投 星川館 電二一四

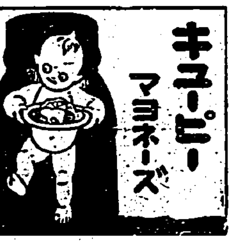
高等理髮
店舖改造完成技術氣分本位 是非一度御試を 熊井高級理髮館 臺北市京町三ノ八 保險局隣

內地土產
檢查濟ポンカン 臺北市京町三ノ一 矢野菓物店 電三二三

陶器
陶器一式 松尾陶器店 臺北京町一丁目 電二九五六番

雜件
ベニヤ板 新着 臺北市新起町 [illegible]
スキート 不用 砂糖味の素も 各所の喫茶店にあり
三九八一番 安い本町二バス停留所 寶石 白金 銀細工 日伊珊瑚商會
內地に御用は 臺北大和町二內室 便利信託所へ（電二九〇〇番）
通信教授 バイオリン尺八 マンドリン及ハーモニカ琴三味線 以上各種規則書進呈 臺北市中島町二ノ二 大日本家庭音樂會
●男女情痴 四十八手（秘寫）○嚴正の快樂珍品初春に是非一部 超特作新刊實價參圓 四十八枚組十圓を半額五圓 珍十錢で本目錄 京都市上京區 三春會

最高の質トンボ鉛筆 H.O.P. 各地文具店にあり 東京 トンボ鉛筆製作所



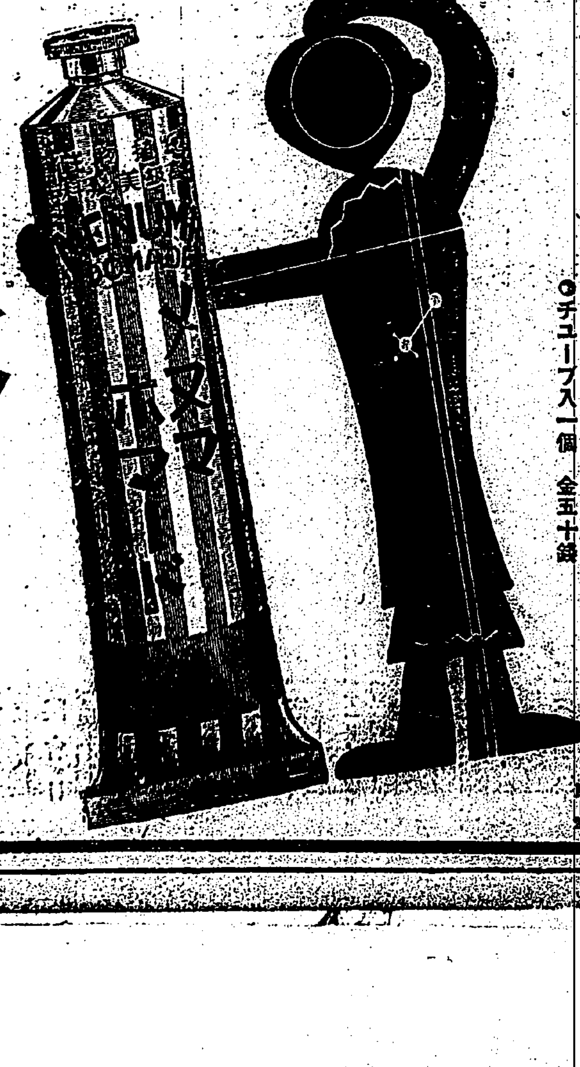
キユーピーマヨネーズ
正月の御用意に
不意の御來客に

胃腸病新藥 專賣特許
カーボニン
腸傳染病の豫防と 食中毒に
腸內毒物病原菌を吸收排除し止瀉整腸を迅速ならしむる原因療法劑
見本文獻贈呈
東京神田 大阪道修町 株式會社和光堂
CARBONIN

感冒にトラミン

藤澤の臟器製強力止血劑
トロムボゲンシン
喀血
「喀血、吐血、出血の治療法」（申込次第進呈）
本劑を服用すれば三十分後に既に著明なる血液凝固時間の短縮を來たし二時間後に於て其作用は最高潮に達し速に血栓を形成して止血すべし
內服用錠劑（一〇錠入）一、七〇（二〇錠入）二、二〇（五〇錠入）二、七〇（一〇〇錠入）四、八〇
●他に皮下注射用・內服用粉末及液・撒布用粉末あり
株式會社 藤澤友吉商店 大阪道修町
T25

タバコのみのはみがき
スモカ
スモカは主として喫煙家の歯磨です 故にスモカを使へば歯の黑いヤニがぢき取れますそして喫煙家ならずとも誰もの歯を純な白さに輝かします スモカは過度の喫煙から來る口中の荒れ！臭ひ！食慾の不進！それを防いで口腔を常に正しい狀態に置きます スモカの粉末には適度の潤ひを與へてありますそれは無駄な散亂を防ぐためです 一人一罐の使用量は約一ケ月強それ以上の消費は濫費です
各地化粧品藥店にあり 定價五十錢



出たか出たぞ
もう到る處でチユーブ入は引張凧です
宜べ！重寶便利な容器に盛るメヌマポマードの品質の反響！
チユーブ入
メヌマポマード
チユーブより出る透明なメヌマポマードの觸感！適度粘度の程よい加減！爽かな香！朗かな光澤！鮮かな整髮！
○チユーブ入一個 金五十錢
井田京榮堂

一瓶つけたら鏡を御覧ん
眞に色白くなる
殺菌 吹出物根治
色白く美人となる
ニキビソバカス 皮膚漂白料
ミトセ漂白素
●曇後晴！仕事や勉強で疲れて曇つた頭もノーシンで爽かに晴れます●

漢文臺灣日日新報

聯盟事務局調和案決定
帝國代表部新年初會議
電告結論意見請回訓

十二日壽府電。杉村事務次長。十二日午後五時二十分。與事務總長。第五次會見。確定事務局案。字句修正若干。但滿洲國現實存在爲基礎。及不招請美俄兩國之事。根本精神。無大變化。與直接交涉。須保連絡之委員會任務。並構成。略如既報決定。又午後七時。到大旅邸。訪松岡。長岡。佐藤三代表。將情報告。交換意見。九時。在代表本部。四氏而外。更合建川中將澤田帝國事務局長。伊藤次長以下。開本年最初代表會議。將事務局案全文。電告帝國政府。議論更深。更將結論及代表部意見。亦電報告。並請至急回訓云。

我代表會議決定
根本精神不一致
代案亦斥退

十二日壽府電。松岡代表。與十二日午前八時五十分來自巴里之長岡代表。將事務局決議案未定稿。自午前十時。議至正午。其擬日本對案。再無讓步餘地。且有來京政府嚴重訓令在。其根本精神。與我方針。認爲不一致。如何代案。皆宜斥退。正面衝突。亦所不辭。待觀事務局案成。且正式表明我原度。更擬合佐藤代表。十二日午後四時五十分到後。十二日夜。開重要代表會議。再練對策云。

聯盟事務局案稿
名稱形式仍踏襲

十二日壽府電。聯盟事務局。爲調和十九國委員會決議案。與日本對案。起草之案。經事務局員。與杉村次長協力。十二日午前三時餘寫完。其內容。爲着重十九國委員會決議原案。仍襲第一決議案。及附屬理由書。名稱形式。具爲問題之點。從新標出。根本重寫。杉村次長。十二日午前九時五十分訪松岡代表報告。十一時起。於事務總長室。與總長最後協議。十三日晚。伊曼士議長到時示之。正式決定爲事務局案。苟不爲日本所容。日華問題。十九國委員會十六日再開。同時使過重大危機云。

關稅慶減說
新糖暴落
外糖或侵入

糖價自昨秋以來。連騰半歲。日前六月限新糖合起至十三圓四錢。近因株式期米綿絲生絲反落。且昨年六月實施之關稅附加稅一圓三十八錢。唱議廢減關稅改正案。將提出於今期議會。以高價買者紛々投賣。十一日後場新糖六月限。落至十二圓三十一錢。自天井價已暴落七十三錢。十二日新規賣殺到。落至十一圓八十四錢。發會以來暴落一圓餘。蓋爪哇尚有滯貨三百萬噸。未易一掃。中双百斤以四盾五十仙廉賣。關稅附加稅如撤廢時。恐侵入本邦。新糖十二圓以下。固屬然當。

全島視學講習
十六日起

第十二回視學講習會。訂來十六日。起六日間。開于臺北市女子高等學院。講習員各州廳市郡視學一名以上。計六十名。講習學科及講師如左。

東洋思想與文化淵源（八時間）　赤池濃
建國精神（四時間）　安武文敎局長
訓育（思想問題）（六時間）　大浦府視學官
敎育（就公學校敎科書取扱）（八時間）　三屋府編修官

日華時局關係
圖書展覽
十三日起三日

日華時局關係圖書展覽會。值第二回圖書館週間。於十三、十四、十五三日間。開于敎育會館。督府圖書館。及臺北帝大圖書館三處。敎育會館之宣傳標語展。去十二日午後陳列。幣原帝大總長。安武文敎局長等。亦往觀。有於長五、六間赤黃色布上大書「民衆創定滿洲國人類共濟大同年」及標語等。多數陳列。次則在總督府圖書館。開滿洲事變後之事變關係資料展。由海軍省、陸軍省、外務省其他。網羅滿洲、上海兩事件關係資料陳列。而帝大圖書館。則於十四、五兩日。陳列滿洲國建國前之出版文獻云。

番人授產
指導講習
臺中州創開

臺中州理蕃課。爲州下蕃人授產指導者。計自十五日起六個月。于霧社產業指導所。開講習會。其講習科目。分實地學科兩種。而學科爲果樹。畜產。蔬菜。熱帶農學其他部門。一日平均三時間。其他爲實地時間。由東勢。能高。新高三郡。選出指導者十名。爲第一講習員。俟終了後。更開第二期講習會云。

政府第三回買上米
古米買換百萬石
鮮米買上五十萬石

十二日大阪本社特電。登場期米穀對策。農林省於商議十五日米穀委員會。決定買上內地米二百萬石。政府所有古米百萬石以內買換之。且買上朝鮮米。厥後米價隨環境而昂。雖經兩回買上內地米及朝鮮米。然皆應募極少數。農林省暫時傍觀。最近米價反落。近將買換政府所有米。並第三回向鮮米買上。其數乃買換百萬石。朝鮮米買上五十萬石也。

蔣介石決意積極抵抗
調四十萬大兵奪山海關
並固守熱河晉魯軍守後

十二日天津電。據中國情報。蔣介石決意積極抵抗日。命華北軍隊總動員。以四十萬抗日軍。奪還山海關。固守熱河。該抗日軍編制。張學良軍十五萬。湯玉麟軍十萬。宋哲元軍四萬。孫殿英軍四萬。商震軍二萬。龐炳勳軍二萬。高桂滋軍二萬。武器彈藥。據由中央發給。又用山西軍。韓復榘軍。爲豫備軍守後方云。

商震龐炳勳兩軍
出動灤河方面

十二日天津電。十一日來。十二列車。經過天津。赴灤河方面。知爲商震軍。及龐炳勳軍。在平漢線順德高邑龐炳勳軍殘部。亦已北上。又訂十二日夜過津。部軍援渠灤河附近云。

上海平穩
出自蔣氏意

十二日上海電。華北戰雲濃厚。上海排日。比較靜穩。此爲蔣介石不欲南京上海附近。如張學良治下之華北。與日本生事。恐於已之勢力。有重大關係。命上海市長吳鐵城。極力檢束云。

臺南驛員一部
與接客等聯絡賣票
得金治遊事發被檢舉

臺南州刑事課。北浦。楊大友諸刑事。數日來潛行的。向臺南高雄間。力加偵探。且召喚往來於是處之旅客訊問。廣搜證據。至去十二朝十時。諸刑事由木崎搜查係長引導。直赴臺南驛。就執務中之驛員。拘押解州。由田川刑事課長。親爲審問。諸人知案已發露。無可掩飾。遂各自供實。五名中。四爲南市人。即高砂町二丁目。郭孫。年三十二。現爲臺南驛車號係。一永樂町一丁目。姚江監。年二十八。電信係改札。木町二丁目葵光鎮。年四十。改札係。老松町一丁目。許金福。年三十三。中州驛改札係。一係彰化郡彰化街人。吳順成。年三十。車長。上記諸人。俱合奉職於臺南驛改札係。自三年前。串通一氣。就其所辦理之乘車票。將改票時暗藏數枚。則轉託恒往來臺南高雄之賣菜商。持往高雄。交與其所結託之旅館接客。誠折售與來南旅客。得財分肥。渠等連絡之方法。極其微妙。故延至今日。始被發覺。然該案爲露。實緣昨年十月來高雄方面之接客。恒於途中下車。而以車票兜售。且向諸驛旨治游。招當道之疑。雖加以偵伺。然無由得其端緒。在當道之推測。以若輩。如或偽造車票。故時立即發覺。故料必以他方法爲非。遂百端偵查。知高雄市鹽埕町二丁目林降雨。與臺南市錦町三丁目黃雜。兩者業賣菜。恒往來其間。拘訊之後。乃供出高雄市本島館接客吳某。高雄館接客許造勢。昭和館高添丁。陳福秀等。其課呈卞。[illegible]而該案遂因以破獲云。

中外要電

▲大尉戰死聞九重　大興安嶺附近之役。荒木大尉戰死。武藤關東軍司令官。因哈感謝。並及於步兵第五十九聯隊第十一中隊稱揚其功。且經石川侍從奏聞。聖心滿足云。

▲籌改關稅率且決　大藏省。十二日開關稅調查會幹事會。急作議會提出關稅定率法中改正法律原案。其中心點如左。

一、三割五分附加稅加增有兩論不決。
一、三割五分附加稅撤廢品目。砂糖。染料其他二十種。方爲研究。就中砂糖。政府部內撤廢之說有力。
一、其他一般。變更基礎稅率之品目。（一）南洋材。其他起稅率。（二）醫藥品。其他降稅率。

以上正在考究。又經戒反對運動。嚴密審議。料來週最後決定云。

▲英使請護英僑人　駐京英大使。十二日正午。奉本國政府訓令。訪內田外相。而告華北。秦皇島開灤各地。英僑頗多。萬一今後日華兩軍衝突。此等英僑生命財產。請爲保護。即開陳英政府希望云。

▲松岡代表時事談　松岡代表。後到譱府。語記者曰。余不來。得遂結果之希望。且覺悟從來以上之波瀾。我等對十九國委員會決議案之態度。尚有未理解。既無法可強。聯盟非加入國美俄招請。當加盟國反對美俄招請聯盟規約。然非頓報告書中。亦明言可直接交涉之事。並斷定現實。不得無視。然則現獨立之滿洲國。及日本所爲承認之事。亦不得否定。我等不強人以承認滿洲國。唯言此際不宜提起。我等意見。無一無理。不時可以說明。但小國盲動。實所難料。勢不得不斷然臨之云々。

▲中國兵擊意國兵　據駐屯軍司令部發表。天津十二日午前十時。意國兵四名。自山海關。至秦皇島途中。爲中國兵射擊。其中三名逃歸。一名蹤跡不明云。

▲辦美國軍用機砲　中國自美國辦新巧速射砲十三門。去九日已到上海。最近又辦軍用機十數架。聘美國飛行家數十名。國民政府。強硬抗日態度。及軍備充實。殊堪注意云。

▲辦軍用機發富籤　國府行政院。去十日會議可決財政部提出軍用機購入。富籤二千萬弗發行案。其內容。資十弗券富籤二百萬枚。可以其收益。大擴張空軍。十二日開中央政治會議。最後決定。近合資出彩票云。

知事視察種菜

臺北州。計自本年度。獎勵栽培蔬菜。欲以蔬菜類。先供給島內。次及滿鮮方面。以爲本島重要產業。爲此獎勵著手。十二日午前九時。中瀨知事帶同梶原技師。山眞宜郡守嚮導。前往新莊郡下。熱心視察蔬菜園藝栽培狀況。正午歸廳。

總督會集各局長
開懸案解決磋商

中川總督。十二日午前十時二十分登廳。即時招致小濱長官代理于公室。聽取最近政務概要。以新年更始一新之氣分。企圖各種懸案事項之解決。種々磋商。爰于十三日午前九時。招集各局長于公室。總督出席。關此後行政能率。爲最大發揮。就各種具體的問題辦理法及方針開大評定。

臺灣水產會
通常總會

臺灣水產會。訂來十六日午前十時。于督府會議室。開第六回通常總會。附議事項。役員選任件。特別議員選任件。委員會委員選任件。昭和六年度收支決算。及施設事業承認件。同六年度剩餘金處分所關件。同八年度經費分賦收入方法件。同八年度經費收支豫算建設請願件。關臺灣水產會建議事項。關國庫補助請願件。關魚價維持策對當路建議件。養殖業獎勵費計上。對當路建議件。于高雄港開漁業專用無線電信電話局新設對當局建議件等。該總會前。于十五日午前十時。假警察會館。開全島水產業者懇談會。企圖大舉氣勢云。

基隆市
設敎育課
課長多喜視學

基隆市。爲圖事務所率增進。夙就事務分掌規定改正件申請中。此次已認可。即欲移于實現。從來爲庶務課一係之敎育係。使獨立爲敎育課。而置學務社會兩係。于十三日任命多喜視學爲初代課長。以外土木課營繕係。改爲建築係。

基郡下七庄
協議會期
及庄治計畫

臺北州基隆郡七庄之昭和八年度豫算案。黃議有名集七庄々長。在郡會議室磋商其體的事項。目下豫算原案。尚在郡庶務課斟酌中。按來十六、七日間。能得全部審畢。開本年度七庄。總豫算額。計二十四萬餘圓。較前年度。增加一萬餘圓、而來年度澎漲原因。一爲人口增加戶稅增收。二以營業稅激增。較七年度分。多多有二萬餘圓。附於各庄協議會。日程、大體決定如左。▲双溪庄一月十九日。▲貢寮庄一月二十日。▲七堵庄一月二十一日。▲平溪庄一月二十二日。▲金山庄一月二十七日。▲萬里庄一月二十八日。▲瑞芳庄一月二十九日。如是每年各庄豫算增額。又時值農漁村各界不況。居民負擔不堪。安諭院基隆郡守。鑑其景氣日非。種々研究結果。爲樹立庄治振興第一期計畫案。自昭和八年度起。積立庄基本財產。其期間短者二十七年。長者三十七年。利息。充庄役場費。俾居民稅金。得以輕減。故庄治振興第一期計畫。自來年度起。五個年間。對產業振興計畫。敎育振興計畫。交通土木計畫。財政計畫。產業組合振興計畫爲緊急事業云。

法大球手慰勞宴
開於鐵道旅館

本社於去十二日午後六時。招待法政大學野球々手。在鐵道旅館。開途別並慰勞晚餐會。球手一行。由藤田監督引率。入會場者。本社一瀧河村社長。大澤主筆。長谷支配人。石原取締役。暨他多數出席。紀念撮影後。在食堂開宴。會場內。盛飾法政小旗。及本社旗。首由河村本社長。起述禮辭。舉杯祝健康。次藤田法政監督。述謝辭。乾杯。和氣藹々。至午後八時半。散會。

法政選手
十三日離臺

法政野球選手。去十二日與鐵果第三回戰。十三日午前中。見學臺北市內。正午。臨席鐵道旅館臺灣體協主開之午餐會。搭午後二時二十八分臺北驛發列車。就途歸京云。

南州海岸地
鑿掘井戶
派員調查地質

臺南州當局。以州下海岸地。地質鹽分過多。住戶欲得淡水以充飲料殊難。故沿海居民。有貯雨水以飲者。於衞生上。大非所宜。此際爲便住民而衷衞生。乃就明年度豫算撥其一部。擬於沿海。選適繫掘井戶之地。掘井三十處。近已照會各郡。派員出而調查地質。不久即將決定云。

基隆市產組
總會期日決定

基隆市內產業組合總會。業已決定如下。一、基隆商工信用組合。十六日午後一時。在公會堂。附議事項外。有改選役員。一、臺灣鰹節販賣購買利用組合。十九日午前九時。於公會堂。一、基隆信用組合。同日午後一時。在公會堂。附議事項外有改選理事。一、基隆倉庫利用組合二月七日午後一時。於公會堂。一、基隆住宅利用組合。同十二日午前九時。在公會堂。一、基隆炭礦購買組合。同十八日午後一時。於同俱樂部。一、昭和購買信用組合。同十九日午後一時。於公會堂。改選役員。此外基隆手繰網漁業販購利用組合按來七月中旬。開總會云。

蔴袋奇貴欲用蒿袋
彰化郡率先謀實行
臺南州下亦獎勵之

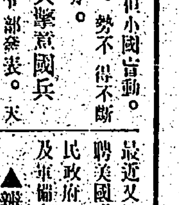
移出米用蔴袋。昨年來因漲水低落。原料輸入品日昂。袋價隨之日騰。一昨年最低時。蔴袋一枚。其販二十五錢。小賣二十六錢五厘。然如臺北米庫組合因與個人販賣店競爭關係上。賣販比他州尤廉一二錢。最近昂至絕頂。其販三十七錢。對組合員則賣三十八錢五厘。七年中臺北米庫組合賣出九十餘萬枚。多於六年之六十七萬枚者。約增四五成。然一彰化郡移出米用。昨年中需需七十萬枚。該地米商。鑑於蔴袋似此昂貴。財源外溢。因欲用蒿袋。米穀檢查員亦同意。經種々調查。本年一期米。或能實現。臺南州下此種運動亦漸萌芽云。

電力爲替差損對策
按至總會前決定
諸重役相繼晉京

臺灣電力會社。爲々替對策實現。客臘中諸重役總動員晉京。各與關係當局連絡。迨封印後。爲事務上接洽。一旦歸臺。茲爲從速實現對策。島由理事。于六日便輪。首先晉京。而松木社長及[illegible]理事。豫定于近日中。連袂晉京。而松木社長現按于來十八日大和丸出發。在電力一邊意見。至二月二十八日于東京開株主總會前。決定爲替對策。提于總會席上。發表內容云。

彰郡協議會期

彰化郡下各街庄協議會期日。決定如左。線西庄一月十七日。秀水庄十八日。芬園庄十九日。花壇庄二十日。福興庄二十一日。和美庄二十二日。鹿港街二十三、十四兩日間。彰化街二十七、二十八兩日間。



二十四日敢瞭如是我聞。謂要歸徵詩。須懸重賞。並云詞宗非斯界名人。是以投稿者少。但贈品未提出。何由知其厚薄。詞宗未定。選六安。知非島內之大家耶。（請安心莫稱如何）敬告某說教者。自己要修身。始能感動他人。況生甲太甚。亦須善驗戒。先虛心平氣。勿與人計較短長如何。（一海民私話）

南投中寮庄人林某。非常可惡。闖入人家。欲犯一十四女不遂。剖命賠償。饒他一條狗命也。（未免太饒）

鹿草後寮慘殺命案
眞犯判明爲江清輝
用草鎌亂劈數十極其殘忍

臺南州東石郡鹿草庄後寮。劉水金。年四十二。於去六日。在當地共同墓地。被人慘殺一案。已載前報。今將慘殺情狀詳報如下。先是眞犯人。同所同番地江清輝。年二十三。於去六日午後三時頃。招水金同往後寮共同墓地賭博。劉一時輸江金四十圓。俟中取出現金三十圓。與江倘欠金十圓。約歸家後備與。不料江緊迫。不許寬限。劉云余懷中已空。江言若不全部現金與我。我決不肯。一時發怒。即將携帶割草之尖尾刀執起。向劉頭上一劈。劉受劈一傷。哀痛求饒。江自思既已傷他。若使之歸家。向官出訴。罪雖無免。不如殺死以絕其跡。於是更將所持之刀。再向劉頭部面頰部亂砍。數十回。欲至破面碎額斷倒地。腦漿流出。鮮血淋漓。已經絕息。始背放手。即疾脫至後寮埤內。將所染血之下衣脫卸。下體赤露。並將殺害之刀血痕洗盡。乃走歸宅。將刀藏在房中。將所脫之衣藏於便所桶上。乃急告其兄。其兄聞言。十分驚懼。恐所脫卸染血之下衣。露出證據。立命携往於該埤側草木叢生之深處。窃謂從此無人知覺。不知當局苦心搜查。日夜繼續不休。至去八日。偵知有疑。立將江拘入司法究問數回。不肯實供。迨去十一日。自知法網難脫。乃一々實供。於是刑事。乃搜尋其染血之下衣及刀。以及所藏便所之金。證據確實符合。立將數日來所拘之嫌疑者數人釋放。因爭江清輝。現留置中。呼天叫地。懺罪求饒。聞不日將犯人及證據物送交檢察局云。

民雄信組
總會前之不穩

嘉義郡民雄信組。前因爲派爭權。風波不息。組合員異常迷惑。然昨年中許組合長辭退。以何立氏繼任。而劉新愼氏爲主事。一般多謂從此風靜浪平。未幾復見理事劉羅生、劉廷獻、許治明、監事劉水岸四氏。各提出辭職。而一月四日開辦。至十日。組合員脫退者三十一名。金額一萬七千三百三十餘圓。豫金領出三萬五百餘圓。目下組合員。甚然搖動。爲是來十九日之總會。各派恐軍行騷擾。原因風聞爲組合長出資二口二十圓。主事出資二口十圓。且兩氏之家族。先已脫組。故他組合員。對於組合懷疑不能安心云。

萬華友親會
捐五百金
舊年末施米

萬華慈善議開友親會。設以已七年。每年舊年末。恒鳩集數百金。賑恤貧民。昨年對南署管內四百餘名貧人贈與白米一斗及金一圓。去十二夜。假會員陳水勝氏新建發樓上。開新年懇親會。並招待高山南署長。席上唱議依例施米。一同贊成。林天河、陳水勝兩氏。各慨捐一百圓。其他二十六人。各捐數十圓。計得五百餘金。將託陳水生氏購米。於舊二十八九日頃。在林天河氏宅分給於南署管內四百餘名。不足額則由陳水勝。林天河。李根生。張火爐四氏負擔。南署長席上陳述希望。備稱現在資本家與貧困者懸隔愈甚。本會員皆多年犧牲。救恤貧民。其功不少。望益爲地方貢獻云々。九時半散會。

羅東高山貨物車
墜落蘇澳白米橋下
運轉手等無傷橋欄衝折二間

羅東街高山自動車商會。所有貨物車北一七七號。運轉手陳火居。年二十八。去十二日午後一時三十分。由南方澳。滿載鮮魚。欲赴蘇澳驛午後一時五十分之積車。疾走至蘇澳福德廟後之分岐路。適逢蘇澳南興業公司所有北二四一號之貨物車。由前面而來。各相避道物。高山貨物車。爲趕時間。疾走如飛。且由高而下。急切不能制止。並因鮮魚籠頭過長。觸及白米橋欄柱。遂連人及滿載之貨物。陸落丈餘之白米橋頭溪底。車體破害。運轉手及車掌不傷。白米橋欄柱衝折二間。蘇澳警察課長報。石上鉄部。出水巡部補。池畑保安係。急馳到現場檢查云。

龍江信組總會
配利六分

龍江信用組合。第十五回總會。初奈北州指定於來二十五日。然是日爲舊除夕。乃請延於一月十九日午後一時。欲在江山樓開催。而組合資金五萬七千圓。本期剩餘金七千圓。配當內定照舊六分。同日議案因定款第八條存立期間二十年。尚存五年。故欲延長十年爲三十年。監事四名任期滿了。須再改選云。

羅　東

增一學級

羅東公學校。現十六學級。近年兒童增加。昭和八年度學級將增一學級。其他女子公學校。小學校。均無異動云。

信組總會

羅東信用組合。本年定期總代會定來十四日午前九時。開于羅東公會堂。然本期剩餘金。擬定三分。又理事。監查役及評定委員均各任滿。擬一般觀測。大有異動云。

新　竹

撞傷幼女

新竹街頭彌迺推車人梁水來。日前以臺車載運水泥。欲到附近石油會社內。往東勢郎附近住宅後方。撞倒東勢人王鵬元之三女王氏樹者。致右足大腿部。受擦過傷。任賢治中。

隊樓傷背

新竹街水田人吳金開。日前。在自宅摸索。其兄金元。嬉戲。失足跌落樓下。受大石負傷。現醫治中。

觀察護岸

去十一日。新竹州佐藤土木課長偕督府員。到湖口庄助役江鴻朋氏前與。視察鳥溪溝岸。因爲保護護岸起見。凡經岸前倚各二十米突。不許人耕作。倘欲耕作。須先受北推云。

視察團來

大溪郡榮幼行視察團一行二十九名。去十一日。來新竹。觀察小作慣行改善事業。新莊芭蕉檢查所。且遊來園。一行員中有大溪街長江鶴田氏。一行前往視察。

大　甲

被軍擄去

最近據傳大甲郡下梧棲街人蔡某。名維水。在廈門廣州之間營商。突被十九路軍擄去。擬云若有巨款往贖。則欲放還。不然欲銃殺之。究竟事之如何。眞相未明。

電話新設

大甲郡梧棲郵便局區內。此回由該地商人。特申請新設電話。於去十二日。由遞信局。派諸電工。出赴該地。從事架設。開架設者數九番云。

狂犬噬演

大甲郡沙鹿庄。去十一日朝。忽來二狂犬。狂奔市上。見人亂噬。街民一時大恐。開其同地木匠總之子外一名。被所噬。急延醫治療。而二狂犬。同時被人圍住擊斃云。

哭屋犯路

大甲郡沙鹿庄人陳李氏某。又陳治三來。去十日。因關其家屋有犯住家。有犯市區改正之路線。將拆去。一時兩家婦人哭不已。見狀殊可憐也。

大　屯

協議會日

大屯郡下各庄協議會日期。已決定如左。一月十八日大平庄。一月十九日北屯庄。一月二十日大里庄。一月二十二日烏日庄。一月二十三日霧峰庄。一月二十四日南屯庄。一月二十八日西屯庄。

臺　南

將選役員

臺南市西門町媽祖宮及其附近屋主等。爲圖進家屋賃金減下。而組織之共榮會。倡設者內藤人四十餘名。擬於近日中。開創立總會。因年關多忙。致延期。即已定此中旬選舉役員。進行共濟云。

庭球大會

臺南州敎育會。以來十五日午前八時半。邀集州下各中等學校職員。於公園球場。開庭球比賽大會。參加者南師。高商。高工。一中。二中。第一高女。第二高女。敎育課員等。賦閒巡拜會云。

會　事

▲桃園水利組合。訂十五日在桃園公會堂。開評議員協議會。後開新年宴會。

▲嘉義警察署員。去十一日午後五時起。至十時。在嘉義俱樂部。開圍碁大會。結果之成績一等荒川警部。二等出席部長。三等竹友巡查等云。

人　事

▲宜蘭街協議會員林魁年氏之母。林陳氏西。去年十二月中罹患。享壽七十二。

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

發行兼編輯印刷人 [illegible]

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

本紙 一部五錢・一ヶ月前金壹圓參拾五錢・[illegible]

總督府圖書館主催 全島讀書週間記念

年頭！今こそ絶好期！

英語へスタート

研究社 英語通信講座

會員募集

ＡＢＣの讀方から

毎月壹圓

十五箇月で卒業

好景氣來！げに輝かしき昭和八年！各種事業の勃興、續いて來る人材の要求！實力ある者の活躍出來る時代が漸く來た！實力は英語より！チャンスは先づ英語を知る者に與へられる！新春と共に本講座で英語獨學のスタートを切れ！小學上級の學力さへあれば、短期に英語の理解力を獲得出來る！

■毎月二回配本■

◆豪華なる新撰九大附錄◆

（本講座の會員のみに無代進呈）

- (1) 英語讀本
- (2) 英語讀本辭書
- (3) 英語學習カード
- (4) 英習字練習帳
- (5) 原色繪カード
- (6) マイ・フレンド
- (7) 英語受驗講座
- (8) 四千單語集
- (9) 英語試驗解答集

申込次第 內容見本進呈

●學則入學案內附二色刷麗美本●

東京麹町富士見町六丁目
研究社通信學部
振替東京三〇八五番

英講は「研究社」が第一！

新潮社出版書類

昭和七年刊行中賣行最も盛んなるものを選ぶ！！
台北市榮町新高堂及び各書店にあり、御求めを乞ふ。

■夜明け前 島崎藤村

定價壹圓八拾錢

木曽山中の一宿驛の、舊き傳統に生ける人々の生活を中心として、そこに反映せる明治維新の時代相を描けるもの。一面特到深刻なる鄕土小說であり、一面雄渾壯麗なる革命小說でもある。

■ふらんす人形 大佛次郎

定價壹圓八拾錢

多彩な交渉の葛藤、近代色鮮かな本牧の酒場とダンスホール、港の夜に咲く闇の花等の交錯が釀し出す不可思議な魅力。これに父と娘にまつはる人間悲劇。これはジャンバルヂャンやコゼット以上に深刻だ。

■蝕める春 菊池寛

定價壹圓六拾錢

失戀の惱みに狂ふ久美子、思はぬ惡戀に惱む優子、二人の姉とは又別の性格ながら乙女の夢を夢見る香澄——美しい三人姉妹で有名な某實業家の令嬢と若き貴族出の音樂家をモデルとした稀覯の神品。

■G線上のアリア 吉田絃二郎

定價壹圓

清純な抒情味と細緻な美しい觀察。ホイットマンを愛し、西行を愛する著者の素晴しい人間味は此の一卷に溢るゝばかりだ。吉田氏の純情を愛ふ人々にはこの新鮮な傑作集は逸し難いものであらう。

■聖なる乳房 山中峯太郎

定價壹圓六拾錢

荊棘の路に苦しみ喘ぎつゝある日本女性、その現代社會と家庭の姿を、あるがまゝに描寫し、香り高き藝術的作品として新たな炬火を男女兩性の上にかゝげたもの即ちこの一卷の「聖なる乳房」である。

■新たに芽ぐむもの 佐藤紅綠

定價壹圓六拾錢

作者は人道主義の大旆を翳してその構想は雄大波瀾を極め幾多の性格と事件とを活寫してゐる。而も現代非常時の時代に對する一大警鐘である。これほど息詰まるやうに面白い小說は稀と云つてよい。

■益滿休之助 直木三十五

定價壹圓貳拾錢

君國のために一死を辭せざる傑僧の士益滿休之助は、頰かむり尻はしよりで鼻唄を歌ひながら戰塵のところへ出掛ける「益休」である。熱誠と剽輕とを一緒にした人氣男は直木三十五氏の健筆と踊る。

■人生突進記 山中峯太郎

定價壹圓

軍人から新聞記者へ、更に文壇へ戀愛へ、朗らかに突進する快男兒の記錄！一面若き人々への眞面目な辭典でありまた底拔け爆發のユーモア小說。正に昭和文壇が生んだ第二の「坊ちやん」である。

■昭和妖婦傳 三角寛

定價壹圓貳拾錢

まざまざと描かれた昭和妖婦の種々相！これは小說ではない、手と足で書いた現代社會の裏面史、猶都の女の斷截、すべて君等の身近にあつた事實が生んだ實話文學の粹である。

■愛憎祕刃錄 三上於菟吉

定價壹圓七拾錢

武士を捨つた一本刀俠盜のさびに身をば窶せど烈々たる氣魄と俠氣に生きる。正に主人公の心は現代青年の心だ。美女お梅の情は今の淑女の胸にある！まことと男の意氣「祕刃」美俠哀艶、近來の傑作!!

■鼠小僧次郎吉 大佛次郎

定價壹圓七拾錢

舟板塀の背陰に浮く白粉の香が匂ひもしよう大佛氏の豐麗な筆の魅力、艶やかな春の深夜夢の覺きの裸に忍び込む鼠小僧の神祕な動き、その幻をみる樣な筆の魅力——人間鼠小僧を描いて素晴しい。

■勝敗 菊池寛

定價壹圓五拾錢

深刻なる生活の戰ひと愛の戰ひを描いて全篇火花を散らすが如き爭闘と息づまるが如き緊張とをもつて終始し、そこに溌剌なる現代の眞理と道德とを語る本書こそは菊池氏の最大傑作といふを憚らない。

■檜山兄弟 吉川英治

定價貳圓貳拾錢

革命の風雲急なる幕末の時代相を背景として實に華麗しく雄大なるロマンスを展開し來る。開卷第一頁から強く讀者の心をひきつけて一氣に讀み終らしめる興味萬點の作。實に大衆文壇第一の名作である。

■銃劍は耕す 櫻井忠溫

定價壹圓參拾錢

櫻井少將の新しき「肉彈」である。極寒の曠野に身命を賭して我等の生命線を護つた皇軍將士の勇猛と辛苦とを國民に報ずべく又長く後世に傳ふべくこの著者とこの文と實に滿洲・上海事變唯一の戰記だ。

■航空講話 北島少佐

定價壹圓

空飛ぶ一機を見てあれは何式何機と一見して判る知識が欲しくはないか？我強敵かその實力が知りたくはないか？この書は最新の知識が專門家も驚く平易明快さで說いてある。[illegible]

發行所 東京・牛込 新潮社
振替東京一七四二

罪障淨火の煉獄の火だ・此の人を見よ此の文を見よ！

人生日錄

[illegible]

良書への絶讃

敢然として賣る

出版は企業である然もその社會性に於て一切を犧牲にしてこ賣らねばならぬ良書がある。正にそれである。一冊は一人を通じて百人を激せしめ、千人を教へる。一九三三年は本書によつて現代人の魂を洗淨するであらう。年頭の心的用意の爲に敢然として本書を推す。

◇ 矢吹慶輝

涙骨氏以外に涙骨氏なし。涙骨氏の文章は涙骨氏其の人である。[illegible]

◇ 土田杏村

[illegible]

◇ 高島米峰

[illegible]

◇ 千葉龜雄

[illegible]

◇ 渡邊海旭

[illegible]

◇ 室伏高信

[illegible]

◇ 關精拙

[illegible]

◇ 佐々木惣一

[illegible]

◇ 梅原眞隆

[illegible]

◇ 釋瓢齋

[illegible]

◇ 出口王仁三郎

[illegible]

四六判總クロース五百頁 定價金一圓五十錢 送料一冊[illegible]

全世界の驚き

岩見次三著

四六版三百頁上製函入美本

定價二圓

送料一冊十二錢 [illegible]二十七錢

驚く筈だ。イエスキリストの磔死も、その再生も、共に仕組まれた芝居だ。キリストは大の詐僞師だといふのだ。然もその一々の證據が歴々として文獻的に明白になつたのだ。著者はこの事を明證する爲に狂人の如く嘲られながら二十年血みどろになつて研究に沒頭し、今漸く此の書を公刊するに至つたのだ。信者も未信者も必ず一讀すべき驚異的な新著である。全世界の信敎に投じたる革命彈の炸裂！

內容要目

イエスは十字架にかかつて死んでゐない。天地創造の神。イエス・キリストは人間の子。最初の弟子シモン。イエス命復活の大芝居に取かかる。[illegible]シモンをイエスの身替りとす。[illegible]イエス變名して自己を弁解す。サウロ狂的にキリスト信者となる。[illegible]最後の裁判に就いて。

絶對正確

大東京案內

東京市囑託
高谷義重著
昭和八年版

一躍十一倍に擴大し、七十九種の交通網がその上を蜘蛛の巣の如くに馳驅してゐる大東京、この大東京は、區名町名の大改變によつて全く混沌としてしまつた。此の交錯した交通、通信關係を見事に整理して編纂したのが此の大東京案內である。これさへ備へて置けば、乘物運賃方向距離、目的先の玄關まで間違ひなく手引してくれる絶對正確の都市案內である。これさへあれば地圖もいらずに大東京の交通一切明白！

全七篇合册2圓70錢

1	中央東部篇	35錢
2	中央西部篇	35錢
3	城南部篇	50錢
4	城西部篇	40錢
5	城北西部篇	40錢
6	城北東部篇	40錢
7	城東部篇	40錢

神祇辭典 山川鵜市著

菊判本文八百頁 [illegible]

神祇神道に關する古今一切の資料を檢討し綜合したる日本唯一の神祇辭典たる本書は、敬神崇祖の大綱を明らかにし、祭事、神典、傳說、神社のすべてを網羅せる[illegible]。長らく品切のところ、神社、學校、官衙方面より重版の希望切なるものあり、[illegible]第三版を刊行せり。[illegible]

自治民範 權藤成卿著

菊判五百頁 定價一圓八十錢 送料十八錢

全日本の熱烈なる要求に動かされて忽々再版出づ！氏は現代日本が持つ唯一の[illegible]である。官治主義資本主義に反對して自治主義農本主義を鼓吹し、その學徒は全國に亙し、本書はその[illegible]せるもので、正に時代を[illegible]第一書である。

現代文明サイクロペヂア 室伏高信著

四六判一千五百頁 定價三圓 送料十八錢

これこそ現代文明人の全知識を網羅するコンサイス百科辭典である。政治、經濟、哲學、藝術、科學、歴史、地理、ジャーナリズム、人物、新語等現代文明人にとつてのあらゆる常識の寶庫である。この一冊を開けば一切の高等社會人に必要なる知識が水道のネヂをひねつたように出て來る。三ケ年苦心の結實である。

明日はどうなる 竹越與三郎著

四六判二百七十八頁 定價一圓五十錢 送料六錢

世界經濟の大嵐內に[illegible]現實をたどる現代日本、明日はどうなる——これこそ何人も知らんとし、何人も知らねばならぬ約束である。[illegible]著者は現代日本の最大の[illegible]、[illegible]生れたこの理論こそ正に聞かねばならぬ第一の問題である。

米國斯の如し 八木雄馬著

四六判三百頁 [illegible]

彼を知る！——これぞ非常時日本の最要件である。[illegible]全米の視線は何を日本に用意されたるか。[illegible]世界の重大危機は正に太平洋に[illegible]としてゐる。著者は我軍部の米國通として知られたる人物、大膽なる[illegible]必讀の快著である。

農民は起ちあがる 室伏高信著

四六判三百頁 定價一圓 送料六錢

三千萬農民の敎科書！これこそ全日本農民が待ちあぐんだ農本主義の理論と具體的方策——新らしい理想がこゝに燃え上り、農村の方向が太陽の如くに指し示された。土と村との上に全日本を建立せよ、今や完全なる農民國家の建設に出たのだ。非常時日本の內在的苦惱を解決せんとするものは來れ！刻下必讀の文字！

東京日本橋吳服橋三丁目
振替東京二九六三九
平凡社

財政インフレと其對策
金融政策を活用せよ

一

既に編成了つて議會休會明けの日を待つ政府昭和八年度豫算案は二十二億四千萬圓といふ我國未曾有の尨大豫算で、而も普通歳入十三億圓に對し歳出二十二億、を計上したといふ點から世の非難が相當高いのであるが、政府側では時局匡救費、滿洲事變費、國防充實費等のつぴきならぬ非常時支出の立場を述べて一途に與黨兩院方面の諒解を盛んに求めつつ原案成立を期してゐるやうである。吾人は政府が十三億の歳入を以つて二十二億餘の抜き差しならぬ歳出を辨ぜなければならない苦衷を充分諒察することが出來、又この時局に處してこの豫算膨脹も萬已むなきを知る事が出來るが、國家財政、國民經濟のため一抹の不安なき能はざるものは爾後の財政計畫に就てである、何となれば政府は爾後の財政計畫として具體的なものを明示してゐない、從つて昭和八年度はこれで良いとしてもさて九年度更に十年度に至つてはどうなるかこれは將來のことながら實は現下にかける財政上の大問題であると思ふ。

二

政府側の弁解によると八年度歳出は二十二億四千萬圓といふ未曾有の膨脹を來したがこれは全く非常時に備へるための應急的な編成であつて日支關係其他兩國紛爭と共に漸次復歸に勉めるもので昭和九年度は現在十年度には常態に復するであらうとし、金輸出再禁止後經濟界の情勢面に貨幣價値の急變から、改定計畫に關する營業税其他收益税等には當然收入減收が加へらるべきで、時代の趨勢に鑑み不急の經費は削除節減を圖る財政の根本的整理が考慮されてをるとあるが八年度豫算に殆んど之れらしい片鱗も見せず、又滿洲關係支出なども今後果して何年つづくかさへ見極めが困難な事情にある。但し税制整理についてその一端として普通歳入の增加を圖るため增收を目的とする所得税並に相續税及營業税の引上げ、登録税及ガソリン税の新設更に消費の節約を圖る趣旨から關税、地方税全般に亙る根本的整理等を行ふことになつて四月の今議會關税改正等を一部その實現を見せる模様である。

三

然し公債政策については今の所これといふ確策があるらしくもない、即ち昭和七年度末に於ける我國公債總額は七十億圓に達し之れに八年度計畫による十億圓の新規發行豫定を加へると正に八十億圓を突破し減債基金繰入停止の今日このままでは國債百億圓到達は遠からずである。かくては國際的信用失墜から國債價格を更につづけ我財政の基礎はいよいよ脆弱となつて國家財政の破綻を孕む怖れがある、之に對し政府筋では今後公債利子の引下げ新規公債發行抑制、減債基金の繰入れ復活等々の方針を固めて財政の建直しを期し遅くも昭和十年度に至つては赤字を消滅せしめ歳出入のバランスを常態に返すことが出來ようと抽象論を述べては居るが未だ何らの具體案を立てるに至つてゐない。

四

吾人は政府が財政の前途に確實に見通しをもつけてあるものならばたとへ當面どれだけの公債が堆えても案ずるものでないが非常時の名に示設されて漫然一借金の借りついで」といふやうな當面の彌縫策によるものならば國家財政の前途にも、國民經濟のためにも由々しきものありと信ずる。既に二十二億四千萬圓といふ恐るべき豫算案成つた今日、若しこの尨大豫算がこのまま通過成立せば如何。新規發行の公債十億圓が全部は通貨面には作用せぬが所詮通貨の大膨脹誘發の源泉から物價暴騰となり思惑投機熱を一層熾烈にして今日の所謂インフレ景氣の弊風を一段と助長することにならう。吾人は歳出の大膨脹が非常時局といふ名の下に財源に制限なく計上してゐる事の原因は、兵備の改善、日支事變、時局匡救費等の新規經常費に自然自得た軍事費增加なる類の絶對費目に擬つてゐる事を認め、費目の節減については誰しも[illegible]の餘地はないが費目の適否とその要求費目の適切とは厳然別物でなくてはならぬ、これらは休會明け議會に於て、財政政策に對する質問と共に慎重審議さるべきものと思ふが結局歳出入豫算に多少の修正改廢があつても二十二億といふ尨大なる總計を動かし得る期待は僅かしか存ぜず又公債財源に代るべきものもなしとせば八年度豫算實施と共に財政インフレーションは愈々熾盛するであらう。之により利得する者もあるがそれは國民の一部で大部分の勤勞階級は不自然な物價暴騰による不安なる生活難に直面し社會問題を惹起さす懸念あるは外國の例によつても明らかなことである。而てインフレ弊害の對策として考へらるべき唯一つのものはこの年明け早々日銀の公債賣出しにより示した如く財政インフレから生じた弊害抑制は中央銀行と協力を徹底的に凡ゆる手段を講じて不斷に適宜ブレーキをかける用意あるべきで金融政策を以て臨むコントロールドインフレーションこそこの際採るべき途であらうと思ふ。

蔣が北方の各軍に 抗日の目的達成を命令
江蘇安徽河南の派遣軍に 待機命令を發す

【天津十三日發電通】南京來電に依れば蔣介石は十一日緊急軍事委員會を開き米獨人軍事顧問をも加へ山海關奪還と熱河防備に付き協議の結果北方の各軍に對し一致團結抗日の最終目的貫徹に努力せよと通達すると同時に江蘇、安徽、河南の各地にある派遣軍に對し待機命令を發したと

宋軍が前線に出動

【北平十三日發聯合】平漢線通州に假宿中であつた宋哲元第二十九軍三十八師二百二十五團及び特殊部隊一團は今朝北寧線豐潤、唐山方面の前線に向け出動した

兵の移動二十五列車
天津方面は支那軍で充滿

【天津十三日發電通】十二日午後より十三日朝にかけ商震、龐炳勳軍の天津通過北上せるもの二十五列車に上り、更に續々移動中で天津方面一帶は支那軍で充滿されてゐる

貨車押收で物資の輸送杜絶

【北平十三日發電通】張學良麾下の平津進出部隊の運輸は混亂し平津の各驛は移動兵で充滿し、貨車は各軍隊に押收されたため物資の輸送杜絶し、北平の物價暴騰し、北平商界は困憊し商人と爭ふに至つた

軍費捻出に學良懸命
天津銀行團にも借款申込み

【天津十三日發電通】學良は最近北寧鐵路局長高紀毅に命じ天津の香港、上海銀行に預金せる鐵道公金二百七十萬元を軍費に流用せしむると共に天津支那銀行團に三百萬元の借款交渉中であるが銀行團は學良に見切を附け承諾せぬ、尚學良は別に一千萬元の軍費捻出の財政會議を開いてゐる

塘沽の砲臺を修理

【天津十三日發電通】北支の形勢逼迫と共に最近學良は塘沽の砲臺を修理しつつありその工事著々進捗してゐる

中央と學良の利害對立

【南京十三日發電通】山海關事件勃發以來學良の中央に對する報告は不完全を極め學良の眞意頗る明瞭を缺くので國民政府は外交次長を北上せしめ學良の態度を監視せしむる事となつたが、右は事態を擴大せしめ以て聯盟又は第三國の介入を誘致し日本を窮地に陷れんとの國民政府の政策を學良が自己保全の立場から獨斷で日本と和解する事に依つて自己の破滅を恐れた爲めで、今や學良と中央の利害漸く判然となり兩者の對立は愈々露骨となつて來た

わが飯塚枝隊が 遂に丁超を捕縛
意氣揚々賓清に引揚ぐ

【ハルビン十三日發電通】賓清より逃亡せる丁超軍二千は我飯塚枝隊の猛撃に根據地賓清より依蘭方面に逃亡し疲勞と飢餓に部下の大半を失ひ遂に降服し飯塚枝隊は丁超を捕縛とし敵軍監視しつつ意氣揚々賓清に引揚げた

秦皇島一帶は 掠奪強盜が絶えぬ
八日犯人二十名を銃殺

【新京十三日發電通】山海關陷落と共に秦皇島方面は益々險惡を極へつつあり又鐵道以南の開灤地方には既に前線の敗殘兵數十名潜入し秦皇島一帶の警備には第九旅が當り治安回復に力めてゐるが掠奪強盜絶えず八日には掠奪犯人二十名銃殺された

日本が受容れれば 本腰で纏上げる
ドラモンド事務總長の希望

【ゼネバ十二日發電通】聯盟事務總長は日本側で事務局案を受容れて呉れれば部分的修正には應じ右確定後十九國委員會の通過を圖り之に成功せば總會にかけ第一、二兩決議案の採決を行ひ決議案附屬の議長宣言を削除し問題全部を七、八國より成る小委員會に移し一段落を付けんとしてゐる模様である、而して事務總長は事務局長に對する日本との交渉有望なる限り努力を惜まず永く之を纏め上げその間は十九國委員會には實際的進行はさせぬ模樣である

全國連絡して 排日せよと指令
南京の抗日會から

【南京十三日發電通】南京抗日會は最近屢々會議を開き排日運動の擴大強化を圖りつつあるが、十二日全國各地抗日會に宛て抗日の效果を擧げる爲め組織的な運動を爲すやう指令した、尚當局は之に對し全く傍觀的態度を持してゐる

上海市商會の 排日煽動通電

【上海十三日發電通】當地の排日運動の策源地たる市商會は十二日附にて當地各同業組合に對し左の如き排日經濟絶交を煽動せる通電を發した

東北の失地回復未だ成らず、我軍後方の民は對日永續的經濟絶交に依る一途あるのみ、南京、上海、武漢は商業中心地にて日貨の集散地なり、全市の商人一致團結經濟絶交を敢行すべし

三宅枝隊 錦州に凱旋

【錦州十三日發聯合】僞軍熱河攻略の唯一の通路たる九門口占領に武勲を立てた錦州部隊、三宅枝隊主力は官民多數の歡迎裡に十三日午後五時十五分着列車で凱旋した

山海關戰鬪の 我軍參加數

【[illegible]】[illegible]部發表、山海關の戰鬪に參加した我軍は千五百で内死傷は九十九内譯戰死將校四下士兵十五負傷八十名尚支那軍の參加數三千内死傷一千名の見込みである

滿洲問題と 國際聯盟 (3)
立作太郎博士の講演

即ち規約第十二條は要するに第一に聯盟國間に國交斷絶に至る虞れある事件が起つたときは平和的手段によるべき事、第二に平和的手段に訴へたときはその手段が濟むまでと三ケ月間は戰爭に訴へる事が出來ない旨を規定するものである。本條に所謂戰爭とは國際法上の戰爭であるか？今日支間の關係を觀るに日支間に國際法上の戰爭は存在しない。國際法の戰爭とはその意思を以て敵對行爲をなす事を意味するからである、從つて日支間には戰に至らざる

兵力的 爭事あるのみである然らば[illegible]

に至らざる自衞手段、復仇手段（相手方の不正に對する救濟としての兵力的手段）は十二條の戰爭の中に包含せられるか何うか？第一に自衞手段はやむを得ざるに出でるもので明かに十二條に包含されない。第二に復仇手段は戰爭とは言へないが、聯盟國間に國交斷絶に至る虞ある行爲の規定に從しても十二條の戰爭に包含せらるるものと解すべきである。吾國の滿洲に於ける行動は自衞手段であつて十二條の規定に違反しない。規約第十二條の平和的手段に三ある。第一は法律的解決即ち仲裁裁判である之には二あり、其の一は仲裁裁判、其の二は司法的解決である仲裁裁判は紛爭當事者が仲裁者を合意の上で選びヘーグの常設仲裁裁判所に出訴するものである所謂之、常設といふも制度だけ常設であるに過ぎず、且つ常設的裁判であるから前の意味に於ける司法的解決とは異ひ得ない常設國際司法裁判所が司法的解決を行ふ裁判所であるが

純然たる 法律的解決であり、政治的解決を適當とする國際紛爭は常設國際司法裁判所に出訴する事は適しない、從つて斯くの如き場合は、第三、國際聯盟の審議にかけるのである、此點を決めるのが規約十五條である、規約第十五條は國際法の所謂調停を規定してゐる理事會（又は總會）で行ふ調停に二段階あり、第一段階は紛爭當事國が集まつて當該事件を理事會に付託し調停を求め、第二段階は理事會が事件を審査し、當事者をして反省せしめんが爲めに勸告を可決し之を公表して輿論に訴へる、而して其の審査の結果紛爭當事國が之に服するか何うかは關しない。即ち理事會の決議は絶對たる効力があつて裁判にあらず、妥協の提議たるに過ぎない。從つて當事國の一方を非難する様な提議を作る事は十五條の精神に反するものである。規約第十五條の適用に當つては聯盟國間の紛爭にして仲裁裁判にも司法的解決にも付せられない事が條件となるのみならず、その紛爭が國交斷絶の虞れあるものなる事を要する、國交斷絶の虞れありや否やは

理事會 にて之を決する[illegible]

理事會に付託したる後之を聯盟總會に移す事を得るがその場合は一定の期間即ち十四日以内に之をなす事を要する。今度の滿洲事件に關しては日本としては理事會に於て決した方が好都合であつたのである。現て總會に於ては十五條による議決は過半數で決し得る、即ち斯くして勸告を含む報告書を作るのであるが一般に全員一致の報告書でも法律的拘束力がなくて、勸告的、提議的なものである。はんや過半數による勸告は法律的拘束力がないのは當然で紛爭當事者の反省を促し又輿論に訴へる爲めに公表されるものである。然るに世上往々にして規約第十五條にかける事は聯盟の裁判にかける事だから日本としては之を避けなければならないといふ説があり、又脫退論の起り來る一の理由となつてゐる、併し[illegible]

通り脫退までの必要なし、又十五條による勸告が成つたにも拘らず、當事國が自ら案を作り

勸告が 成りたる後三ケ月間は戰爭出來ないから三ケ月後に其の案を相手方に强る爲めには戰爭に訴へる事も出來る。但し當事國を除く全員が賛成したときは其の決議後三ケ月を經ても勸告に反對の國に戰爭は出來ない。一國でも反對あれば大多數を以て議決せられるも戰爭の餘地を殘す。尤も戰爭に訴へたるとては不戰條約上の問題を生ずる。更に第十五條の適用を厭がる人々は十五條にかけると當然十六條の經濟封鎖にかかる事を恐れる爲めであるが之、理由とならない。十六條の經濟封鎖といふ制裁は上の如くにして戰爭に訴へて初めて起るのであつて日本は戰爭に訴へる意思がないから經濟封鎖の[illegible]

議會提出の法律案
十三日の閣議に報告

【東京十三日發電通】政府は十三日の閣議で六十四議會提出の各省法律案につき各閣僚より報告し大綱に就き説明したが、右は法制局の審議を經て議會に提出することになつた法律案左の如し

△外務省
一、大正九年尼港事件及オホツク事件で損害を蒙りたるものの救濟に關する法律案
一、支那の動亂のため損害を蒙りたるものの救濟に關する法律案
一、滿洲事變のため損害を蒙りたるものの救恤に關する法律案

△内務省
一、衆議院議員選擧法中改正法律案
一、特別都市計畫法中第五條に關する改正法律案
一、都市計畫法中改正法律案
一、醫師法中改正法律案
一、齒科醫師法中改正法律案
一、兒童虐待防止に關する法律案

△大藏省
一、昭和七年法律第六號中改正法律案
一、昭和八年度一般會計公債發行に關する法律案
一、昭和七年法律第一號中改正法律案
一、造幣局資金の一部を一般會計に繰入れるに關する法律案
一、大阪帝大工學部設置に就き帝國大學特別會計及官立大學特別會計の資金に關する法律案
一、鐵道會計法中改正法律案
一、朝鮮事業公債法中改正法律案
一、樺太事業公債法中改正法律案
一、關税定率法中改正法律案
一、昭和七年法律第四號中改正法律案
一、外國爲替管理法案
一、貯蓄銀行法中改正法律案

△司法省
一、小切手法案
一、利子制限に關する法律案
一、弁護士法中改正法律案
一、法律事務取扱に關する法律案

△農林省
一、農業保險法案
一、農產物檢査法案
一、肥料取締法律案
一、農村負債整理法案
一、農業信用組合法案
一、昭和七年法律第三十號に關する法律案
一、森林火災國營保險法案
一、漁業法中改正法律案
一、米穀統制に關する法律案
一、產業組合法中改正法律案

△商工省
一、昭和五年法律第十六號中改正法律案
一、工業組合法中改正法律案
一、アルミニユーム工業助成法案
一、[illegible]法案
一、[illegible]法律案
一、[illegible]
一、不正競爭取締法案
一、取引所法中改正法律案
一、倉庫業法中改正法律案
一、弁理士法中改正法律案
一、意匠法中改正法律案
一、商標法中改正法律案

△遞信省
一、船舶安全法案
一、船舶職員法中改正法律案

△鐵道省
一、鐵道敷設法中改正法律案
一、地方鐵道補助法中改正法律案
一、地方鐵道買收補償のため公債發行に關する法律案

△拓務省
一、樺太地方鐵道補助法中改正法律案

定例閣議

【東京十三日發電通】十三日の定例閣議は午前十時より開會、閣僚全部出席、永井拓相より過般來議會中の日滿經濟統制に就き報告し、内田外相より代表部と聯盟との折衝經過を報告し、荒木陸相より山海關熱河の情況と軍の行動に付いて説明し、零時半散會

蔡法平氏の 歡迎會
きのふ鐵道ホテルで

滿洲國執政の主席秘書官蔡法平氏の歡迎會は臺北にある官民主なる人々の主唱にて十三日午後六時より鐵道ホテルに開かれたが集る軍官民に内臺民間人凡てで百餘名デザートコースに入るや幣原帝大總長は起ちて蔡氏の歸臺を歡び滿洲國の王道樂土を禮讃して後臺灣の居住者が滿洲國の發展にある事は本島と滿洲とを貿易其の他いろいろの點にて結び付くる事となり喜びに堪へないとて蔡氏のため乾杯し之に對し蔡氏は陳振能氏の通譯にて滿洲國三千萬民衆の獨立から執政の就任に至る迄の事情を陳べ滿洲は九月から十月頃恰も春の如き氣候であるから臺灣からも視察旁々お出掛けを願ひたいとて謝辭を敍べて乾杯、歡談し八時過ぎ散會した

人事

阿里山高山觀測所勤務を命ず 督府地方技師 宇野末次郎
佐賀縣より東京府へ出張を命ず 督府文教局長 安武 直夫
督府編修官 三屋 靜
督府視學官 大浦 精一
第十二回視學講習會講師を命ず
▲谷河梅人氏 十四日出發南部へ

◇シナチク◇

日本にゐる一米人が或る會合で語つたハナシだが、新大統領の下に米國は禁酒法が緩和され、それと共に十億圓からの酒の税金が收入となり、米國の景氣は先づ酒から——といふ風なことを言つてゐる▲この話をもつと尾ヒレをつけていふと、ルーズベルト大統領は就任後禁酒法の緩和を斷る、政府としては此のため禁酒諸取締の經費も節約できるし、おまけにウント酒の方の税金が增すので之により今まで三年間の苦しみから脫することが出來るだらう▲「景氣は東より」で米國が景氣づけば日本も當然潤つて來るわけだらうが、酒を飲む飲まぬくらゐで十億も税金が違ふといふところ如何さま米國人の酔の高さが想像される次第。

岡田財務局長 十三日著京

【東京支局十三日發本社特電】岡田財務局長、森田殖產課長、[illegible]の一行は本日午後九時二十分東京驛着京した、官民の出迎へを受け局長は直ちに宿舍の自邸に入つたが本日朝來當地は非常の寒氣で流石に東京は寒いと驚いてゐた森田課長の上京の目的は來る十六日より内務省に於ける衞生課長打合せの爲めであると

七星郡街庄の 協議會日割

臺北州七星郡各街庄の協議會日割は左の如く決定した

二十日(內湖庄)二十一日(松山庄)二十二日(士林庄)二十三日(汐止街)二十八日(北投庄)

大和工場壓搾開始

【花蓮港電話】鹽水港製糖花蓮港製糖所大和工場では十日午前十一時から壓搾を開始したが、壽工場では十五日開始の豫定

新竹製糖苗栗工場壓搾作業開始

【新竹電話】新竹製糖苗栗工場にては一月七日から今期壓搾作業を開始したが豫想見込原料甘蔗七千六百二十五萬五千斤の步留を一割二分六厘と見て製糖見込高九萬三千八十一擔となると

督府辭令

一月十二日

任督府調査所技師 伊東 龍自
敍高等官七等（內閣） 督府調査所技師 伊東 龍自
九級俸下賜

入札公告

一、花蓮港築港用物品供給
入札保證金 各自見積代金ノ百分ノ五以上
入札施行 一月二十四日午前十時
詳細ハ[illegible]
臺灣總督府交通局基隆築港出張所

第拾五期決算報告（昭和七年十一月三十日現在）

借方之部	金額
未拂込資本金	[illegible]
土地	[illegible]
建物及諸設備	[illegible]
機械器具	[illegible]
鐵道	[illegible]
有價證券	[illegible]
現金及預金	[illegible]
原料及貯藏品	[illegible]
製品	[illegible]
容器	[illegible]
貸付金	[illegible]
受取手形	[illegible]
出資金	[illegible]
未收金	[illegible]
計	[illegible]

貸方之部	金額
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
借入金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
未拂金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
計	[illegible]

東光株式會社

本日肉食デー
（肉類）一割引
毎日ノ本仕品
內地肉百匁三十五錢
新設電話 臺北京町 一六九九 一六四四
鳥伊

土曜日肉食デー
牛肉、カシワ、ハム 一割引
毎日の本仕品 神戸肉百匁五十錢
臺北本町 電話八八四
三谷軒本店

臺南名醫紹介
内科兒科專門

内科 兒科 (病室あり) 井田醫院 臺南市錦町二丁目一四 電話二五八番

内科 兒科 伊藤醫院 入院室設備あり 臺南市錦町一丁目五八 電話四八番

內外科、皮膚科 同春醫院 病室完備 臺南市大宮町四丁目 電話一四四番

內外科 小兒科 レントゲン科 (入院隨時) 庄司醫院 臺南市港町(錦町通り) 電話309

行旅死亡人公告
一、本籍住所氏名不詳 本島人男子推定年齡三十歲位 身長五尺一寸九分
二、相貌人相特徴 顔色低キ方頭髪五分刈[illegible]
三、着衣及携帶品 [illegible]
四、[illegible]
右ノ者一月八日午前十一時頃七星郡士林庄八仙坡船場ヨリ約百米ノ上流基隆河岸ニ於テ溺死體ヲ發見身分不明ニテ引取人無キニ付假埋葬ニ取計置キタリ心當ノ者速カニ當役場ニ申出ツヘシ
昭和八年一月十一日 士林庄役場

大阪商船 基隆出帆
門司神戸行
扶桑丸 一月十六日後四時發
瑞穗丸 一月二十日後四時發
[illegible]丸 一月廿五日後四時發

近海郵船 基隆出帆
門司神戸行
大和丸 一月十八日後四時發
吉野丸 一月廿三日後四時發
[illegible]丸 一月廿七日後四時發

大連汽船 基隆出帆
大連直行
山西丸 一月十九日午後四時
代理店 丸一組

のみ易くて胃を障碍せぬ
福福カゼ藥

一月十五日より二月三日まで
恒例に依り初春の
大福引大賣出し
お買上高現金一圓毎に空籤なしの大福引券一枚呈上
昨年末は多忙を極めまして皆々様に不行屆勝で何とも申譯も御座いません、本春も恒例に依り大福引賣出しを催しますから先づ初春の運試めしに！是非一度御來店をお待ち申ます

○景品總額約二千圓也
景品目錄
酒（四斗樽）、米（四斗入）、油（五升罐）、供軍服、化粧品、コート、カブト、酒（一合入）、の罐詰
其の他空籤一本もなし

特價品
絞り羽二重帶上、同八掛、キヤラコ、モス布團地、三幅布團地、モス著尺、モス綿布
[illegible]

裏地の大見切賣

山海關事件 慰問賣出し
我々は目出度新春を迎へた引較べて御國の爲にお正月早々より嚴寒を物ともせず日夜の別なく激務奮闘せる諸氏に幾分でも慰問の一分として初春大福引賣出中現金總賣上高の一分を慰問させて頂く事に致しました皆々様も且つ御援助の意味で共に御來店御買上げ願ます
臺北市榮町 電話[illegible]
岡松井吳服店

子供服地、オーバ毛布、シャツ毛糸製品
大見切賣
お買上現金一圓毎に大福引券進呈
太平町 內臺融和聯合會
岡松井吳服店 電話二七八四番

花蓮港高女の ＝愛國義金＝

八日間で百餘圓に達す

【花蓮港電話】花蓮港高等女學校では昨年末年始にかけて生徒及び父兄に愛國節約の趣意書を印刷して父兄に配布したが右節約によつて得たる金額を恤兵寄附金として贈ることとしこれを實行した結果十二月二十九日から一月五日に至る八日間に生徒及職員により百八圓五十一錢といふ節約を得たのでこれを滿洲に贈ることとなり十三日花蓮港分隊長を經て陸軍大臣宛に送金の手續きを了したが節約項目十六項の中食物の改良をなして玄米食としたため三圓八十錢を得たことや新聞及雜誌を節約して一圓八十七錢、品物の使用を丁寧に且つ工夫して新しく買はずに濟んだ節約八圓四十六錢、來客用の附物を手傳つたりして得た金五圓十八錢等如何にも女學生らしい節約振りであつたが何と云つても僅々八日間に百圓以上の節約を得たことは大成功で父兄達もこの催しを讚んでゐる

虚禮を廢し 恤兵獻金

臺中州竹山分會では滿洲に在る戰友將士慰問のため竹山郡管內各官公衙其他有志の賛助の下に年末年始の虚禮を廢し金百三十三圓六十一錢を臺中分屯大隊を經て獻金した

岩越巡查の行方

未だに不明、遺族には 各方面から厚き同情

客年末夜間沿岸警邏に行つた儘行方不明となつて居る澎湖廳望安出張所巡查岩越西次外、保甲書記に小使三人の所在はその後杳として分らず當時漂流遭難說が有力なる東吉嶼附近の暗礁說に轉込まれた者と推定するより外に方法ない狀態となつて居る、岩越巡查の家族ミヨ子夫人（二）はその後手厚い澎湖廳警務課の世話に依つて馬公北町官舍に淋しい生活をなして居るが木川廳長夫人、庶務課長夫人達の至れり盡せりの親切なる慟にミヨ子夫人も感激の涙に咽れ居り且つ又附近警察官夫人其他一般からも厚い同情を寄せられて居る部下を思ふこと我子以上に切なる警務課長は語る

その岩越巡查が生存してゐる樣なことは萬々ないと思ふ、此上は遺族に對して少しでも厚い方法を是非講じてやりたい、警務當局に對しても彼是御願ひして居る、職務のためとは云へ御氣の毒千萬でならない、夫人に對しても目下出來得る丈けの事をしてやつて居り、且つ若して慰めてやるやうに何時も頼んで居る、岩越巡查も長男英夫君の學資や、其他後継の事情で孤島勤務を十數年やつて居たにかかはらず、たくはへとしても別にないやうで一入氣の毒である云々

蘇澳漁港 水揚高增加

【宜蘭電話】蘇澳漁港に於ける漁撈は天候に惠まれて昨今の水揚げは每日四、五千圓に及んでゐるが殊に十二月中の如きは十一萬八千四の水揚げがあり之を昨年の同期に比べて見ると三萬圓の增收で又その販路も從來は殆ど內地に限られてゐたけれど本年度は滿洲行きの鰹節の數量が次第にふえて行

屏東女學校 宿舍建築に著手

【屏東電話】屏東高等女學校の校舍も一部落成したが寄宿舍は急場の借り上げだけに極めて不便なものであり收容困難に鑑み同街住民有志は深しく同情してゐたがいよいよ第一期築造合の最初の事業として公共團體の一部へ寄宿舍新築四十三坪二棟の外乙號二月着手二棟一戶三十五坪丙號二月頃一棟總坪三十坪で二月初旬より起工することとなつた

季節風 強烈

【馬公十三日發電】十二日來の強烈な季節風によつて定期航路船[illegible]丸は本日入港する筈の所延期した

農林生見學

【花蓮港電話】宜蘭農林學校生徒四十七名は十三日午後四時五分着東より來花、市內及び研究所を見學

桃園街協議會

御眞影奉安所 產業五ケ年計畫

自治展等が新規事業

【桃園電話】桃園街協議會は十三日午前九時半より街役場樓上において州地方課長松崎郡守等列席の下に開催、協議會員十四名出席二名缺席參與員の報告あつて松本郡守より緊急動議として滿洲駐屯の陸海軍に感謝電報を發する旨一同の賛成を得て直に打電次で內田街長は豫算案について約三十分に亘り說明をなし續いて協議の六年度決算八年度歲入出に入つたが[illegible]金興氏は花蓮となり其他の五六議員は各項に亘り熱烈なる質問と希望あり午後四時頃一段落千里の勝ひに無事終了し新年度の新規事業は御眞影奉安所及公學校の園遊產業五ケ年計畫自治展覽會開催水道調查費等歲入の總額は六萬六千三百九十八圓歲出臨時部は八千九百十圓である

赤池氏 タロコ視察

【宜蘭電話】貴族院議員赤池濃氏の一行と中川總督の令息、令妹、令嬢等の一行が一緒になつて十四日朝臺北を立ち午後零時十二分蘇澳驛着直ちに東海自動車に分乘して蘇澳漁港を視てから花蓮港に向ひ一泊して翌十五日赤池氏はタロコ探勝に出かけ他の一行は午後四時二十三分蘇澳驛發で歸北の途につく豫定である

刑務所の 製作品陳列

新竹少年刑務所では一月二十日から臺北にて開催される全島刑務所製作品品評會に出品すべき製作品を陳列し十四日一般に供覽せしめる

乘合自動車 自轉車乘を

轢倒して重傷を負す

【屏東電話】屏東街一八七番地先を十二日午前十一時半頃市內乘合自動車二三八號を運轉手李徵（二四）が操縱進行中の同街歸來九六番地先（三二）を自轉車諸共轢倒し被害者は人事不省に陥つたので屏東醫院へ擔ぎ込み注射に息を吹き返したが傷は案外輕く左脚に治療一週間程の擦過傷で運轉手は目下取調べ中

澎湖廳の 武道始式

【馬公十二日發電】十二日午後一時から澎湖武德殿にて本年武道始會が開かれた、高雄防衛隊司令、築地隊長、瀧川大隊長、山崎少佐臺南憲兵分隊長その他多數官民の臨席の下に本間隊長は支部長として訓辭を與へ後直ちに始め、三谷兩三段の對、古木三段阿部初段の柔道の鮮かに終つて陸海軍、警察官、民間多數の出場者等の數十番の劍道の猛烈な試合あり盛會裡に同五時終了散會した

十四日朝開催する

高雄信組 三十日開催

【高雄電話】高雄信用組合總會は三十日開催するが本年は組合創設二十周年に相當するので總會終了後高雄劇場に組合員を招待して觀劇會を催し一同に記念品を贈ると

醫事集談會

【花蓮港電話】花蓮港醫師會では二十一日午後一時から公會堂にて總會を催す

宮古座の火事

幸ひ小火の中に消止む

【宜蘭電話】宜蘭一を誇る劇場宜蘭市西門町の宮古座に十三日午前四時頃小火騷ぎがあつた幸ひにして發火現場が出火後間もなく發見された爲北側非常口廊下約一間半程を燒いたのみで大事に至らなかつたが發見者は野澤英一一行を引きつれて同夜同座に泊つてゐた山本興行部事務員河村氏で十三日午前四時頃同氏が起き出して場內一面に煙が立ちこもつてゐるのに驚き火事だと騷ぎたてたので野澤一行がよつてたかつて漸く消しとめた原因は廊下そばの窓戶を入れた所に通りがかりのものが煙草の吸ひ殼を投げ込んだのが漸次燃え廣がつたものらしい右につき宮古座側では一行の盡力に金一封の謝禮金を差出した所英一氏は頑として斷り切れずそれではこの金で同座に祀つてあるお稻荷さんに火の用心の幟を奉納して戴きたいとて話しがまとまりその事が美擧として同一座の人氣を呼んでゐる

實業協會 懇話會

【臺中電話】臺中實業協會では新年宴を兼ねて十八日午後五時から富貴亭において第十四回懇話會を開催するが會議事項は

一、昭和七年度會計收支決算の件

一、春季總會並に第十七回役員改選並に役員會役員の件

一、有役員の件

一、二月十一日紀元節祭式列の件

の四件を附議すると

彰化資源調查 打合會

臺中州彰化郡では郡下に於ける（職工五人以上使用工場）の調查者を召集し十二日午後郡會議室に於て資源調查打合會を開催し各調查者に報告用紙を配り郡下職員より記入方について說明し午後三時半散會した

華々しく 懷かしの鄕土入

法政選手稻田、伊藤兄弟

【花蓮港電話】法政選手伊藤兄弟稻田の三君十三日夕華々しく鄕土入をしたが體育協會花蓮港支部野球部では十四日午後二時から花蓮港驛前に右三君を交へてオール花蓮港と對抗歡迎試合を催すこととなつたが兩軍投手に伊藤兄オールに花蓮港には朝日の稻田相馬を投手に立てるべく右試合終了後公會堂にて茶話會を催すこととなつた

新聞人の 教育座談會

臺中州教育課では十三日午後六時から樂天地に於て新聞關係者の教育座談會を行ふが尚右は「臺中州教育」二月號に發表して州下學校職員の指針とするものである

新竹城門の 扁額搜查

新竹市の舊城門中現在殘つてゐるのは東門だけであるが城門の樓上に揭げてあつた花崗石の扁額中南門の「歌薰」は松崗梅生氏の庭にあるので圖書館あたりに寄附する事となり北門の「拱辰」は北門派出所を新築する際見かけたから探せばあるに違ひないが西門の「挹爽」が全く行方不明となつてゐる、東門の「迎曦」と共に此四つを揃へて歷史參考品として殘して置きたいと教育課で骨折つてゐる

竹南郡 產組總會

竹南郡に於る產業組合の總會は左の日割にて舉行さる

十四日後龍、十五日頭分、十六日竹南、十七日中港、十八日南庄、二十日三灣

旅館荒しの 大泥棒捕はる

【臺中電話】臺中署司法係刑事は十二日寶町二丁目附近を巡邏中の怪しい男を引致取調べた所同人は大阪市大正區泉尾町一ノ二中井周二（三一）を引致取調べた所同人は昨年十二月初旬頃臺北の某旅館に宿泊中同宿の客の現金二十六圓を竊取逃走したのを手初めに基隆臺南臺中員林彰化各地で十九件の旅館荒しを働いた事を自白目下餘罪取調べ中である

駒橋入港

【高雄電話】特務艦駒橋は十五日午前高雄に入港十九日出港の豫定

臺中州下の 街庄協議會

臺中州下に於ける街庄協議會日程左の如くである

一月十六日　北斗街
十七日　溪州庄、大村庄、田尾庄
十八日　大竹庄、秀水庄、社頭庄、大城庄
十九日　北屯庄、芳苑庄、埤頭庄、魚池庄
二十日　大里庄、霧峰庄、花壇庄、二水庄、埤頭庄、溪州庄
二十一日　烏日庄、沙鹿庄、龍井庄、溪湖庄、二林庄、埔里街
二十二日　大安庄、和美庄
二十三日　[illegible]庄、鹿港街（二十四日に續く）田中庄、沙山庄、中寮庄、集集庄、神岡庄
二十四日　南屯庄、外埔庄、永靖庄、竹塘庄、國姓庄、名間庄（二十五日に續く）大雅庄
二十五日　[illegible]庄
二十六日　員林街（二十七日に續く）南投街
二十七日　大肚庄、彰化街（二十八日に續く）竹山庄（二十八日に續く）草屯庄（二十八日に續く）
二十八日　西屯庄、大甲街、潭子庄
二十九日　梧棲街、內埔庄
三十日　清水街、豐原街、鹿谷庄

臺中州員林消防詰所落成記念

文山郡 產組總會

臺北州文山郡下各產業組合では昭和七年通常總會を左記により開催することに決定した

一月十六日午後一時石碇信用組合、十八日午前九時安坑信用組合、十九日午前九時深坑信用組合、二十日午前九時木柵信用組合、二十一日午後一時[illegible]信用組合、二十三日午前九時新店信用組合、二十五日午前九時坪林信用組合、二月六日午前九時文山茶業組合

澎湖廳下 街庄信組總會

本年澎湖廳下各街庄協議會並に各信用組合總會は左記日割に依り開かるることとなつたが各協議會には澎湖廳庶務課長高橋街庄主任、石川屬、各信用組合總會には池田勸業主任、鄭屬が夫々出張臨席することとなつて居る

協議會日割　一月十四日望安庄、同二十一日西嶼庄、同二十五日湖西庄、同二十七日馬公街、同二十八日白沙庄

信組總會日割　一月十五日馬公共通、同二十二日湖西組合、同二十三日馬公第通、同二十四日西嶼組合、同二十八日白沙組合

彰化街 方面委員會

十二日午後七時臺中州彰化街長室に於て方面委員例會が開催され先づ主事より十二月中の取扱ひ件數を報告し次に各委員の提案につき協議した結果救助廢止一件及救助開始一件を可決したのち探田委員より「方面委員共同有給書記設置の件」を提議したが不必要とて否決され九時閉會したなほ昨年十二月中方面委員取扱ひ件數左の如し

指導相談六、保健救療五九、周旋紹介五二、金品給與七六、計一九三

北港郡 技術員會

臺南州北港郡では來る十七日午前九時より郡役所會議室に於て管內各街庄產業技術員を召集し左記事項に關する打合會を開催することに決定した

會議事項

一、郡守訓示

一、昭和八年に於ける產業技術員の活動

二、十二月中實施せる農業施設に關する件

三、一月中實施せんとする農業施設並農民指導に關する件

四、昭和七年度州獎勵堆肥豚舍建設進捗狀況に關する件

五、三年輪作指導圃設置狀況に關する件

六、昭和七年度籾乾燥場工事進行狀況に關する件

以上各街庄より說明

七、臺南州農會北港郡支會事業に關する件（支會より說明）

八、北港郡農事組合事業に關する件（農事組合より說明）

視察並に受講習報告（時間の都合により開催）

一、高雄州下農事視察の概況（昇元技手）

二、中央研究所農業部に於ける堆肥に關する講習會狀況（三井郡技手）

小公學校長 打合會

【嘉義電話】嘉義郡では十五日午前九時より郡役所會議室にて郡下小公學校長事務打合會を開催の筈

豫算打合會

臺南州斗六郡街庄係は昭和八年度の豫算に對し郡下各街庄の街庄長助役並庶務主任を集め各街庄提出の豫算に依り打合會を開催した

山火事

十日午後五時新竹州苗栗郡三叉庄魚藤坪字鯉魚潭下の三井所有原野から出火し大事に至らんとしたが一甲餘を燒いたのみで消し止めた

籾代行會社 勸業課の斡旋で

創立に決定す

【臺南電話】臺南の籾代行會社の創立はその後市勸業當局の斡旋により株式組織の三萬圓拂込濟みの資金で設立する事に決定し既に定款代行事業等の草案も出來上り昨今發起人の人選取りまとめ中であるが發起人會は本月下旬開會する運びとなる模樣である又臺南の米穀商組合では曾て代行會社の設立に反對の態度を示してゐたが之も非常に接近して來たが未だ代行會社の設立を欣ばしめやうとする積極的な機運に到達するには餘程多少の距離があるらしい米商側としては如何にせば利益をあげ得るかと云ふ點が主眼であるに反し當局側では代行會社の設立によつて取引の合理化を圖り臺南市場の繁榮に資せやうとする傾向があるからこの見解を一致せしめる必要があると見てゐる樣である要するに代行會社の設立は將來籾取引業者を有利に導く機關である點を一般營業者に理解せしむる必要があるので發起人會開會後適當な時期に於て利害關係者の會合を求め意見の交換を行ふ筈である

竹東郡の 各種品評會

新竹郡では二月十四日農產品評會と共に各種副業品評會の與賞授與式を舉行すべく目下準備中である

高雄港 檢疫嚴重

【高雄電話】高雄州港務部では今回[illegible]行地に指定された廣東からの來高船客に對して十三日から嚴重なる檢疫を開始する事となつた

高雄劇場總會

【高雄電話】高雄劇場株式會社はこの程重役會を開催したが本期の配當金は五分に內定し二十八日總會を開催すると

新竹の福運者

新竹驛前商店街末大賣出しの特祭に當選した福運者は小川吳服店の外山下時計店の特祭は鼎泰商行黃滄淵さん、大塚商店では[illegible]の女給實子さんで新原洋服店のは未だ出て來ない

新竹州下の 傳染病

新竹州下に於ける昭和七年四月から十二月までの傳染病發生數は左の通りで現在數はチフス一名チフテリヤ三名である

コレラ一六、腸チフス一七、パラチフス二、赤痢一九、猩紅熱二、チフテリア三四、計七七名

狂犬狩り

【花蓮港電話】花蓮港廳[illegible]庄鯉七五林檎の農場林時枝（三）は十二月十三日野犬に咬まれたが其後狂水病の兆候で市內稻住生病院にて加療中の所十二月前七時死亡したので花蓮支廳では狂水病に違ひないといふので近く第二回の野犬撲殺を行ふこととなつた

水稻競作褒賞授與式

臺中州北斗郡田尾庄[illegible]氏は昭和七年第二期作の小作人水稻競作褒賞授與式を十四日午前九

時から同氏宅に移行する

澎湖の武術寒稽古

本年馬公武德殿にて十三日午前五時から一時間宛二週間每朝實施することとなり軍部警察憲兵其他地方官民多數參加して猛練習中である

十餘名 罷業

【臺中電話】彰化街[illegible]慶合鍛工場職工十餘名は待遇改善問題で十二日から罷業を開始した

僞醫者 檢擧さる

【屏東電話】屏東郡鹽埔庄二八五蘇[illegible]（五〇）は自宅に醫療機械を備へ付け無免許で醫科醫を營み同街二九九陳丙外十一名に手術を行ひ料金百餘圓を取つたことが現はれ十二日檢擧された

罰金未納者捕はる

【嘉義電話】嘉義郡新巷庄頂厝一一三前科一犯施天助（三）は昨年十月五日賭博で罰金三十圓に處されたが未納の儘逃走中十二月自宅に潛伏中同郡警察課花田、李兩刑事に逮捕された

白紬を密造

【臺南電話】臺南州新化郡新化街新化字王[illegible]李火大（三）は曾て酒類密造販賣白紬を密造しゐるを探知した臺南專賣支局の租花及び監視部員は十一日早朝同家を襲ひ果して隱匿せる白紬二千斤を押收同人を拘引して取調べ中

蘭陽三郡、 賣上げ高

【宜蘭電話】昨年末賣出付で大賣出しをやつた蘭陽三郡下の酒煙草の賣れ行きは甚だ良好の成績と見られてゐるが先づ宜蘭は酒三割八分煙草一割三分（贈答を含む）羅東は酒二割三分煙草一割六分蘇澳は酒二割六分の增收である

讀書するやう 各種の催し

全島圖書館週間に呼應した臺北州新店庄圖書館は庄內讀者の便利を計る爲小公學校と提攜して特に巡回圖書を送り男女靑年、在學生徒及び卒業生等を中心として大に讀書熱の向上を獎勵すると共に是非とも此機會に農村男女によく餘暇を利用して讀書する習慣を喚起したい目標の下に左の通り活動寫眞を行ふこととなつた

一月十三日夜　新店公學校
同　十四日　大坪林公學校
同　十五日　頂尺公學校
同　十六日　安坑公學校

女兒に暴行

臺南州新營郡[illegible]庄上茄苳三二二蘇清龍（三）は去る[illegible]日午前八時頃同所鄭林氏[illegible]の女鄭氏[illegible]（八）に石榴をやるからと云つて甘蔗畑に連込み暴行したことを歸宅後母親に告げた爲め此事が告訴されたので目下取調べ中である

金腕環泥棒捕はる

【嘉義電話】嘉義市南門町六の一七前科一犯鄭榮宗（三）は昨年十二月三十日午後十時頃市內西門町二の四[illegible]方で價格百圓の金腕環一對を竊取逃走の所十二日午後六時自宅に潛伏中を嘉義署只野、邱兩刑事に逮捕された

柑橘講習會修了式

【新竹電話】新竹州主催第八回柑橘講習會は十三日終了せるを以て午前十一時半から修了式を舉行講習生四十名整列君が代合唱、輪湖技師の經過報告、內海知事より修了證書の授與について訓辭、講師總代石渡技師の訓告、修了生總代の答辭があつて正午すぎ閉式した

金山 信組總會

【基隆電話】基隆郡金山庄金包里信用組合第十八回通常總會は來る十六日午前九時から金包里公學校にて開催金山信用販賣利用組合第十八回通常總會も同日午後一時から同所にて開催する由なほ信販利用組合の附議事項は左の通り

一、昭和七年度財產目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案の承認を求むるの件

一、昭和八年度內借入金の最高限度決定の件

一、昭和八年度內一組合員に對する貸付金の最高限度決定の件

一、定款變更の件

一、所有金預入先銀行の承認を求むるの件

一、組合準備金及各種積立金を事業資金に融通するの件

販賣利用組合の附議事項は左の通り

一、昭和七年度財產目錄、貸借對照表、事業報告書及損失案承認を求むるの件

一、昭和八年度內借入金の最高限度決定の件

一、所有金預入先銀行の承認を求むるの件

一、組合準備金及各種積立金を事業資金に融通するの件

小學卒業學力だけの立身成功は本會に來りて判任官
會員募集
普通文官講義
正則科は一年速成科は一ヶ月乃至六ヶ月卒業其の他細目見本に
內容見本無代進呈
東京市赤坂區
中央獨學協會
定價一ヶ月一円・一円半

ハクキン懷爐
四海同風
一介の書生も
二階に安住し
三界に安住し
五戒の出家も
吾界の遊女も
懷中の保溫には
皆目出たい
保溫一晝夜
安全で經濟
灰無し煙無し

月經
醫學博士八木先生
有効御証明
眞生園
月やくの御手當は……
一日一錠も早いが肝要、あれこれと迷ふのは禁物です。
本舖　京都市山ノ內
眞生園

勞働衛生
進化
印
學生服
半ズボン
辻豐商店

淋病
治療と性病豫防に絕對權威
プラオンキン
ケンゴール
日東製化學研究所

今日の番組

J・F・A・K　一月十四日（土）

午前の部

【六・三〇】朝の挨拶△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ臺北測候所發表
【八・〇〇】全國氣象通報（東京）
【九・三〇】家庭百科問答△ニュースに出る言葉二つ三つ、假類、十九ケ國委員會、フリーランサー等△女戸主が無關心で他家に嫁づいたとき
【一〇・一〇】家庭料理獻立（山岸するゑ子發表）△鳥賊鍋△白菜とハムの煮込み
【一一・〇〇】日用品小賣値段臺北市西門市場發表、臺南市西市場發表
【一一・五九】正午の時報△氣象通報（臺北のみ）臺北測候所發表

午後の部

【〇・一〇】放送局編輯ニュース
【〇・二〇】晝間娯樂時間（レコード演奏）臺灣音樂一牧羊山張、郭寄、二大登殿張秀琴、三大明相揖玉琴、四背風亭晩香玉
【一・〇〇】氣象通報（臺南のみ）臺南測候所發表
【五・〇〇】子供の時間（名古屋）「子供のテキスト第十九ページ」（コドモの國とお話「豐太閤祭」）金の城音樂童話會、指揮梅田久雄
【五・二〇】子供の新聞（東京）村岡花子
【五・二五】國立公園特別講座（札幌）「阿寒」講演者未定
【五・五五】カレント・トピックス（東京）
【六・〇〇】子供の時間（臺北）臺北太平公學校兒童齊唱その他

夜間の部

【六・三〇】講演（東京）（臺北のみ）「未定」
【六・三〇】講演（臺南のみ）「思想善導と圖書館」臺南圖書館菅虎吉
【七・〇〇】ピアノ・ヴァイオリン二重奏（大阪）名曲定期演奏、第八回「曲目未定」ヴァイオリン アレキサンダー・モギレフスキー、ピアノ レオ・シロタ
【七・三〇】未定（東京）臺北のみ
【七・三〇】謡曲（臺南のみ）「羽衣」シテ若槻道隆、ワキ畔柳徳四郎、地方山口宗雄、同木田清次、同宮崎嘉太士
【八・〇〇】連續講談（東京）「淺野三勇士」第二席、一龍齋貞山
【八・三〇】時報（東京）
【八・三一】和洋合奏（臺北）臺北和洋合奏團、一新組唄「春はうつる」（町田嘉章作曲）二春の幻想、三春信幻想曲（町田嘉章作曲）
【九・二〇】氣象通報臺北測候所發表、臺日ニュース（臺北のみ）放送局編輯ニュース（臺北のみ）ニュース（臺南のみ）公示事項、明日のプログラム發表

【午後六時より】―臺北―

齊唱その他

―太平公學校兒童―

臺北市太平公學校の兒童が二十八名で、獨唱、齊唱、童話等の放送をする。順序は次の通りです

一、齊唱「かたつむり」「雨降り」「かへりませう」お父さんの靴（二年）謝那宗外六名
二、作文朗讀（六年）阿雲根（六年）王碧枝
三、音讀「木の栗」「親鶴子鶴」（二年）張碧明外三名
四、獨唱「げんげ草」「證城寺の狸ばやし」（三年）鄭萬華
五、齊唱「[illegible]」「海」（三年）陳木振外七名
六、童話「倹約と彩箱」（四年）林長州外五名
七、獨唱「南の風」（五年）張建榮
八、對話唱歌「兎と龜」（一年）黄國恩外六名

（午後五時より）（名古屋）

豐太閤祭

（子供のテキスト第十九頁）

金の城音樂童話會

指揮　梅田久雄

今から凡そ四百年前の天文五年正月に尾張の國中村の貧しいお百姓さんの家に生れた日吉丸は、主君織田信長によく仕へて、だん〳〵出世をして、亂れた日本國中をしづめ天子様に忠義をつくし、朝鮮外にまで兵を出して、我國の威光を世界にかゞやかせて、つひに豐太閤と日本中の人々から敬はれるやうになりました。今晩はその豐太閤を偲ぶために、放送局内のスタヂオに祭壇をこしらへて、新しい試みのお祭をすることになりました。このお祭は次のプログラムにしたがつて行はれます

豐太閤祭のプログラム

一、祭壇の實況放送
二、お話「小猿さん」
三、唱歌「豐太閤」
四、劇「矢矧橋」
五、太閤をどり

子供の新聞（東京）

【午後五時二十分】

村岡花子

和洋合奏

【午後八時三十一分】（臺北）

臺北和洋合奏團

臺北和洋合奏團は細田[illegible]と野口の高橋たか代さん、三味線の坂本榮子さん坂本愛子さん、お箏の織田若城さん森川清城さん等で組織されてゐるものである

一、新組唄「春はうつる」

これは新らしい童謡のもとに作られた組唄で、久保田野二氏の作詞に町田嘉章氏が作曲したものである。「早春」「梅」「桃の花」「節句の晩」「ネオンの町」「雛祭日記」「海」「一環どり」と八節に分れて居り、三味線だけで活躍する時もあり、洋楽が入つて賑やかになつたり、又ジャズの形式が取入れられたりいろ〳〵に變化を見せて面白いものである

二、春の幻想

洋楽と和楽を巧に織込んで、長唄や小唄、或は春の町の情景をいろいろと幻想曲風に編曲して春の匂い情景やら、浮き立つ様な氣分を出したものである

三、春信幻想曲

これは昔江戸の浮世繪師鈴木春信の描いた美人お仙の一枚繪を音樂化したもので、町田嘉章氏の傑作の一つである。三部曲の一部で、今晩演奏されるものの他に「白と黒の對比」「流ざらし」と全て合せて完結するものである

連續講談

【午後八時より】（東京）

▲淺野三勇士

―第二席―

一龍齋貞山

謡曲（臺南のみ）

【午後七時三十分】

羽衣

シテ　若槻　道隆
ワキ　畔柳徳四郎
地方　山口　宗雄
　　　木田　清次
　　　宮崎嘉太士

晝間娯樂時間

【午後零時二十分】（臺北）

數日前臺北より大甘武氏の獨吟の放送のあつた「羽衣」の一曲臺南高等工業の校長岩槻氏をはじめ大勢の放送である

▼臺灣音樂

一、牧羊山　張、郭寄
二、大登殿　張秀琴
三、大明相　揖玉琴
四、背風亭　晩香玉

名曲定期演奏

【午後七時より】（大阪）

ピアノ、ヴァイオリン二重奏

（第八回）

ヴァイオリン　アレキサンダー・モギレフスキー
ピアノ　レオ・シロタ

毎月一回のピアノとヴァイオリンの二重奏による名曲定期演奏の第八回目である。例によつてヴァイオリンは老巧なモギレフスキー氏ピアノは名手レオ・シロタ氏である。殘念乍ら曲目は未定で、此の稿を草するまでに詳報に接し得ない

講演（札幌）

【午後五時二十五分】

▼國立公園特別講座

「阿寒」

講演者未定

講演（臺南のみ）

【午後六時三十分】

▼思想善導と圖書館

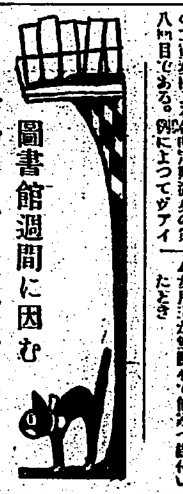
臺南圖書館　菅　虎吉

第二回圖書館週間として今晩は臺南地元にての講演である

家庭百科問答

【午前九時三十分】（臺北）

▲ニュースにある言葉二つ三つ　假類、十九ケ國委員會、フリーランサー等
▲女戸主が無關心で他家へ嫁付いたとき



圖書館週間に因む

書物・一日一話

臺大圖書館　武田虎之助

『書物の敵』補遺

―第四話―

書物を害ね書物を滅ぼすもの、これが書物の敵である。英國に於ける十九世紀後半の有名な印刷者であり、又書誌學者でもあるウイリアム・ブレイズは「エネミイス・オヴ・ブックス」即ち「書物の敵」の一書を著はして居る。その本を骨子にして庄司淺水君が「書物の敵」の一書を出した。筆者は又、庄司君の譯書を參照して（筆者は不幸エネミイス・オヴ・ブックスの原書を入手しかねて居る）それに些さかの補遺を試みたい。ブレイズは書物の敵として「火、水、瓦斯、熱氣と塵埃、無智、害蟲、其他の害獸、製本師、蒐集家」の九つを擧げて居る。

×

余はこれに油蟲、じんさん蟲、黴の三つを加へる。臺灣に住む蔵書子で油蟲に蝕みの跡々を持たぬ者は凡てであるまい。洋装本を全部製して所装にするなり若くは、クロースやバツクラムを貼ててキヤムバスか日本布でも用ゐない限り、今日漸く手に入れた愛藏版も明朝は、可憐花の顔は菊面だらけ、なでてもさすつても元の姿に歸すよしもなし。パラフイン紙やセロフアンにでも包むなり、ラツクかワニクシュを塗るなり、裝釘の表紙を既装した紙ひなり加工たりをしない限り、油蟲の跳梁は阻まないのである。

此の大敵を防ぐには、結局こちらが書門を固く鎖して、孤城を死守し、闖入する亂者には、一般書より外はない。先づ書棚の姿は金網でも張れば理想的ではあるが、彼等の活動期は春から秋にかけて書の隙間に不斷の注意を怠らなければ九分九厘まで防げる。即ち夕食から夜間は留守のまま閉め放しない。書を開ける時は監視を忘れずに闖入を防ぐのだ。その上彼等の通路である箇所には時々クレゾール石鹸水を撒く位、一週一回位でた馬鹿藥をすりつぶして、弱酸米を混じ夜間出るべき場所に備へておくと奴さんは大好物の馬鹿の香につられて、翌朝で往生する。これだけの除蟲を經へてかかれば大丈夫、筆者は保存五周年[illegible]初の一年を除いて、その後の四ケ年は被害絶滅の記錄を持つ

×

次はじんさん蟲Silodrepa Panicea Lの仲間この蟲は人參の害蟲の由で、動植物質を乾燥保管して居るものの大敵であると云ふところが此奴横着な代物で、和漢洋書何でも御座れ縱横無盡に食い荒し三週間も經つとはや成蟲となつておさらばを極め込む。お人好の讀書子は、食ひ殼を發見して大騒ぎをしのろまでウロ〳〵して居る紙魚を擱まへて、總ての罪を紙魚に背負はして仕舞ふ。紙魚こそいい災難である。しかし徒らな非難をやめて犯跡を仔細に調べるとすぐ判る。即ち紙魚は書物の紙葉の平面に匍うて不規則に喰ひ進むが、じんさん蟲の幼蟲は、閉ぢてある書物を上下左右或は斜に貫通しとんねるを掘りつつ進む。

×

書物をごそり〳〵と小口から削り落して行くのが白蟻、紙葉を平行につつしまやかにかぢりとつて上下の紙葉をつづれに綴るのが紙魚、どちらへ進むにも丸いとんねるを穿いて行くのがじんさん蟲。北のじんさん蟲には濕氣と陰氣さが大好物、前項の油蟲から逃げる爲に硝子戸棚に仕舞ひ込んだ書物が濕氣を呼んでじんさん蟲の跋扈場になつた例は、無數である。通風側も換氣に心して居たならば流石のじんさん蟲も蠶眠を逞しうする餘地が無い。與々も心すべきは換氣である。

×

濕氣、此の濕氣が黴といふ大敵を伴ふ。春夏秋の三季に亙つて何度でも繰返し繰返し書架は黴の裝飾をつける。油蟲と黴とにうんざりさせられる部民、南木作立に誘發した東洋の裝潢の因由を顧みさせられる。しかし此處で彼らに永く歎いてばかりは居られぬ。生えた黴を拂ふことが先である。ブラツシュもよいが、それよりも使ひ古しのタオル、すり切れたネルなんかがよい。それで丁寧に拭きとる。ジヤケツト（包紙ラッパアともいふ）に包まれてるものは一々はいで巾を掠めなければいけない。うつかりして居ると黴の爲に表紙と包紙がべつとりとねばりついて居ることさへある。

×

日頃通風換氣に注意することは繰返すまでもない。本棚の隅にクリンデル油の二、三滴とカナダバルサムの一二滴を注いで置けば黴の發生を緩和することが出來る。もし防黴の機會があらばなるべくキヤンバスか日本布を使へば、併せて油蟲の豫防にもなることは留に說いた以上「書物の敵」の補遺三項、洋式裝釘と昭和裝潢の調和の點を暗示しつつ筆を擱く。

萬なかだち

求職一件一圓　五行迄　其他一回一行　七拾錢　[illegible]

女給　數名至急募集　[illegible]　カフエー永樂　電話三〇〇九番

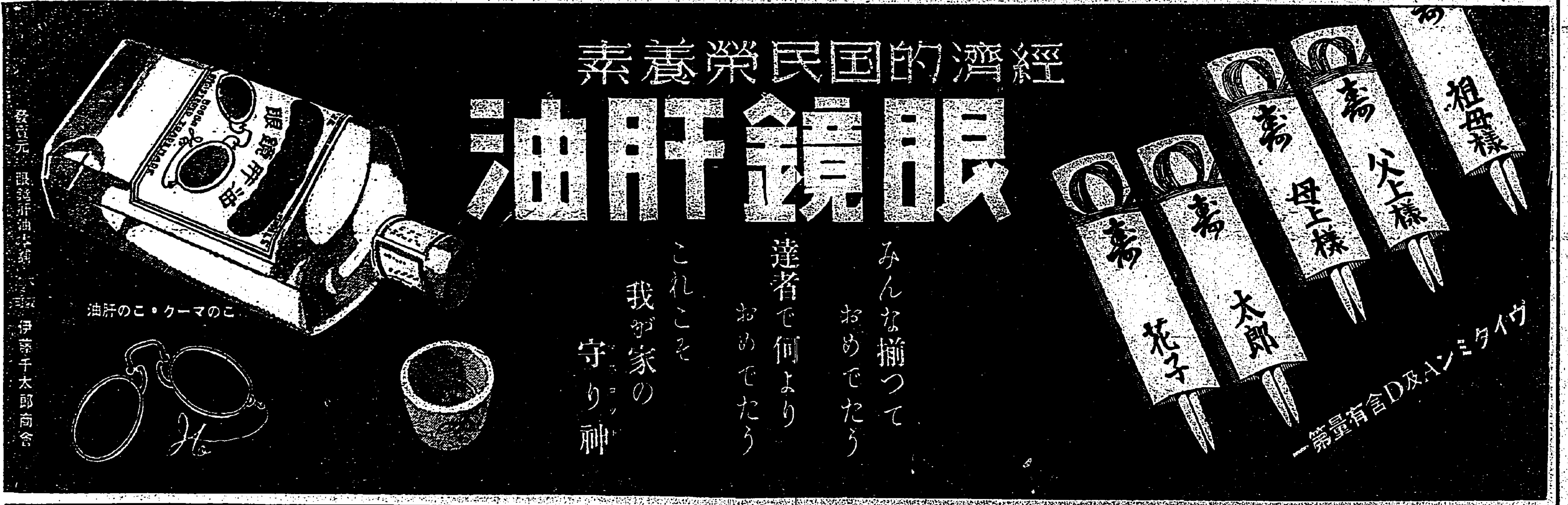
女子　十六歳以上[illegible]　臺北市京町一丁目廿七　[illegible]俱樂部

住宅を買ひ度し　二戸建又は四戸建の　新起町三ノ一七　[illegible]方　大田

貸家　[illegible]

貸家　[illegible]

小口金融　[illegible]　債權取立　[illegible]



經濟的國民榮養素

眼鏡肝油

みんな揃つておめでたう
達者で何よりおめでたう
これこそ我が家の守り神

ヴイタミンA及D含有量第一

こ・マーク・この肝油

發賣元　眼鏡肝油本舖　大阪　伊藤千太郎商會

AJI-NO-MOTO
(Essence of Taste)
AJI-NO
(Essence

さもあらん
味の素の調味で
美味い

宮内省御用達
味の素本舖　鈴木商店

味の素説明書

眼を美しく健全にする眼藥
ハミール

チフス・赤痢にダイモール（常備豫防）

EXIHOS
PULL

濕布に優る
エキホス

感冒、肺炎、咽喉痛、
肋膜炎、中耳炎、神經痛、
ロイマチス、筋肉痛、腰痛
打撲痛、火傷、凍傷等
に用ひて濕布の如く屢々交換する煩なく而も遙かに優れたる消炎鎭痛効果を收む。
（多數の類似品あり御注意を乞ふ）

價格低廉
一〇〇瓦（四十五錢）　二五〇瓦（九十錢）
五〇〇瓦（一圓五十錢）　二〇〇〇瓦（四圓五十錢）

發賣元　株式會社　武田長兵衞商店
　　　　株式會社　鹽野義商店
製造元　二巴合名會社
（大阪市東區道修町）

遞信事業の將來

（二）電信電話事業の發達

遞信大臣　南弘

昨年の我が電信電話事業界は滿洲事變の影響を受けて相當多事に終始した

△

先づ電信事業に於ては電信取扱局の增置、電信回線の增設、電信機械の增設、改良といふ定跡的のものは總て豫算の許す限り行つたことは申す迄もないが東京、釜山間に直通の電信の途を開いて內地朝鮮間の電報の疎通を圓滑にしたり、又滿洲事變以後我の關係の一層緊密となつたことに鑑み本邦と滿洲國との間に新に電信連絡を拓き、且つ一昨年に出現した滿洲國と諸外國との電信連絡にも本邦經由で新に取扱ひを開始して、關係國の經濟及政治上に寄與したのである

△

臨時局の必要に應じて之迄和文に限つて居つた新聞電報を歐文にも擴張して取扱ふことにしたなどが其の主なるものである、又電話事業に於ては昨年は昭和七年度乃至同十年度の四ケ年繼續の事業として之が財源を公債に求むる擴張計畫實行の第一年目であつたのであるが、電話取扱局の開始、加入者の增設、設備開通、自働交換化、電話加入區域の擴張、市外電話回線の增設、都市と近郊地との通話改善等は豫期以上の好結果を示すことが出來たことを喜んで居ります

△

又內地朝鮮間の電話連絡は多年の懸案であつたにも拘らず獨り經費の關係のみに止らず、技術上にも研究の餘地があつて、仲々實現の運びに到らなかつたが幸ひにも最近之が實現の曙光を見、昨年末工事の竣工する事が出來た、いよ／＼通話開始の曉には內鮮間通信上一大躍進を見るに至るであらう

△

通話制度を整理して、公衆の負擔を公平にし且つ輕減せしむる趣旨から特設電話及び町村電話を廢止して所謂普通電話に統一し其の他料金の合理的改正を斷行致したことも昨年に於ける重要な仕事の一つであつた、次に無線通信事業は近來歐米各國競うて國際無線電話の完備に努力してゐる有樣で、本邦は特に其の地勢が極東に偏在してゐる關係上、通商、外交及軍事の關係から一日も早く國際無線の連絡を完成して國際通信上の地位を確保することが多年の懸案であつたのでいつまでも財政の事情に制せられてゐては結局悔いを千載に貽すことになる恐れがあるので此の際民間の資金を利用し會社をして國際及對植民地の無線電話の建設及維持を行はしむる方針を樹て之に關する法案外關係法規を議會に提出し幸ひにして協贊を得ることが出來たのである

△

日米國際無線電話會社の設立は着々進行し今や豫定の株式の拂込を完了するに至つたことは邦家の爲め洵に慶賀に堪へない次第である世界各國との通信連絡は年と共に緊密の狀況に赴き昨年中のゼネバ、シヤム、アルゼンティン間並に臺北マニラ間に新に無線電信に依る直接通信を開始することになつた

又內地と南洋群島の電報料金は之まで內地との間に海底線の連絡を有するヤップ島に發着するもの以外は臺灣、朝鮮等の植民地間に發着するものに比し約倍額以上の高率であつたのをおしなべてヤップ島並に低減したので漸く島民の喜びを買ひ內地、南洋間の產業開發上多大の貢獻を致すこととなつた

△

最後に放送事業に就いて一言するに現在殆ど全國的に放送網が張られてラヂオの普及化を圖つてゐる上に昨年には秋田、松江、函館、高知及京都の五放送局が新設され都合放送局數十九を算するに至つたが、[illegible]放送聽取者の昨年中の增加數は三十六萬餘名、總計百三十餘萬名を突破すると云ふ盛況の然らしむる所當然の施設といふべきであらう、サービスの質も從つて漸次向上して來て最近は月額定時通報放送及日滿交換放送を實施し其他國際オリムピック大會の狀況を放送し更に國際聯盟理事會に關する情報や滿洲等の放送又はシヤムとの連絡放送を遂行したやうな次第で、ラヂオ放送は今はもう單なる娛樂機關ではなくて社會施設として日常の生活上缺く可からざる重要機關となつたのである

△

之を要するに現代に於ける通信機關の進步發達は實に驚くべきもので全世界の隅々に起つた事柄も數瞬にして全世界に傳はる有樣であるが、吾々はまだ／＼之を以て完璧の域に達したとは決して思はないので猶幾多の改善と擴張の餘地ありと假して須臾も研究努力を怠らず更に一層通信の迅速と確實を期し極度に地球面を縮小し度いと考へてゐるのである（未完）

砂糖關稅の附加稅結局撤廢？

當業者側の反對を押切り

關稅調查幹事會の肚決る

【大阪十三日發本社特電】政府は六十二議會で決定實施を見るに至つた輸入稅中從價稅に對する一割の三割五分附加稅について今議會にはその一部撤廢を提案すべく目下連日關稅調查會幹事會を開催し砂糖、人絹、綿絲、パルプ、染料其他約二十品目について研究してゐるが右の中砂糖については三割五分附加稅撤廢に略內定した模樣である、尤も糖業關係者からは既に市價昂騰採算點に達してゐるので此際で三割五分の附加稅を撤廢されては直ちに外糖の輸入を誘致すること、既に糖價の先高を見越し昨年約二千萬斤見當の輸入引合のあつたこと及び爪哇糖が內地市場に對しダンピングの機會を狙つてゐること等を理由として撤廢に反對してゐたが、幹事會に於て砂糖市價が餘りに急激なる昂騰を見、消費者を壓迫するに至つてゐること及び現在の糖價を以てして當業者は充分なる利益を收めてゐること等から撤廢に決定したものと見られてゐる

預金利下げ定期四厘程度か

五厘では逃避される

恐れから避ける模樣

【大阪十三日發本社特電】預金利下げ提議が愈々熟し十九日前後に行はれる東西金融界巨頭の打合せの結果東西とも利下げに異論なしとすれば本月下旬中にも實現するものとも思はれるに至つたが利下の幅を定期五厘程度に下る說には異論なしとしても、五厘下げの結果は甲種三分七厘、乙種四分二厘となる之に資本利子稅第二種所得稅の百分の七を引去れば預金者の手取は甲種三分四厘四毛、乙種三分九厘となり、前者は三分五厘以下後者は四分以下となり人氣的に預金の郵券逃避、郵貯投入を起しはしないかとの懸念があるので、預金の安定上寧ろ四厘下げに留めて甲種三分八厘、乙種四分三厘にしたらと云ふ說が擡頭した、定期四厘の利下げは從來慣例のない事であるが一理あるので東西首腦者も甲種三分七厘說三分八厘說の何れかを選ぶものと見られてゐる●

臺南籾市場の取扱ひ高激減

交通機關の發達と

產地精米業增加のため

臺南の籾市場昨今の取引狀態は毎日二十車約二百袋の出廻りであるが相場は千斤當り在來種は五十四圓から五十五圓で蓬萊種は五十七圓から五十八圓を唱へ在來種との

値開は　僅々三圓內外であるが在來種中天來種と円粒種が好價に取引され蓬萊米の相場を拔く事も珍らしくない狀態である、從つて蓬萊種の出廻りは毎日一、二車に過ぎない狀況である、昭和七年中の取引高は三百五十萬一千二百卅三斤約三萬五千十二袋で六年中の取引高五百三十七萬八千四百斤袋數五萬三千七百八十四袋であつたから昨年中は實に一萬八千七百七十二袋の激減を示しその割合は三割五分に相當してゐる、減少の原因とされてゐるのは最近交通機關が發達したので

從來の　牛車運搬が自動車に代り臺南市內の米商と精米業者が增加した傾向あることゝ昨年中は二期作後の交通が杜絕し運送不可能となつた時期が長いたことも籾市場を經由しなかつた原因となり取扱高の減少を示した所以であるが交通機關の發達と米產地の精米業增加に依る影響に對米永續する性質を有つてゐるから籾市場の取引高は今後漸減するであらうと觀られてゐる唯差當り問題視せられてゐるのは

籾市場　の使用料ゝ徵收が不公平であると觀られてゐる點であらう現在の使用料卽ち取引の手數料が一千斤當り五十錢であるが地米卽ち粗石米の證明ある場合には二十錢の手數料で濟むから籾市場を通過した出廻別に對しては千斤當りの原價に三十錢の開きが生じて粗石以外の一般生產者は取引上不利な立場に置かれてゐる從つて籾市場への出廻り基地たる新豐、岡山の兩郡下の生產者は臺南籾市場を回避して直接取引を行ふか又は地方移出を行ふ傾向が顯著となつたやうである

手數料　に三十錢の差額を設けたのは脆弱な資本家擁護とも觀られる嫌ひがあり又手數料に差等ゝ設けた制度は結局籾市場の設備を束縛するものであり代行會社を設立しやうとする氣運を促進せしめたり取引の合理化を强化してゐる昨今の一段氣運に對して甚だしい矛盾ではないかと觀られてゐる

ワイザン茶

鑑定終る

六十萬封度

全部合格

豫て本島に註文中のワイザン茶受取りのため來臺中のソヴエット通商代表部製茶部のリヴシッツ、リトヴイノフ兩氏は野澤組（一、野澤茶共同販賣所提供）の鑑定を終り更に三井、テイト兩方提供ちで鑑定中であつたが十三日までに鑑定を終り見本通り六十萬封度全部の合格を見た、近くソ國の間取船が迎航し來るか、若くは一旦內地に送り內地から輸送されるか、何れかに決定をみる筈である尚一行は最初の來臺であるのでこの機會に茶產地を視察し來る十八日基隆出帆の便船で歸京のこととなるであらうと

產業界の活躍と株式の前途

この狀勢は續くだらう

東京株式取引所理事　高橋正衛

各事業會社の好景氣は株價に影響して二三ケ月以來諸株の相場は急激な騰貴を示したが賣買高亦昨年十二月の如き一ケ月としては記錄的多數に上つたその內容を覗ふに取引所は投機株が賣買取引の中心であるとの世上從來の觀察は少くとも東株市場には當嵌まらぬといふことが謂ひ得るのである、過去に於て如何にも投機株中心の時代がなかつたといふのではない一兩年以前の恐慌的經濟界不況の際には廣大な市場性を有つ投機株は一般に資株の保險繋ぎの目的に供され一見市場唯一の花形株たるの觀を呈したこともある、然し產業界が現實に利益率が向上し生產力が增加するといふ最近の如き場合には總て株價に影響し工業株を中心として賣買取引の旺盛を加へる、東株市場の長期取引に上場する銘柄は何れも我國の各產業部門に於ける代表的なものであり、且つ東株市場の長期取引は永年の慣熟によつて今日の發達を遂げたものであるから工業株全盛時代においては殊に其の特徵を發揮するものであつて最近の事實は雄辯に之を證してゐる思ふに經濟界の前途に付ては種々なる意見が行はれてゐるが產業界の好轉を根本的と見られてゐる

と見て、自分としては近き將來この狀勢の再び漸轉すると考へられぬ理由は更に好景氣に進む餘地が多い全國の中央市場であり而して長期取引の發達せる東株市場が益々工業株賣買取引の盛況を見るべきことは當然である、從つて東株は當局としても時代の趨勢に應じ適切なる施設を行ひ以つて經濟に貢獻せんことを期してゐる次第である

過燐酸肥料工業活動開始

【大阪十三日發本社特電】過燐酸肥料工業組合は創立以來既に三ケ年を經過してゐるが多木肥料と新潟硫酸が加入せざるためまだ組合として何等の活動をもたずに至らないしかし何日までも斯る狀態を續けて行くことは組合成立の意義を喪ふこととなるとて、多木の加入は現在の所その見込が無いが新潟硫酸は近く加入の諒解がついたので多木の加盟如何に拘らず愈々組合の活動を初めることとなり、その前提として從來人肥聯合會が起つてゐた販賣制限其他の統制事項を工業組合に引繼ぐべく準備を進めて居り大體二月末までに工業組合としての販賣率を決定すると共に多木に對しては更に加入を慫慂し併も尙多木が加入を肯んぜざる時はいよ／＼工業組合法第八條の適用を申請することゝなるものと見られてゐる

內外糖界の狀勢と我が糖業者の覺悟

不況時代と同じ心持て生產費低減に努力せよ

鹽糖常務取締役　大西一三氏談

新春の糖界は昨年に引續き外糖市況が引立たないところへ昨年六月から實施された輸入稅附加稅の撤廢が問題となつて來た矢先新年初立會で株式高、期米高に與かお招伴した買氣が其後の株式

暴落で　一頓挫を來したので安新糖はメツキリ安人氣となつてゐる七、八年期の產糖配分協定は兩米行惱んでゐるが、之は遠からず成立するであらうし敢て問題視する必要はないが海外經濟界の狀勢と外糖市況の如何によつては如何たる制度を受くるかも知れぬといふ不安がある、卽ち爪哇には今尙巨額の滯貨があり今年度の產糖は半減することになつてゐるが何分輸出量百四十萬噸を越えゐ狀況では滯貨の一掃容易でなくトラストに代つて政府後援の中央販賣機關が生產販賣の統制を企圖うまくやつても滯貨が或程度まで消化されるまでは糖價の立直りも一寸望まれない、何分爪哇糖の最大市場たる印度へ充分輸出が利かぬといふことが

爪哇糖　の大なる惱みであつて產糖半減も已むを得ないのである、此の爪哇糖が投げ賣するやうだと問題だが、我が國としては貿易安のお蔭でその重壓を免れ居るとは云へ決して油斷は出來ない若し和蘭が金の輸出禁止をすれば爪哇貿易の强壓となつて爪哇糖の輸入採算は著しく低下し之が爲の輸入採算に依り我が糖價は急落するものと覺悟しなければならぬ、和蘭は產業國であつて世界的不景氣の打擊は可なり深刻に受けてゐる折柄丁抹の如きも輸出不振の爲休業してゐるものが尠くない、それらの事情からみるとヒヨツとすると金の輸出禁止をしないとも限らない、次に

米國の　不景氣は深刻であるが米國では日本のやうに金の再禁止を實行し難い事情がある、といふのは米國は日本と違つて債權國だから再禁止の爲めに債權の回收が甚だしく不利となるからである、恐らく米國は金の再禁止をするやうなことはあるまいと信ずる、此の點に就ては心配を要せぬが唯一つ禁酒が解かることは何と云つても砂糖には好材料である往年禁酒令が布かれた當時、酒場といふ酒場は皆な喫茶店に變つてしまつた、今度禁酒が解かれると之等の喫茶店は當然元の酒場に立返るに相違ない、その結果砂糖の消費は減退するものと見なければならぬ、これは政局熊の爲めには好材料であり延ては世界の糖況をも左右す、我が糖業者として世界經濟界の狀勢と各國の政策及外糖市況に留意し更に緊褌一番、萬一の場合を覺悟し之に對抗して行けるやう

生產費　を出來得る限り低下して置かねばならぬ、我が社は昭和三年から生產費の低減に全力を注いで來た、幸に昨年來の糖價高騰に依り復活の道程に上ることになつたが去る昭和三年から六年迄に糖價は六圓方下つた、一期間の產糖二百萬擔として千二百萬圓に相當するけれども一面債權銀行にお願ひして利息を二回に亙つて年三分に下げて貰つたのが爲め年に百五十萬圓の負擔減となり其他諸經費の低減に努力し兎も角不況時代を切り拔けたのである糖價の好況も爲替安に依る一時的のもので決して安心は出來ないから我が社の重役社員は引續き不況時代と同じ心持を以て一致協力社業の更生に努力發展を期して居る世間の同情に對しても又債權者の好意的援助に對しても斯くあらねばならぬと思ふ

製氷組合妥協成る

三十日嘉義で創立總會

臺灣製氷同業組合設立に就ては既報の如く大日本製氷其他の設立同意者側と富見俱樂部側との間に意見の一致せぬ點ありて其後同意者側の折衝委員と富見側との間に種々折衝するところあり其の結果富見側でも同業組合設立には異論なく唯だ希望條件中一社一票の是非を認められたいといふので大日本其他の設立同意者側でも飽まで一工場一票を押通すわけにも行かず能力大なるものと小なるもの或る多少事情の異なるものもあるも大體富見側の希望は之を容認するといふことで萬事は創立總會に於て正式決定することゝし富見側より七八人だけ同業組合設立に同意書を提出する事となり目的を所持せぬものは後より送付する旨申出たので之にて決定の三分の二以上の數に達し愈々同業組合設立に向つて手續きを運び得ることになり本月三十日午前九時嘉義市（多分公會堂）に於て創立總會を開催することに決定した、斯くて創立の上は正式に組合設立認可の申請を爲す筈である

今後の二期米移出

約百八十萬袋の見込

去十二月迄の二期米移出高は丸糯百六十五萬七百袋、蓬萊米九十五萬二百袋、在來米十一萬九千袋、長糯八萬四千二百餘袋、合計二百八十萬四千餘袋に達した、就中丸糯は當局の豫想以上に豐作であつたことは疑なく一月に入りても日日一萬乃至一萬二千袋の出廻りあり此分では到底向後は尙相當出廻るべく基隆在庫九萬三千、高雄在庫一萬七千計十一萬袋の外に產地に尙四十萬乃至四十四、五萬袋の殘荷あるべく結局今後の丸糯移出五十四、五萬袋、蓬萊米の移出餘力百五萬袋在來米と長糯とで二十萬袋として今後の二期米移出高は約百八十萬袋に上るものとみられてゐる、之に移出濟二百八十萬袋を合せ總移出高四百六十萬袋に上る計算である

兩港移出米累計

二期丸糯米は百六十萬袋突破

前報以後の基隆港出帆船舶による移出米次の如し

△瑞穗丸（十一日出帆）二期丸糯大阪行一、〇九七袋、神戶揚一、〇六五袋、下關揚二、〇〇〇袋、門司揚四、三〇〇袋、計八、四六二袋、二期蓬萊神戶揚一、四〇〇袋、門司揚五〇〇袋、計一、九〇〇袋

△扇關丸（同日出帆）二期丸糯東京行五、〇〇〇袋、橫濱行二、〇〇〇袋、名古屋行一、三〇〇袋、計八、三〇〇袋、二期蓬萊東京行一、〇〇〇袋、名古屋行五〇〇袋、計一、五〇〇袋

△湖北丸（同日出帆）神戶行蓬萊白米五、一六〇袋、在來白一九〇袋、丸糯白一二九袋、長糯白五四袋

△どうば丸（十二日出帆）二期丸糯東京行六、〇〇〇袋、橫濱行二、〇〇〇袋、二期蓬萊東京行二、〇〇〇袋、東京又は橫濱行四一三袋、橫濱行四一二袋、計二、八二五袋

右を以て十二日現在二期米の基隆高雄兩港移出累計は丸糯百六十五萬七百二十一袋、蓬萊九十五萬二百十八袋、在來十一萬八千九百三十九袋、長糯八萬四千二百六十七袋に達した

臺中米價（十三日）

郵貯減と預金部

四億圓の當違ひ

【大阪十三日發本社特電】郵便貯金の減少傾向は益々甚しく一月に入つて既に一千萬圓の減少を示し昨年八月以降の減少額は大約二億圓に達した、卽ち預金部では大體此の期間に郵貯は約二億圓程度增加する見込で融資計畫を樹ててゐたのであるが二億圓減少した上で差引四億圓の行違ひを生じたわけである從つて一月十七八日頃開かれる預金部運用委員會には樺太朝鮮其他災害復舊費として緊急避くべからざるものに對して約二千百萬圓程度の融資承認を受くる方針である郵貯貯蓄減少しこれが支拂のため公債賣却の必要ある時は投資物の變更を該時しないから預金部運用委員會の承認を得る必要はないとの解釋がある

北南西東

本島の鑛業界は石炭、天然瓦斯から、それから金、砂金といふやうに人氣が移つて來て今は砂金熱が猛烈に高まつてゐる▲三菱礦業の顧問技師中本英彥氏は最近東部の砂金地帶を踏査し新年に入り瑞芳金瓜石の金鑛と大屯山を視察し十一日內地に歸つたが、大屯山には一游して打診をしたといふことである▲大屯山が金山だと騷がれたのは確か大正九年頃だつたと記憶するが、金の值が高くなると平時に引合はないところまで人の眼を着くし、マサカ三菱が大屯山まで手を著けるやうなこともあるまい▲タツキリ臺北から花蓮港附近までの砂金地帶には三菱も食指が動いてゐるらしい▲何しろ一昨年は鑛野技師を派遣し昨年末には砂金の權威者中本氏を特派した位だから、その出願は一昨年七月で面積二千三百萬坪であるが、此の中には先願者が多々あつてダブつてゐるところもある、海岸に近いところを最も早く出願したのは福山長七氏で百九十萬坪を昭和二年の十一月に出願してゐる、三菱がやるとなると此の礦の先願者とうまく話を付けねばならぬが、三菱ではそれは大して問題でなく寧ろ大資本を投じて積極的に見込があるか何うかが問題だとみてゐるやうだ▲三四日前瑞芳で知られた佐々木宮敏君が三菱に頼まれ花蓮港の砂金が有望か否かの調査に出掛けたさうだ、瑞芳で砂金の有無が判る位なら中本顧問など派遣しなくても好い筈だ、それとも技術を超越した力があるか何うか疑問だテ▲インフレ景氣とやらで仲々賑はつたと思はず城內主な商店の內白によると昨年は前年より二割方賣れ行が少かつたといふから意外だ▲これは農家不景氣の反映とか何とか云ふ觀方より城內の顧客は大部分が景氣が良くなつて物價が上ると收入が減つてくる給料生活のサラリーマン連中であるから、自然購買力が減つたといふこと▲今一つの理由は大體時代の推移と共に盆とか正月とかを特別大騷ぎして仰山さうな行事をやるものが尠くなり漸く儀禮化して來た贈答品なども確かに手取りが減つてゆく傾向があるからだと見られてゐる。

商況（十三日）

米況

臺米現物相場

（基隆着蓬萊百斤／前日對比）

南部一期在來米　六、九五　五安
北部一期蓬萊米　八、〇五　五安
中部一期蓬萊米　七、九〇　同事
南部一期蓬萊米　八、一〇　一〇安
北部一期丸糯米　八、一五　一〇安
中部一期丸糯米　八、〇五
南部一期長糯米　六、七〇
南部二期丸糯米　七、八〇　一〇安

基隆在庫米（十三日現在）（正米市場調查）

一期蓬萊米　七一二袋
二期蓬萊米　一六、〇三一
二期蓬萊白米　三、五七三
一期丸糯米　三、一一一
二期丸糯白米　九、三一
一期長糯米　三一八
二期長糯白米　七八一
二期在來白米　一六八

高雄在庫米（十三日現在）（正米市場調查）

合計　一二、四〇二
到着米七十四車（七八〇噸）

正米市場

（公定相場　當・中・先／出來高）

二期蓬萊米　八、一五　八、三四　八、三〇　二〇車
二期丸糯米　八、二六　八、四一　八、五一　四七車

一期蓬萊米　五三、九〇九袋
一期丸糯米　一六、七九六
二期長糯米　三五、六七四
二期在來米　四五、二三三

正米市況（後場）

▲二期蓬萊米　蓬萊丸糯弁落

	當限	中限	先限
寄	七、九五	八、一六	八、三二
高	七、九四	八、一七	八、三三
安	七、九三	八、一六	八、三一
止	七、九四	八、一六	八、三二

▲二期丸糯米

	當限	中限	先限
寄	八、〇五	八、二二	八、三三
高	八、〇五	八、二一	八、三五
安	八、〇二	八、一九	八、三三
止	八、〇五	八、二〇	八、三三

大阪期米

▲後場

節	當	中	先
一	二五、一四	二五、五一	二六、〇四
二	二五、一一	二五、四八	二六、〇〇
三	二五、〇一	二五、三六	二五、八四
四	二四、八五	二五、一六	二五、七三
五	二四、八九	二五、二一	二五、七三
六	二四、八五	二五、一八	二五、六五

東京期米

▲後場

	當	中	先
寄	二五、一四	二五、四七	二五、九九
止	二四、七七	二五、一六	二五、七九
高	二五、一七	二五、四七	二五、九九
安	二四、七六	二五、一三	二五、七五

神戶期米

▲後場

	當	中	先
寄	二五、〇四	二五、七七	二六、〇九
止	二四、六五	二五、一六	二五、七一
高	二五、〇四	二五、五七	二六、〇九
安	二四、六五	二五、一六	二五、七一

各地正米

大阪、東京、神戶共に保合

堂島前場先限兩建控除主なる手振

賣方　潮先二、〇〇〇北川一、二〇〇太田八〇〇田中金七〇〇
買方　岡崎一、五〇〇國崎一、〇〇〇福井商、橫山々、田中商五〇〇

堂島前場先限主なる手筋

賣方　正米筋米穀と新規（潮先）中東筋賣物（北川）株式筋手筋三木（太田、田中金）
買方　朝鮮筋（岡崎）神戶筋（篠崎）米穀筋（國崎、橫山）地場手筋（岡崎、水野）

堂島兩建控除俵合

當限　六六、七〇〇石　賣方　北川以下一〇店　買方　林例以下二二店
中限　一三七、二〇〇石　賣方　岡崎以下一三店　買方　太田以下二六店
先限　一二五、四〇〇石　賣方　潮先以下一二店　買方　關西米以下二四店

堂島米況前場

【大阪十三日發電通】昨小戾しの氣先今朝は各地賣りに正米筋中東筋の新規と米穀賣に地場ゝバラ、ゝ神戶筋賣ひ二十六圓十六錢と寄り地場手筋賣に買物來ひ乘ね十一錢と跌と下連び誘朝鮮筋買に十七錢と跌ね商內に十一錢と付け引けは株式高を入れて十八錢と盛上げたが一般仕手氣迷ひの爲め伸力なく十六錢と大引

堂島米況後場

【大阪十三日發電通】賣物は昨日に比し二、三ポイント高から株式續落、生糸、砂糖弱落を眺め各地崩落を受けて當中一圓安く先は中東筋、正米筋買ひ朝鮮筋賣利喰迄りで二十六圓〇四錢と下放れの五圓八十四錢と崩れ更に株式續落に嫌氣投物多く三圓方開けたため崩落に期近崩落しこの問敗氣の買叩きもあつて六十五錢と高値から百四十六丁方大暴落を演じた、諸氣配は東新の二百四十五錢を入れて一段賣叩へで六十一錢と崩れた、出來高十一萬八千六百石

堂島雜觀

【大阪十三日發電通】午前中は日新しき新規材料なく當面の株式次第と云ふ場面で人氣はサツパリ引立たず寄付は極めて薄商內を附け弱氣は思料本位で弱氣は依頓次第で弗々買ふが之も商船的で永保せずその時の玉の出具合で浮動し大して變動も見られず弱保合の商情に終つたが午後に入つてから熱河問題に關聯して株式方面が暴落した爲限月に多大の關心を持つ火筋く人氣を損じ中東筋、正米筋等の買叩きもあつて遂に二十六圓大臺を割込み五圓六十五錢と暴落し此の局地合の悪化に連れ弱ヶ高特高から惡いだけ一杯惡目を付けさうな形勢となつて來た

株式

大阪短期

▲後場

	寄	引
鐘紡新	二四〇、一〇	二三九、六〇
東株新	二二三、〇〇	二一八、九〇
大株新	二〇六、七〇	一九九、〇〇
大新	一一四、八〇	一〇九、〇〇
商船	一九、〇〇	一〇八、五〇
日郵	四四、〇〇	四三、五〇
滿鐵	六六、三〇	六五、六〇
日產	八二、一〇	八〇、八〇
日石	七三、〇〇	六八、〇〇
淺野新	三九、〇〇	三八、四〇
日魯	一〇一、〇〇	九八、二〇
レヨン	六二、七〇	五五、五〇
東新	一七二、〇〇	一六八、七〇

大阪長期

▲後場

	寄	引
大株	一一六、九〇	一一五、八〇
鐘紡新	一二一、〇〇	一一八、八〇
日郵	四四、六〇	四二、五〇
同	八二、四〇	八三、〇〇
商船	五二、五〇	—
同	六二、〇〇	六一、九〇
日產	四四、九〇	四二、九〇
日魯	一四、五〇	一四、〇〇
同	七五、〇〇	七三、五〇
日石	二九、五〇	二八、二〇
同	一〇三、〇〇	一〇一、五〇
同新	四一、四〇	四〇、三〇
レヨン	六三、〇〇	六二、四〇
日石	六〇、〇〇	六〇、〇〇
東新	二一〇、〇〇	二〇七、九〇

東京短期

▲後場

	寄	引
東新	二〇七、七〇	二〇一、一〇
鐘新	一二四六、五〇	二四〇、六〇
鐘紡新	一二三、〇〇	一二〇、九〇
日聯	五一、二〇	五〇、二〇
明治	一〇二、八〇	一〇二、一〇
日產	三九、〇〇	三七、五〇
淺野新	一〇二、五〇	九九、二〇
日石	六〇、三〇	五九、二〇

東京株況前場

【東京十三日發電通】海外材料軟弱を入れて當務高に商品界は不引立であつたが既に投物一段落模樣なので相場は底堅く小康を示し後して小戾し氣味であつた而して化手の休養と共に新規商內著しく減少し僅方の玉整理氣味で商內も極めて閑散の中に紡績株小堅く山陽連東新潟鐵工一圓三、六十錢安三菱鑛業七十錢高日清、人肥一圓餘高鐘紡、見込電二圓餘高日魯一圓十錢高新二圓五十錢高、製酒百五十錢安砂糖株は原料相場落付に依り日清二圓內外引返した本日も大商盤の爲め之にて一旦休憩し殘餘は午後立會續行し後場前休

前期　は外電安に新東は二百〇八圓六十錢と一圓三十錢安に寄り跡七圓安の安值を見せたが長期の跡高を受け商內稍ゝ迄次上向き十圓五十錢と戾し玉整理七圓十錢と落し西筋賣りに復十圓六十錢と戾

東京銀行貸株

日銀　五四三、〇　同新　四〇〇、三
正金　一八九、五
臺銀　一〇〇、〇　同新　八六、五
勸銀　七八、〇　同新　二一、〇
鮮銀　七〇、七　同新　一八、八〇

しかし九四五十錢と底堅く引けた紡績其他も出盛り一巡から下支へた笹森日石も弱含みであつた

公債

紐育株式

スチール株　三〇弗八分一
アナコンダ株　八弗二分一

東京國債

甲號五分利　九九、一〇　九九、〇五
第三五分利　九八、七五
第一四分利　八九、七五　八九、七〇
第二四分利　—
一十二年物　一〇〇、〇〇
佛貨公債　一五四、六〇
國債出來高　一〇二、五〇〇四

爲替

紐育爲替

米日爲替　二〇弗八一仙四分一
米英クロス　三弗三五仙八分五

神戶爲替

期	寄	引
先物	二〇弗八分五	二〇弗八分五
	二〇弗八分七	二〇弗八分三
	二〇弗八分五	二〇弗八分二
	二〇弗八分七	二〇弗八分三

一同資金調整急ぎにシチー銀行は近物二〇弗一六分一三迄賣つた

銀塊

倫敦現物　一六片一六分一五
同先限　一七片一六分一五
紐育現物　二五仙二五
同先限　二六仙四〇
▲前場　大連現物　九九、二〇　九九、三〇
同先物　九九、四〇　九九、六五
▲後場　大連現物　九九、八〇　九九、一〇
同先物　九九、四〇　九九、四〇

穀肥

シカゴ小麥

五月限　四九仙八分一
七月限　四八仙八分三
九月限　四九仙八分三
出來高　四千萬ブッセル

大連特產

▲前場

	寄	引
大豆現物	五、一八	五、一七
一月限	五、二〇	五、一五
二月限	五、二八	五、一八
三月限	五、二四	五、二五
四月限	五、二九	五、二九
五月限	五、三七	五、三五
豆粕現物	一、七〇〇	一、七〇〇
一月限	一、七二〇	一、七〇〇
二月限	一、七三〇	一、七三〇
三月限	一、七五〇	一、七四〇
四月限	一、七三〇	一、七三〇
五月限	一、七五〇	一、七五〇
豆油現物	四、三五〇	四、三五〇

▲後場

	寄	引
大豆現物	五、一八	五、一六
一月限	五、一五	五、一三
二月限	五、一三	五、一八
三月限	五、二〇	五、二二
四月限	五、三三	五、二七
五月限	五、三六	五、三二
豆粕現物	一、七〇五	一、七〇〇
一月限	一、七〇〇	一、七〇〇
二月限	一、七二〇	一、七一五
三月限	一、七二〇	一、七二五
四月限	一、七三〇	一、七三〇
五月限	一、七三五	一、七四五
豆油現物	四、三〇五	四、三〇五

砂糖

玖瑪

寄　七八仙
爪哇白　直限　五圓七五仙
二月積　六圓
三月積　六圓
四月積　六圓
五月積　六圓

大阪現物

三温（OBB）　一七四八〇錢
分蜜（M3）　一七四六二錢
精製（新他）　二二三〇錢
同（臺曹）　二二五〇錢
同（日）　二二五〇錢
耕地白糖（A双）　二二四〇錢

大阪清算

▲前場

	一節	二節	三節
一限	一三、二〇	一三、二〇	一三、〇〇
四限	一一、八八	一一、〇四	一一、〇九
六限	一一、五〇	一一、一五	一一、五〇

▲後場

	一節	二節	三節
一限	一三、〇六	一三、一〇	一三、〇八
四限	一一、六六	一一、六八	一一、六六
六限	一一、九三	一一、八九	一一、八六

絲況

大阪綿絲

米棉　十錢安
印棉　五錢安

大阪棉花

▲前場　一限　二〇、〇〇　二〇、〇〇
七限　一九、八〇　一九、七〇
▲後場　一限　一九、八〇　一九、五〇
七限　一九、四〇　一九、〇〇

橫濱生絲

▲前場　一限　七八、〇〇　七八、〇〇
六限　七七、六〇　七七、六〇
▲後場　一限　四九、八〇　四九、七五
六限　四九、七五　四九、五〇

神戶市中相場

大豆現物六、五〇　同先物五、四
五豆粕現物一、八三　同先物三
九七既安內國物三、八〇同先
二五同小麥物一、〇〇過燐酸三五
二三、〇〇　小麥內地物七、一四
合〇三五五　豪洲物五、三五、五〇
同上海物二、九〇

神戶豆粕

▲前場

	寄	引
二月限	一、四二五	一、四二五
三月限	一、四二〇	一、四二〇
四月限	一、四二五	一、四二五
五月限	一、四二〇	一、四一〇

	一節	二節
一限	三、九九	三、九八
三限	四、〇〇	四、〇三
五限	四、〇六	四、〇三

斷然社礎確立せる

南部無盡

本甲　金三十萬圓
地積付　金十萬圓
資金　金九十萬圓
（全給付額金其他を合し）

諸費は如何なる全國の無盡會社に比し最も少く、從つて加入者の利益は多大なりしも、爲めに剩金は無配當、其の他費金は殆ど低廉で最も堅實に運用さるゝものに對し、本社の基礎確立は不動の信用を博しつゝあり、殊に本無盡の最も優れたる所は諸會社無盡に比し無資格、無擔保の給付を一切爲さゞるの點にあり、依つて安全第一主義より見れば當社に及ぶものなかるべしと自信致します、又加入者に對する給付金は迅速確實にして、何時でも給付の御用に應ずる次第なり各位の御加入を乞ふ

專務取締役　栗山新造

臺南本店、高雄、屏東支店

曙光

（208）

生方敏郎作　中野修二畫

產聲（九）

一體くも午前中には生れるだらうと思つたものが、昼を過ぎても産婦にイキミが來なかつた。

産婆はそれを待つてゐる間に、色々の準備をした。生れて來る赤ん坊の爲めに、産湯や枕を持ち出させて、産着の襦袢と並べて敷き、又澄江の帯を解いて、それを小娘少女のしてゐるお下げの様に組んだりした。

次の間に居た春田も、たうとう待ち切れなくなつて、又産室へ來て催促する様に。

「まだ生れませんか？」

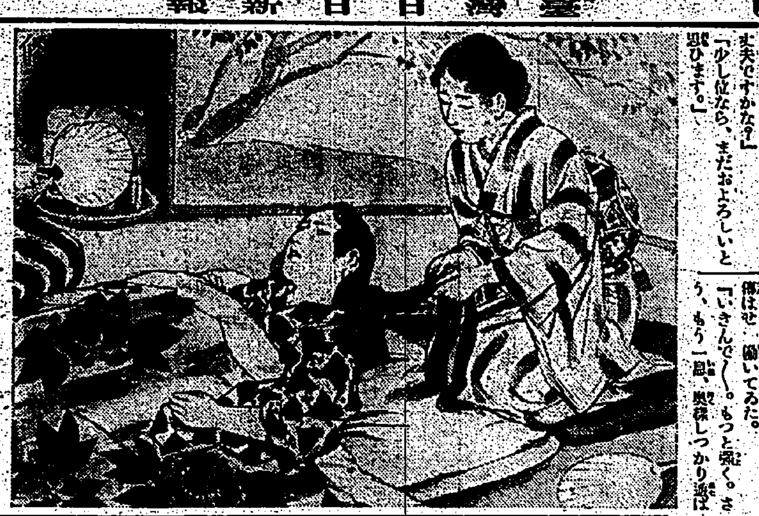
と訊いた。

産婆は笑つて。

「さう西洋料理屋へ行つて、ランチを御註文遊ばした様には、早く生れませんで御座いますよ。」

「僕少し其處らを歩いて來ても大丈夫ですかな？」

「少し位なら、まだおよろしいと思ひます。」



「散歩ですから、さう手間は取りませんよ。」

「散歩位ならお宜しう御座いますが、お友達のお家へでもお寄り遊ばして、時間をお忘れなさいますと、留守中に濟んでしまふかも解りません。旦那様は別にお手傳ひ遊ばさないでも、唯お産婦さんのお側にゐらつしやるだけでも、どれ位勵み力になるか知れませんですから、成るべくなら、御出産の間際には、居つて頂き度う御座います。旦那様がお家にゐらつしやる時、お産を遊ばした方は、この次旦那様がお留守をなさいますとお産がしにくいなどと、申して居りますので、一層そんな癖のつかない様にと、わざ〳〵お家をお空けになつた方も御座いましたが、それは旦那様の方の御都合から申せば、さうかも知れませんが、奥様を愛してゐらつしやるお方なら、さう言ふ事をなさいますものでは御座いますまいと思はれますわ。でも一寸の間の御散歩位、無難しう御座いますとも。」

「お産の時になると、ひどく威張られますね。」

と、春田は笑つて答へた。

産婆は此處だとばかりに。

「さうで御座いますとも。おこしらへ遊ばします時のお樂しみは、殿方の方が引受けて、生みの苦しみを、奥様に押し付けてゐらつしやるんですもの。お産の時に奥様に頭の上らないのは、そりや當り前で御座います。オホ、、、」

と、産婆は笑つた。

春田は三十分餘りも近所をぶらぶら歩いて歸つて來た。

「どうです？もう生れましたか？」

と縁側から聲を掛けた。

「はあ。もう直きお生れ遊ばします。」

と産婆の聲がした。そして産室の中は、殺氣付いてゐるらしかつた。

白いエプロンをかけた産婆は、産婦の局所の方へ跪り、助手に手傳はせ働いてゐた。

「いきんで〳〵。もつと強く。さう、もう一息、奥様しつかり遊ばせよ。もう少しの間で御座いますから、お眠れ遊ばしても、眠らうとなすつてはいけません。氣を張りつめて。ええ、もう一息。その呼吸で……」

などと、産婆を勵ませてゐた。

春田が座敷へは入らうとすると産婆は手を振り。

「旦那様はもう暫らくの間、そちらにゐらつしつて下さいまし。赤ちやんがお生れ遊ばしたら私が聲をかけますから、その時いらつして下さいまし。」

と叫んだ。

春田は隣室で、又例から讀みかけのものの續きに取かかつたが、産婦の呻き聲や、産婆の勵ます激励の聲からに邪魔されて、殆ど自分が何をしてゐるのか、纏まりがつかなかつた。で彼は仰向けに後へ寝轉んで、本を枕に休息してゐた。

とその時。

「オギヤアー〳〵」

と、けたたましく噛み合ふ時の猫の泣き聲のやうなのが、續けざまに聞えて來た。そして春田がはつと思つた瞬間、隣室から。

「旦那様、お芽出度う御座います、お坊ちやんがお生れ遊ばしました。」

BOOK REVIEW ブック・レビユー

『臺灣大觀』を讀む

昭和町人

臺灣の過去に對する知識を土臺として其の上に築き上げられた新臺灣の全貌を示さうとしたのが本書の目ざす目標であつたといふが、編者から其の説明を聽くまでもなく本書が此の種の多數刊行物と趣を異にしてゐるのは確かである。本書の編者日本合同通信社長安藤元節氏は領臺劈頭から臺灣にあり親しく各地の事情を見聞し明治二十九年正月に土匪が蜂起した當時の如きも同君は臺北城に於て組織した義勇隊に加はつてゐた、更に本書の卷頭を飾る寫眞中には北白川宮殿下が御劍潭（現在の大稻埕）より臺北へ向ひ御出發に相成る光景、更に臺灣民政支部の上陸、臺灣總督府時代の發端を御宿營殿下の御露營所とした其の寫眞等今日からは見るを得ない珍寫眞を掲げてゐる、更に明治二十九年樺山總督の官邸に於ける新人引見、後藤民政長官の舊邸に於ける記念寫眞など當時の參考史實であらう、記事に於ては過去及び現代に至る諸家の臺灣に關する記述を出來得る限り廣く多く集錄してゐる點が特色といふべく、安藤元節氏の臺灣統治と歴代總督觀を初めとして大東學人の新領土の思出、大久保利武侯の樺山總督の功績、大井成元男の上陸第一步、樺山資英氏の臺灣統治事略記、大谷誠夫氏の臺灣の第一印象、中川小十郎氏の私の記憶に殘つてゐる事ども等臺灣の回顧に關する諸家の極めて興味深く且つ成程と肯かせる樣な斷片を掲げてゐる、是等諸家の名は七十餘家に及んでゐる。更に又臺灣の回顧から一轉して臺灣の現勢を說き其の將來を論ぜしめてゐるが、臺灣の將來につき永井柳太郎が「東洋平和の鍵を握る臺灣」を論じてゐるなど注意に値する讀みものである。現勢に就ては臺灣の地方產業、その政策等に及び最後に臺灣の史的考察として臺灣小史等を掲げてゐる。附錄末に田川大吉郎氏が水野民政局長の島内巡視に當つて同行した當時の旅行記の如き今日より見て臺灣の過去を知る上に興味多きものである、更に内容は臺灣大觀の名に恥ぢぬ内容をもつ著作として大方に推賞いたしたい（布裝菊判七百頁△發行所東京市芝區琴平町二日本合同通信社）

愛國の熱誠より

エス語採用を提唱（上）

京都エスペラント會幹事　井上照月

最近我國の外交が舊時的英米追從主義の**舊套を脱**して漸く自主的外交の新道に出でつつある事は、未だその飽き足らぬ節は多々あるとして、之を以てまことに結構なる傾向と言はねばならぬ。然るに茲に一つ外交上極めて重大なるべき問題にして我國が從來の舊時的狀態の儘に置かれ、而もその事に就いて、一部の識者を除いては、一般に甚だ無自覺、冷淡に取扱はれてゐる問題がある、曰く外交用語の問題——これである。

昨年**滿洲問題**に就いて國際聯盟の會議が開かれた。併して目下全國民の輿望をになつて松岡代表が壽府で活躍してゐる。日本の代表が遙々ジエネバに派遣されて、主として英米佛を向ふに廻して舌鋒の太刀打ちをする。その劍にも比すべき言語は一體何國の言葉であるか。相手の國語である英語或は佛語を借りて用ゐねばならぬのである。借物の不自由さ、歯痒さ、遣り合ひに、突き挫じや打ち渡りの點々あるべきは當然過ぎる事である。一昨年十一月初旬**ロンドン**のある會合に於ける英國人某名士の聯盟批評談の中に次の文句がある

「支那代表が英語を自由に操つて理路整然として聯盟に感動を與へたに反して日本代表は佛語も英語も頗る貧弱で不實その言はんとする所が誤解し易かつた。この按配では他の諸國の意見が日本側にはつきり呑み込めたか否かに就いても疑はれる…」

この事項を悉く信ぜぬまでも日本の代表が一部的に如何にミヂメであつたかは想像に難くない。而も**この代表**のミヂメが日本國の體面安危、國民全般の利害に直接係りよつてゐる事を思ふ時、我々は外國語の不熟練な事に就いて肌に粟を生ずるのである。我々が外交官を責める前に、この點のより根本的な本態に眼を着けねばならぬ。凡そ一國の國語といふものは他國民には——支那人等、特に外國語習得に長じてゐるといはれてゐる國民は別として——どうしても**或る程度**以上に熟達し得ない難かしさを有つてゐるのである。特に外國語の下手な國民として定評ある日本の外交官がミソをつけるのは蓋し無理からぬことである。又若すばらしい天才にして假りに同等に話しの出來る者ありとしても、相手はその日常語であつて、その語の使用に當つて何等特別の努力を要せぬに拘らず、こちらはその國語學習の爲には長い時間と實に血の出るやうな努力を拂つて始めて能くし得るのである

外交に限らず凡ての國際關係に於て、その當事國の各々は、全く對等の條件の下に事を行ふが正義である。國境にトンネルを作るに當つてはその兩國にて努力と經費を平等に分擔する。然るにかかる問題とは比較すべくもない重大な意義を有つ用語の問題に於て、一方のみがこの大なる犠牲を拂はねばならぬといふ事は、斷じて國際正義の上から許容さるべきではない。然らば**如何なる**正義の方法があるか。國際補助語エスペラントの採用、これである。エスペラントは今から四十數年前ポーランドの醫師、ザーメンホフ博士に依つて考案せられた人造語である。如何なる國にも屬せず絶對中立であるから該語の使用に當つては當事者は全く對等の地位に置かれる。いはれなき習慣に從つて無秩序無統制のままに成長した自然語と異なり嚴正にして簡明なる文法の上に組織的に築かれた**人造語で**あるから、その學習は自然語學習の際に數分の一の努力を以て足るのである。語學の下手な日本人にとつて特に大なる福音といはねばならぬ。絶對中立、學習容易のみならず、明瞭、優美にして音樂的である事、凡そ言語として又國際語として望み得る條件は總て之を具備し、而も既に世界のあらゆる分野に於てその輝々たる實用性を發揮してゐるのである。この語の採用一日早ければ日本の光りが**世界に輝**くといふも敢て過言ではない。外國語使用を餘儀なくせられてゐるが爲に日本の蒙つてゐる損失は獨り外交に止まらない、通商に學術に、その他あらゆる國際交渉に於て識り知る可らざる損失を日々に受けつつあるのである。が更に懸念すべき損失の外に精神的に蒙る損害に至つては實に戰慄すべきものがあるのである、外國語學習に日々骨身を削がれつつある我が**青少年の**痛ましい姿を見よ。都市の看板を見よ。商品の包み紙を見よ。そこには如何に間違ひだらけの英語が醜態をさらして神聖なる日東天子國をして英米の隷屬の如き觀を呈せしめてゐるか、新聞雜誌を見よ、人々の會話を聞け、講演を聞け。滔々として無制限に輸入せられる蛙の鳴聲にも比すべき歐米の醜語が、天照り助け給ふてふ大和言葉を如何に殘酷に混淆せしめてゐる事か、外國語學習に浮き身をやつして居れば、その國の**文物が悪**く偉く見える傾向になるのは人間性の自然である。我が國の思想上下を擧げてアメリカ主義に中毒せられてゐるのは我が英語過重教育の當然なる結果といはねばならぬ。又言語的に常に壓倒を感じ卑屈を餘儀なくせしめられてゐる我が國の外交官達が英米に對して卑屈になつてゐるのは之又自然である

書物の趣味

河村徹

一、總說

書物とはある考へなり思想なりの意思表示を内容とするもので、それが文字、記號、繪畫に依りあらはされ、紙に印刷されたものである。それであるから思想を内容とせぬ電話帳、汽車の時間表、利息計算表、會社商店名簿等は此等の點から見ると書物の中には這入らない。又、藥書として最も尊重されてゐる古寫本Manuscriptは印刷で印刷されたのでないから一般の書物としては取り扱はぬ。書物は活版印刷に由り大衆に生産されて大衆の文化生活に貢献するものでなければその價値がないものである。

□

書物に文字、紙、印刷が必要をなすのである。文字には漢字、假名文字、アルファベツト、サンスクリツト等がある。紙は我が國及支那で可成り早く發明され、それが歐羅巴に傳はつたものである。

印刷術も我が國、支那、朝鮮には早くから開けて、現に法隆寺に在る百萬塔の陀羅尼は我が國はかりでなく、世界の最古の印刷物の一つである。然し活字印刷を發明し、それが廣く應用されるに至つたのは一四五〇年のグーテンベルグからである。それまではブロツク、プリンチングで有つたのがグーテンベルグの發明で、書物は大量に生産され、文化の普及發達に偉大なる貢献をしたのである。

□

書物は文化人の生活には一日も缺くべからざるもので、精神生活の食糧である。資本を蓄積し、食糧を蓄にたくはへる人は澤山あるのに、書物は現在入用以外の物は必要なしとする人が多いのは、物質萬能の弊禍で精神生活を閑却したものである。一般に自己の職業、業務に必要な實用書類を讀む者は相當にあるが、更に進んで參考書、教養書、學術書、新刊書、趣味書等を讀む者は尠くしてどれ丈けあるか。

□

米國人は大體から見て讀書人と云ふ方には這入らぬ國民であるが、それでも自己收入の一割を書籍費に當てゐる。我が國でも讀書と愛書の氣風を盛んにし、文化生活の向上、發展に資し度いものである。讀書を論ずる者が儒教の四書、五經、佛教の經典、基督教の聖書或は聖賢の言行錄だけを讀めば良いと云ふが之は大なる誤謬である。聖賢の書物を讀むは最も必要な事であるが、然し吾人の生存する社會は時々刻々に推移し、人間社會は進步し、發達し、變遷して止む所を知らないのである。此社會の現象と時代の潮と流れを知るには新刊書を讀まねば理解出來ないのである。古典には恒久的な生命と價値があるが、時代に即する新味はないのである。新聞が日常生活の米の飯であり、パンである様に新刊書は精神生活のパンである、新刊書を讀まぬ者は時代思潮の落伍者となるのである。

押詰りて詠める

柴山武矩

○なにくれと用なき多き家人にまじりて動く押し詰まる日を

○年末の忙しげなる家人の中にわがする修繕仕事

○なほしやらむと思ひつつ過ぎし玩具なほしてやりぬ押し詰まる日に

○家人の起ち居なにかと忙しければ子を連れ出でて散歩をする

○取上げてこれといふわが業績なしに昭和七年をはりとなれり

○よき歌を詠みたしよき小說を書きたし生活のせわしかるとも

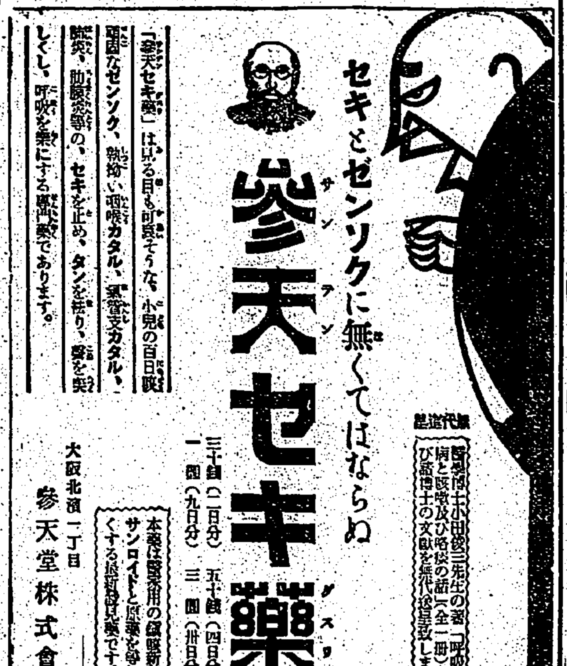
○此處に生くるせめてもの慰いそがしき生活に負けず歌よみゆかな

良書の推薦

臺灣總督府圖書館長　山中樵

第二回圖書館週間に當り申上げて置きたいのは、臺灣教育會の圖書推薦の御話であります。これは昨年一月の圖書館週間を記念する様に**其の週間**に生れた事業でありますが圖書を親しく讀べてから求むる便利の得られない、地方の學校や圖書館或は父兄の爲めに、總督府文教局、圖書館、中等學校及小公學校の職員二十名に委員を囑託し、毎月一回、圖書館に會合し、新刊の兒童用書、青年讀み物を調査した上、是非青少年に讀ませたい優良のものは、之を推薦し、又圖書館**青年文庫**兒童文庫等に備へ付くるに適當のものは、之を認定し、其結果を日刊新聞及教育會の機關雜誌「臺灣教育」に發表してますが、昨年中に、百八部百五十一冊を調査し、四十九部八十一冊を推薦或は認定しました。今回の週間中圖書館で展覽する推薦認定圖書は即ちそれでありますが、地方の方々は今回教育會から各學校及同會に配布した說明付の目錄により**御覽を願**ひます

もう一つ申上げたいのは、圖書の推薦につき、圖書の著者又は發行者が、同會の推薦を受けたい場合の事でありますが、其の時には圖書二部を添へ、會長に願出づれば宜しいのです。推薦を受けた書に、臺灣教育會推薦の文字を記入し得ることは勿論の話であります。只今述べましたのは、主として總督府圖書館と臺灣**敎育會と**のことでありますが、地方在住の方々は最寄りの圖書館を御利用になつて、讀書をなさると共に、各方に配布してあります各種目錄、臺灣教育會或はラヂオ等により選擇をせられ、更に進んでは直接に或は地方圖書館を介して總督府圖書館に相談せられんことを希望する次第であります



セキとゼンソクに無くてはならぬ

參天セキ藥（サンテンセキグスリ）

「參天セキ藥」は見る目も可哀さうな、小兒の百日咳、頑固なゼンソク、執拗い咽喉カタル、氣管支カタル、肺炎、肋膜炎等の、セキを止め、タンを去り、呼吸を樂にする斷然藥であります。

三十錢（二日分）　五十錢（四日分）
一圓（九日分）　三圓（卅日分）

本藥は醫家用の鎭咳新藥サンロイドと原藥を等しくする最新鎭咳藥です。

無代進呈　醫學博士小田俊三先生の著「呼吸器病と咳嗽及び喀痰の話」（全一冊）及び諸博士の文獻を無代贈呈致します

大阪北濱二丁目　參天堂株式會社

364

銘酒　富久娘（ふくむすめ）

初日の出は二見で名高く
酒は富久で全た

灘　花木本家

職業

大阪市天王寺區夕陽ケ丘町

[illegible]

仁丹齒磨　煉と粉

健康の第一線を守る此の齒磨

香、味
効力
使ひ心地
申分なし

TOILET BATH
クラブ石鹸

化粧用にも子供用にも

最上の石鹸

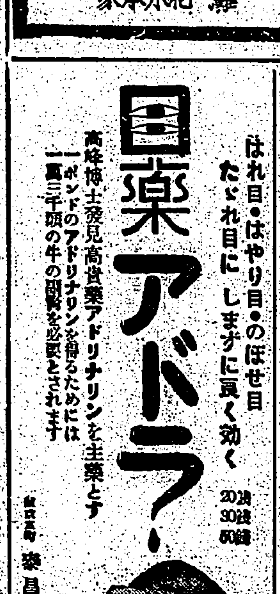
クラブ石鹸

匂ひ
泡立ち
使ひ心地
正に百パーセント

●一筆啓上

頭痛にノーシン！

火の用心●



目藥アドラ

はれ目・はやり目・のぼせ目
たゞれ目に　しみずに良く効く

20錢　30錢　50錢

高峰博士發見高貴藥アドリナリンを主藥とす
一ポンドのアドリナリンを得るためには一萬三千頭の牛の副腎を必要とされます

發賣元　泰昌製藥株式會社

毒蟲の妙藥

蛇頂石

蜂、毒蛇、南京蟲、ムカデ、蚊等にも是さへあれば

（說明書進呈）

貳個入壹包五拾錢
内地送料十包迄十錢

京都寺町綿小路

鳩居堂

MORINAGA CONDENSED MILK

新鮮優良

森永ミルク

森永ミルクで育てた赤ちやんの成績

笑顔百點！

健康滿點！

本島人の婦女子も遺産の相續は出來る

非人道的な慣習法を打破した

臺北地方法院の新判例

亡夫の財産を未亡人或は息女が絶對に相續出來ない事になつてゐる臺灣の民法の非人道的な慣習法を打破し未亡人の財産管理を認めた新判例が臺北地方法院に現はれた＝問題は昭和七年八月四日本紙既報の如く臺北市元園町九十一番地故張□の未亡人張陳氏金枝が亡夫との間に息女をあげてゐるのにも拘はらず亡夫の遺産市內入船町一丁目合名會社德昌商行の持株なる二萬餘圓の財産を臺灣民法の慣習法によつては未亡人でも息女でも相續出來ない事になつてゐる事を奇貨とし亡き張□の兄德昌商行代表者張□他三名の兄弟が張□の財産を所有せんとして相通謀し張□の三男張日新を未亡人金枝の意思にそむいて強要無理に張□の嗣子に立て嗣子の承認を以て戶口簿に登錄した事に對し、未亡人金枝が右養子緣組の無效確認訴訟を昭和四年頃に臺北地方法院に提起した事に端を發し爾後四ヶ年に亙る長期係爭を重ねて昭和七年八月三日臺北高等法院上告部の判決により原告未亡人張陳氏金枝の勝訴に歸したが、その後張□の遺産相續に關し未亡人並に息女が財産相續の權利が付與されてゐないためこれを如何に解決すべきかについて法曹界の問題となつた一方右財産の相續人が分明ならざる狀態が續行してゐては財産運用上に支障ある故を以つて未亡人張陳氏金枝を相續財産管理人として選任する樣にと金枝の訴訟代理人□和・堀田兩辯護士より臺北地方法院に申請したため法院では伊野院長以下愼重に審議した結果昨年末に至り申請人の申請に理由ありと認め未亡人張陳氏金枝を相續財産の管理人に選任するとの決定を下すに至つた、この新判例の恩惠により未亡人金枝は本年一月六日に大正十四年より現今に至る迄の財産二萬餘圓の利息に損害賠償等を加へて五千五百餘圓の相續未定財産の引渡請求の訴訟を法院に提起した事により十三日午前九時半頃法院窓口執行官係で前記合名會社德昌商行の假差押へをしたが法院首腦部では一部非人道的に出來てゐる臺灣の民法の慣習法を改正して內地のそれに引きあげやうとの研究がなされてゐる矢先に斯かる惡慣習を打破した新判例が現はれた事は興味あるものとして注目されてゐる

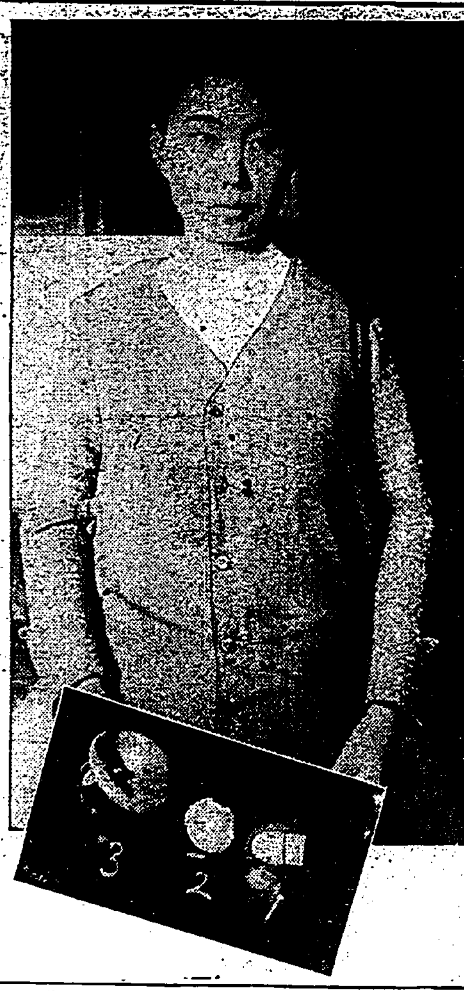
本島の警察官も防彈チヨツキ著用

差當り臺北と基隆に配給し

豫算の許す限り漸次全島へ

やれギヤングだ、血盟團だと、これ等に狙はれる政治家財閥の巨頭達が萬一の場合に備へる爲に防彈チヨツキを著用するのは今日珍らしいことではない、それ程世の中が物騷となつたわけである、これ等の強力犯なりテロ行爲が頻發するに連れて犯人檢擧に際して警察官の犧牲者の數も近年漸增して來たので內地では重要な都市の警察で防彈チヨツキの設備がないところはない位である、臺灣でも漸次犯罪のテロ化傾向を帶びて來たのでこれを設備する必要があると云ふので購入することになり見本を取り寄せ十三日總督府保安課で試驗した結果臺北市加藤金四郎氏の□品專賣特許加金式防彈服を四十著購入することになり、臺北基隆の警察署に配給することになつたが右について總督府今田警務課長は語る＝內地ではギヤングその他犯罪がテロ化しこれ等の犯人逮捕の際犯人が武器を使用する場合が多いので主要な所では防彈具を備へて出來るだけ被害を少くしてゐる臺灣は內地程まではゆかぬが老鰻が擬刀その他の兇器を以つて警察官を傷付け過去に於て相當の犧牲者を出して困り、又漸次兇惡犯がテロ化して來る傾向が無いでもないので勢ひ防禦する設備を爲し特殊な勤務に服する警察官に防彈服を著用させ度い意味から內地から見本を取り寄せ試驗の結果その成績良好で命中した彈丸は一つも貫通せず重量も一貫目足らずで體裁もよく、體の屈伸に支障もなく、その上服の全面が防彈面となつて居るので差し當り四十箇ばかり購入し將來は豫算の許す限り全島に配給し度いと思つてゐる

因みに右の加金式防彈服は一著五十圓で將來犯罪が科學的となつてゆくので犯人檢擧に必要な科學的器具を設備する方針である



著用した防彈チヨツキ

（寫眞上、黑點は彈痕下（1）普通のピストルの彈丸（2）防彈チヨツキに當つてペチヤンコにつぶれたピストルの彈丸（3）巡査の服のボタンに當つて彈丸の先が突きぬけた所）

元勅任教授の某博士遂に捕はる

二萬の蓄財を運動に消費

【東京十三日發電通】現在左翼陣營の□將として知られた元京都大學教授（前號既報大は教授）法學博士○○○氏の檢擧は同氏の經歷より當然と見られてゐるが同氏が勅任教授の地位にあつただけにセンセーションを捲き起してゐる、同氏は數日前入露すると稱し大久保の自宅より姿を晦し博士夫人は中野相生町に僅か五疊の住間に細やかな暮しを立て長女は阪急百貨店で女店員を勤めると云ふ一家離散の悲慘な狀態にある、而も博士は實際は入露せずその住所を匿し中野區住吉町の實家櫻山□□方に隱棲してゐたのである而して警視廳は過般米□博士と同樣地位にある人に對し檢擧を開始することとなり博士の行方探査中前記の場所で博士を發見したものである十二日中野署特高課員が檢擧に向つた所「御苦勞です、お供しなければならぬでせう」と外出の仕度をなしたが博士はわなわなと震へてゐたと同氏は二萬の蓄財を全部運動に消費してゐたと

早蕨遭難者の祭粢料を寄附

瀧乃家の一同から

【基隆電話】基隆市義重町料亭瀧乃家の女將木村ミネさん外一同は驅逐艦早蕨遭難以來いたく心を痛めてゐたが近く吳で海軍葬の擧行される事を新聞で知り女將自ら三十圓藝妓一同十五圓仲居五圓を出し合ひ十二日情のこもつた手紙と共に基隆憲兵分隊に贈り分隊長を訪ねて祭粢料の一端にてもと差出したので一同感激して受取り早速井上海軍武官宛手續をとつた日のあたり軍艦の遭難振りを見てゐた基隆においてこの瀧乃家の一同が初めての寄贈の主となつた譯である

兩陛下十七日還幸啓

【東京十三日發電通】九日以來葉山に御駐輦中の兩陛下には十七日還幸啓の旨十三日仰出された

美年子女王さま兩陛下に御朝見

【東京十三日發電通】十七日立花種忠子爵嗣子勝氏と御結婚遊ばさるる北白川宮美年子女王殿下には十二日皇族として御名殘の賢所御參拜後自動車にて葉山御用邸御座所にて兩陛下に御朝見遊ばされた

立博士を招待

總督が午餐會

中川總督は十三日正午官邸に來臺中の立作太郎博士を招待して午餐會を開いたが、小濱長官代理、安武文敎局長、幣原帝大總長、安藤同文政學部長、納山秘書官等列席した

信越國境に猛吹雪

ラツセル初出動

【高田十三日發電通】十二日以來信越國境の降雪は十三日になるも歇まず、猛吹雪となり妙高高原の如きは二百二十五センチ（約七尺五寸）の積雪の爲めに列車の運行困難を來し名古屋運輸局より本年最初のラツセル車を運轉した

臺北市協議會二十八日から開催

新規事業も多い

臺北市の昭和八年度豫算は西澤市尹の手許に於て愼重に查定中であつたが十二日までに大體の決定をみたので十三日には豫算編成方針を市常置員に說明するところがあつた、八年度豫算は臺北州に於て積極的に新規事業を編成してゐるので不可分の關係にある臺北市でも相當積極的に小公學校の學級增加に伴ふ新築費三十萬圓の市債、臺北市水害防止のために新設する下水工事費（總工費約四十二萬圓督府補助六割、州補助一割五分、市負擔二割五分）衛生施設費等新規事業も多數に上つてゐる模樣である

臺北市協議會は來る二十八日から三日間開催の豫定であると

臺北市の常置委員會

豫算問題で意見交換

臺北市の常置員會は十三日午後一時半から市尹室に於て開催、先づ西澤市尹から漸く查定を了した明年度豫算につき編成方針を述べ種々意見の交換をなし四時過ぎ散會した

殿りの凱旋部隊

十三日青葉城下につく

【仙臺十三日發電通】凱旋部隊の殿り、長谷部少將以下第三旅團司令部を初め步兵第四聯隊第二大隊本部の將兵は十三日朝、森□聯隊長以下步兵第四聯隊本部及び第一大隊の將兵は午後一時五分著列車で歡呼裡に凱旋した

共婚法の施行期は四月一日の見込み

遺憾なき準備を整ふるため

眞の內臺融和に一新時期を劃した內臺人間の結婚、緣組に法律上の保護を加へられたところの所謂共婚法は昨年十一月二十六日をもつて勅令及び律令をもつて公布されたのであるが、その施行の時期は勅令に從つて臺灣總督の定むる所に依ることとなつてゐる、總督府では本法を速かに施行すべく準備を急ぎつつあり、中川總督も關係當局に對して絕えず督促してゐる有樣で、當局者もその準備に大童の努力をつづけてゐる狀況である然るに本法施行に當つては關係府令及び訓令を出さねばならぬのでこれに關しては法務課において其の成案を急ぎつつあるが、右の法律上の手續のみならず實際に戶籍の取扱ひに當る警察部、巡查に對しては共婚法に關する講習を行ひ、手續上の遺憾なきを期する必要あるので、これ等の準備のため相當の時日を要すべく當局その施行時期は四月一日となる見込である

法政チーム臺北を出發

大きな足跡を全島各地に殘して

本社の招聘に應じて渡臺し全島に轉戰して好成績を擧げ大なる足跡を全島に殘した法政大學野球部一行は恙なく日程を終へて十三日午後二時二十八分臺北驛を出發歸途についた、臺北驛構內は本社河村社長以下幹部社員多數、在北法政校友、體協等よりの多數の見送り人で雜沓を極めた、選手は何れも發車間際までサイン攻めにてんてこ舞ひのいそがしさであつたが定刻列車が基隆岸壁を指して滑りはじめるや見送人は一際に萬歲を三唱して遠征軍に別れをつげ長途の無事を祈つた

體協の主催で盛大な送別會

法政大學野球部遠征軍の送別會を兼ねた臺灣體育協會の新年宴會は十三日正午から臺北鐵道ホテル大廣間にて開催された、體協側からは安武、加福、荒木、高須、赤堀、三宅、小松、河村等の諸氏送別の辭を述ぶれば、藤田監督は全島各地に於て受けたる歡迎に對する感謝と今後の飛躍を誓ふ旨を述べて着席、直ちに食事に入つたが和氣に溢れた懇談の裡に午後一時半宴を閉ぢ一同別室にて少憩の上退散した

朝日丸で一行離臺

【基隆電話】年末年始を二旬に亙り本島の球界を賑はした法政大學野球團は本社員並に同校友會員多數の見送り人と共に十三日午後三時廿五分基隆岸壁下車、朝日丸乘船の上サルンにおいて伊藤本社員は一同を代表一行のため祝辭、上甲板で一同記念撮影をなし同船は豫定通り午後四時萬歲交錯の賑かな裡を出港した、同團田代男監督は出港に先立ち島內の球友其他に對し左のメッセージを寄せた

十三日基隆にて朝日丸船上　本日當地を去るに當り臺北初め各地において我法政大學野球部に寄せられました官民並に大方各位の數々の御厚誼に對し深甚の感謝を申上げ、且つ併せて今後の御交誼と皆樣の御發展を祈つております

全島蹴球大會

十四日から臺北で

第四回全島蹴球大會は成年部及び中等部に分れて十四、十五の兩日臺北市にて開催されるが、十四日は午後零時半より新公園、高商、二中で十五日は午前八時より新公園で試合擧行の筈である、成年部の出場チームは臺北O、B、臺南高工、中央、高大、七星俱、みのり、臺北高校、鐵の八隊、中等學校は南一中、北一中、中商、北二中、A、B、北一師の七隊である

太田胃散
實質本位
盛んに賣れてる胃病藥
本舗　東京　太田信義藥房

貨車の封印を破り丸糯米一袋を盜む

基隆驛と新岸壁の間で

【基隆電話】去る六日新竹國際通運發、基隆同社受丸糯米を積んだワ五〇七三號貨物車が八日午前二時四十分より同四時二十分迄基隆驛から新岸壁に至る間において何物か同車の封印を破つて入込み大膽にも丸糯米一袋を竊取したものがあるのを驛員が發見、基隆驛より屆け出たので目下基隆署で犯人搜查中

きのふ來臺した赤池濃氏（總督府にて）

臺北市の區街長會議

臺北市の區街長會議は十五日午後六時から竹の家に於て本年の初會合を催し當面の市政諸問題につき意見の交換を行ふこととなつたが當番幹事は大正町である

十八日預金部運用委員會

【東京十三日發電通】大藏省は來る十八日午後一時半から預金部運用委員會を開き臺灣に於ける時局匡救資金約百萬圓外計三千萬圓の融資を決定することとなつた

本社工場參觀（十三日）

宜蘭郡二圍公學校兒童二十五名林明煙訓導引率

泥醉しての溺死ではあるまい

謎は深まる倉橋□勇

【基隆電話】去る八日夜基隆市壽町田寮港運河で溺死せる場所丸後開夫が意外にも籍玉と判明したことは既報の通りであるが同人の名乘つてゐた倉橋□勇なる男の籍地は小倉市大字京町二二九で倉橋新太郎の長男一家は久しい以前から朝鮮京城に移り當の勇は大連に居住してゐることが明かと思はれるが、さうだとすれば本名の名乘れない事情のあつたことには間違ひなく重大なる罪を犯して逃亡中のものではないかと睨まれて居り、又朝鮮人と思はれる節が多分にあるので或は思想關係のものではないかと高等係でも極力調査を行ひつつある、高等係或る方面で秘かに探査の結果同人は船內で同僚との折合面白からず常に悶々として思ひ詰めた結果溺死自殺したのではないかとのことが判り泥醉の過失死ではないとの推測も下されて謎は益々深まつて行くばかりである

和蘭官憲が日本漁船を爆沈

スラバヤから送還された邦人漁夫基隆で語る

【基隆電話】十二日午後五時基隆入港の商船南洋航路パナマ丸で蘭領ジヤバ島スラバヤから一名の日本人漁夫が送還されて來たが、右は沖繩縣國頭郡伊江村東江馬□□で大正十四年二十二名の仲間と共に門司を發してスラバヤに向ひ、或る資本家の許で漁業に從事してゐたが失敗に終り仲間一同と共同經營で二艘の漁船を買入れ漁撈に從事してゐる中、一個人より品評會に出す剝製用の材料蒐集を目的として友人一名と雇はれて歐羅巴を步き廻つた所、最初の契約に反して一文の報酬もくれぬので止むなくスラバヤに歸らんとしたが旅券持つてゐた旅券が既に期限が經過してゐて效力がないので仕方なくスラバヤに秘そかに上陸、僅かな資本で商賣をしてゐる中官憲に發見逮捕され、密入國者として二十日の拘留處分をうけた後送り返されてきたものである、同人の語る所によれば二ケ月程以前自分と共に共同經營で漁撈に從事してゐた仲間の持船の中一艘がスラバヤに歸港した際、官憲は規則に反したとて漁船を抑留し乘組員を拘留嚴重なる取調べを行つて百五十盾（約三百圓）の罰金を徵收した上無理不當にも同漁船を港外に曳航爆沈してしまつたので手足と賴む一艘の漁船を失つた一同は殘り一艘では完全なる漁撈をなすことが出來ず全く途方にくれて居り、同地在留邦人は何れも和蘭官憲が我國小漁船に一言の挨拶もなく罰金をとつた上に更に漁船まで爆沈することは亂暴も甚だしいと大いに憤慨してゐるとのことである

赤池氏はけふ花蓮港へ

十三日來臺した貴族院議員赤池濃氏は午前中は藤田臺北州知事の案內で臺灣神社參拜、總督府訪問、午後は建功神社參拜、博物館、商品陳列館、孔子廟、龍山寺、芝山巖を視察して草山に赴き同地に一泊したが、十四日午前八時四十六分臺北驛發蘇澳より陸行して花蓮港へ赴く、案內役は中村文敎局長附屬である

法大招聘野球試合

打擊率

臺北に於ける法政大學對臺灣野球試合の打擊率ベストテンは左の如くである（法政は四回以上出場打數十以上のもの、臺CBは三回以上打數八以上のもの）

	打數	安打數	率
一、田中（CB）	十一	六	〇.五四五
二、武田（法政）	廿八	十三	〇.四六四
三、三山（鐵）	十三	六	〇.四六一
四、田子（法政）	十一	五	〇.四五四
五、吉田（CB）	十	四	〇.四〇〇
六、油井（CB）	八	三	〇.三七五
七、渡邊（法政）	廿二	八	〇.三六三
八、中村（法政）	十一	四	〇.三六三
同、渡邊（鐵）	十一	四	〇.三六三
十、內山（鐵）	九	三	〇.三三三

大阪筋の流言で憲兵隊活動

【東京十三日發電通】正午頃大阪筋と覺しき邊りより遞信省關大官が暗殺されたとか某大官がどうされたとか種々流言飛ばされ之がため株式界は大動搖を來したが之は總て事實無根で徒らに人心を攪亂させるものであるとして憲兵隊では直ちに之が對策に對し警視廳と協力して犯人檢擧に著手した

大相撲

初日勝負

【東京十三日發電通】大相撲初日勝負左の如し

勝		負
若瀨川	（引落）	射水川
[illegible]川	（寄仆）	越ノ海
鳳凰山	（叩込）	巴潟
岩城山	（上手投）	吉野岩
筑波嶺	（吊出）	新海
太郎山	（吊出）	土州山
雙葉山	（上手投）	綾若
男女川	（小手投）	大潮
綾櫻	（寄切）	大浪
大邱山	（突仆）	幡瀨川
能代潟	（吊出）	吉野山
[illegible]	（寄仆）	古賀浦
沖ツ海	（寄仆）	旭川
武藏山	（寄切）	若葉山
清水川	（押出）	瓊ノ浦
玉錦	（寄切）	出羽嶽

打出五時

二日目取組み

【東京十三日發電通】大相撲二日目取組左の如し

（駒ノ里）岩城山（藤ノ海）金華山（銚子灘）巴潟
（士州山）若瀨川（射水川）筑波嶺（雙葉山）海光山
（吉野岩）吉野山（大浪）潮川（古賀浦）鳳の花
（外ヶ濱）旭川（大邱山）若葉山（大郎山）男女川
（能代潟）出羽嶽（幡瀨川）淸水川（沖ツ海）錦洋山
（玉錦）錦山（武藏山）綾櫻

圖書展

日支時局關係の

第一日の入場者

既報の通り日支時局關係の圖書展覽會が十三日から總督府圖書館及び敎育會館において開かれたが、總督府圖書館には臺北市內小公學校兒童が職員に引率されて入場したもの凡そ千六百の多數にのぼり、臺北帝大の田中圖書館長一行を初めとし、約三百人の入場者あり頗る盛況で、敎育會館ポスター展の方にも閉館前に個人の來觀者約五百名に達した、尙ほ大學圖書館の滿洲事變後に於ける事變關係資料展覽會は十四日から十五日まで一般に公開される

保管の金を返濟せぬ

基隆中華會館の前首席

【基隆電話】基隆市義重町一ノ二五に居を構へ在留支那人間で第一位の貿易商林□帆は嘗て中華會館首席時代に保管してゐた會館の金六百圓を今に至るも返濟せぬので同館では困り拔き昨年十二月十日には職員會議を開いて對策を協議した結果會館側は證明郵便をもつて一週間內に返濟せぬ時は手續きをとる旨の最後の通牒を送つたがその成行は可成の興味をもつて見られてゐる

圖書館週間

映畫の夕

十四日新公園で

臺北市敎化聯合會の主催で十四日午後七時から新公園に於て圖書館週間映畫の夕を催し飛行機、上海及滿洲事變六卷を映寫する

發禁のエロ本を賣步く

【高雄電話】臺南州嘉義郡民雄庄□□行商兼田□はこの程高雄州岡山郡橋仔頭街で風俗壞亂の廉により發賣禁止となつてゐるエロ本を所持賣じてゐるのを岡山郡警察課員に發見檢擧され現品は押收されたが近頃州下において發禁のエロ本物語が盛んに行れてゐるので當局でも嚴重取締る方針であると

重松本社員嚴父

本社の神戶駐在員重松顯四郎氏の嚴父は持病の腦溢血で十三日朝遂に愛媛縣伊豫郡南伊豫村大字八倉五五にて逝去した

金山の兩產組總會

基隆郡金山庄保證責任金山信用購買販賣利用組合では第九回通常總會を十六日午前十時から金包里公學校に於て開催、保證責任金山利用組合第十八回通常總會も同日午後一時（時間勵行）から同所にて開催する由

大和丸より

（來航前以來）納々與今年南風に遭はれ南下しつつあり、十四日正午基隆岸壁著の豫定、林基隆憲兵司令官、桑木丸大砲長、北他乘員故內務一等川警部補乘船（十三日基隆無電受信）

第一高女の競步會

臺北第一高女にては十四日午前九時半より全校生徒の第六回競步會を開催するが水源地を出發點とし六張犁、三張犁を經て第一高女校に歸著する延長九千米の距離で正午終了の筈

本日の催し

△圖書館週間　錦町總督府圖書館、府立圖書館、敎育會館、帝大圖書館にて
△OBクラブ庭球戰　午後一時より新公園コートにて
△陸上兒童大會　午後六時より樺山町神社境內にて（新年、劇映畫）
△新舊日本刀劍展覽　丸の內臺灣俱樂部二階にて
△刀劍に就ての講演　午後七時より本社三階にて
△映畫公開　午後七時頃より新公園にて

大衆的娛樂經濟的合理化（雨天にても開演いたします）
天華移動劇場二の替り
一月二十九日まで　每日夜午後五時より二回　場所　京町　電話二三〇番
入場料　一、二〇　一、〇〇　五〇（小人各半）
南署橫空地

◇婦人公論所載◇原作廣津和郎◇四色上映◇監督曾根純三◇
女給　現代の卷　全十五卷
主演　北條たま子　水原玲子　歌川八重子　德川良子
◇原作者の言葉◇
信州音頭
の館

漢文　臺灣日日新報

法國態度猶有疑問
事務局案未許樂觀
不知小國肯否和協

十二日寄府電。事務局案。今者視爲規約十三條三項和協之唯一結論。對此案日本側全部的支持。不獨有躊躇之點。若受諾。不知小國肯否認否。尙屬疑問。又社會黨左派主力法國。從來或示大國的態度。視有疑問。然態度若變更。則純理派之小國再固持十九國原議案。恐促日本脫退。英國與東洋有直接利害關係。驟以縮少爲歐洲聯盟。最受打擊。恐左袒于純理派的態度。其態度未明。事務局案之前途。未許樂觀。又一說一方事務局。依十五條四項之報告書及勸告形草。開始準備。如得和協。則十六日之十九國委員會。將勸告提示於關係當事國也。

中國若提出動議
則廿日開臨時總會

十二日寄府電。國際聯盟一部。料十六日十九國委員會。中國若照規約第十五條第四項。提出報告書作製之動議。則臨時總會。當於二十日開之云。

我代表會議
事務局案必須修補

十二日寄府電。十二日午後九時（臺灣時間十三日午前四時）。我代表會議。議聯盟事務局案。至於深更。結局命見不滿之點數處。右報告於東京。而代表部之意見。十三日由杉村聯盟事務次長。傳達於事間陶事務總長。求其再考。又代表部會議。事務局案。全體欲緩和十九國委員會之決議案。言之漠然。其解釋將來有疑義。滿洲國之現狀。難保不發生違背日本眞意之事。決議案附屬議長宣言。如不附補充條件。恐貽禍根。此意見已出。今後必須若干修正增補。右會議後。松岡代表語左。對於事務局案之卓總長苦心可察。然不得含糊應之。杉村次長之手。十三日對卓總長。陳述意見。結局吾察肚裡。自有可決也。

貨車押收物資輸送杜絕
北平物價暴騰
鐵血青年團蹶起

十三日北平電。張學良雜軍平津進出。北平唐山間列車運轉混亂。平津各驛移動兵充滿。貨車被各軍閥押收。物資輸送杜絕。北平物價暴騰。北平鐵血青年團蹶起。與商人爭。

商、龐軍北上
天津方面
華軍充滿

十三日天津電。十二日午後至十三日朝。商震。龐炳勳軍天津通過北上者。達二十五列車。更續々移動。天津方面一帶。華軍充滿。

對七國政府
國府覺書

十三日南京電。國民政府對十二日團匪事件議定書調印國之七國政府。發送左記覺書。日本利用義和團事件議定書之特權。攻擊占領山海關。華軍對日本軍。不得不適當行使防禦權。故就法律的或事實上之結果。宣言中國全不負責

中央與學良
對立露骨

十三日南京電。山海關事件勃發以來。學良對中央報告。極不完全。學良眞意。頗不明確。國民政府使對外交次長北上。監視學良態度。右乃擴大事態。誘致聯盟或第三國介入。致日本陷於窮地。國民政府政策。學良由自己保全立場獨斷。今者學良與中央利害判然。兩者對立。意見露骨也。

南雅社一月例會
開於小松氏之寒翠閣

南雅社昭和八年一月例會。去十日下午四時半起。開於會員小松天籟氏之寒翠閣。是日得詩如左。終受小松氏招宴。飲讌至九時過散會。

新春雜詠　久保天隨

老來無復舊風情。久客逢春白髮生。懶後愁看殘畫似。千場影事不分明。

客子光陰夢裡過。此間經歷幾風波。祇別老後閒無事。老後人生事更多。

花月滿游誰與論。回頭身世易銷魂。但因癡飲狂懷減。零落青衫舊酒痕。

北來羽檄漫紛開。海水天寒落日曛。一局殘棋收拾未。長城盡處又風雲。

旅食南荒重値春。老夫穢底感酸辛。詩情只合同東閣。好與梅花聊一新。

祭雪書窓歲月除。萬鍾卻任世人誇。但教年少心長在。未向春風嘆鬢華。

同　魏潤庵

年來彌不合時宜。只有新詩報故知。却怪艷陽桃與李。當春先後沐恩私。

誰能昏夜乞人憐。白眼驕人白日前。一笑瓶梅知我拙。蕭齋相伴送新年。

澄清有志愧無能。坐擁書城歲月增。輸與農夫勤稼穡。春時下種夏時登。

同　小松天籟

志大才疎事々違。老來幾占一枝栖。如何萬步難呼醒。怕聽黃鶯得意啼。

淑氣春回滿四隅。新曦影閃日章旗。江湖同調梅花在。閱盡風霜古姿。

同　大西笠峰

曉起書窓旭日紅。祥光滿淡海之東。仰看天子神而聖。文質彬々實祚隆。

文質彬々實祚隆。果然天壤共無窮。好教豺虎低頭伏。犖壞應恩億兆忠。

犖壞應恩億兆忠。氷天雪窖偏師攻。懸知樽俎開帝屋。銜命欽差氣吐虹。

銜命欽差氣吐虹。坤球一統瑞雲籠。微臣遙拜東天杳。曉起書窓旭日紅。

同　尾崎古村

久客南荒萬里天。蒼顏白髮有誰憐。今朝始覺知非晚。彈指風塵六十年。

同　西川萱南

詩都王吊幾時還。中壺風雲仍變更。賓宇共瞻初日赫。萬方只合復清平。

一寓炎荒既十春。鬢看鏡裏鬢華新。故園兄弟遙書返。引領南溟魂斷頻。

同　柳川陵村

鳳曆春回霞氣長。和平一意帝猷昌。聯盟海外皆翹望。先自扶桑放旭光。

同

律轉乾坤萬象新。太和一氣又生春。佳晨獨立高臺上。朔北風雲報急頻。

南榮園　大西笠峰

負郭古亭墟。當年井結廬。三畦種新菜。一榻讀奇書。物外古風月。閒中臨釣魚。依然抵非水。設飲晚凉初。

同　西川萱南

郊外開林墅。號云南榮園。荷鋤觀學圃。鑿井皆推恩。時作琴書會。仍期教化敦。將軍仙去久。白屋至今存。

同　尾崎古村

疇昔南郊拓榮園。將軍仙去跡空存。即今敲擊肩摩地。便是晴耕雨讀村。

同　大浦思齊

蒼苔埋徑絕人蹤。朝暮只聽隣寺鐘。大事倩誰傳勝蹟。將軍當日作春農。

同　小松天籟

滿腹經綸韓范儔。從容退食足風流。夜凉三十餘年後。遺愛花開爲小留。

同　滕田翁亭

賊氣幾消掃城垣。南門一路通郊原。逍遙誰知私服客。英姿颯爽時笑言。將軍學圃非奸事。獨拓荒蕪結茅軒。好擊噴非供湯沐。便許采樵汲水源。耕罷自適。退食從容披襟煩。更延詩客守環堵。前有衣洲後古村。三十星霜匆々過。割入市中車馬喧。縱使此地經浩刧。且喜當年名蹟存。

同　柳川陵村

逐月微風避世喧。將軍結屋古亭村。誰知讌酒禮儀禮。潤出要彰攻教源。

城南地僻著蒲盧。雨讀晴耕樂有餘。記取將軍當日句。三畦蔬菜一牀書。

同　魏潤庵

卜築城南郊外村。此間自有別乾坤。退公賓客當盈座。養晦英雄且灌園。疏圃藥欄分徙倚。花瓶茗椀記溫存。我來欲問征俄事。近寺疎鳴夕照昏。

同　久保天隨

明公開墅古亭西。老來學圃執鋤犁。有時苦辛抱甕灌。惹心春嫩綠滿畦。衣洲見是能詩客。對榻清談堪永夕。始信報國將與儒。殄兇未必用兵革。年步歇回車馬過。隔斷紅塵兩色多。營施非泉猶可掬。路人卸擔且謳歌。傷心鳥散流水遊。騎鯨而去經幾歲。小范老子知同倫。仍寓適罵貴南驚。

席上聯句

海錯上盤酒盈缸。天隨
三五趁約足音跫。萱南
花間搖尾吠小尨。潤庵
忽聞佩玉響琤瑽。成軒
堂上屏障圖嶔嵷。直峯
主人高情廐門龐。壺溪
老榕似蓋蔭憧憧。翁亭
落梅片々撲硯窗。陵村
歸禽薄暮飛作雙。古村
煙外何處疎鐘撞。天籟
溶々春潮蘸石矼。思齊
前度勝游憶淡江。笠峰
逸醉忘吾心悰々。成軒
身於世事砥如淞。天籟
平生自信鼎可扛。陵村
安得巨筆如長杠。翁亭
却有才藻賦蒲茳。思齊
甲唱乙和交矛縱。潤庵
何日訂交唇齒邦。古村
厭聞蒋都語亂哤。笠峰
談笑移時別銀釭。萱南
扼腕迭矜氣勢厖。直峰
衣闌遠街已擊柝。壺溪
歌到酣處不成腔。天隨

理由書十三日決定
提示於代表部

十二日寄府電。事務局案中第一第二議案雖完成。然附此理由書。由卓總長發意。取議長宣言之形式。其內容須推敲。卓杉村兩氏。十三日再研究後。將提於代表部。又同案滿洲國文字及現狀可否之批評。似不包含也云。

鄧文一千侵入開魯
城內大恐慌
馮李三萬移動通遼

十二日新京電。據滿鐵入電。李海靑軍五千中。鄧文一千。橫斷四洮線。入熱河省。侵入開魯城內。有不穩形勢。城內大恐慌。湯玉麟依學良之命。馮占海。李海靑部下三萬。命其由開魯越省境。移動於通遼方面。

斷鄭桂林軍退路
我軍爆擊之

十二日錦州電。十二日午前十一時三十分。我○○隊。將僞勇軍總司令鄭桂林軍根據地永安堡。攻擊占據。鄭軍早知我進擊。遁入省境山地。我○○機。斷其退路。斷行爆擊。

三宅○隊
擊退匪軍

十二日山海關電。三宅○隊。十一日午前十一時頃。在鐵倘堡北方約一里。擊退暖泉子匪賊約二百。十二日出動討伐四方峯匪賊。山堅氷險路。勇躍前進。

廣東天然痘流行
廈門福州亦要警戒

對岸廣東。爲天然痘流行指定地。經依海港檢疫法施行規則。總督府。於去十三日公布。據由同地通報督府。當局狀況。昨年十一月初旬。有初發生者數名。其後急激增加。若十二月下旬。僅一星期間。發生二百餘名。是故對此天然痘流行期。病菌務使之不使入島內。早爲指定地。嚴重警戒。又如廈門福州、汕頭、對岸各地。亦似有發生。希望一般注意爲

兇行蕃人十名
決定留置

高雄州屏東郡下蕃地。昨年九月十九日突發之大關山蕃害事件。經當局苦心搜査結果。檢舉其犯人太魯一族。及拉馬達仙々一族。其後蕃情。依宣之指導很宜。不見有何等動搖。殘無問題。爲對于目下留置在里壠支廳之兇行蕃人十名之處分如何耳。就此處置。當局者議論有硬軟二派。結局以地元之參東廳一遂意見。爲標準處斷之。依是。則兇行蕃人十名。不付死刑處分。倣霧社事件之例。決附留置處分而已云。

大甲街劫棺案頻發
當局現命人看守各墓

大甲郡大甲街劫棺案。經屢載本報。主犯者余順金外一名在逃中。當局盡力訪緝。其事件未完。於昨日又發覺頂店大埔公共墓地。有埋葬社尾庄姚三江之母。死下裝身金簪三四兩。價三百數十圓。亦被劫棺。三江聞報。急往實地一觀。果有其事。隨即稟報於大甲分室。伊部主任接報。即時率巡査數名。臨査現場。屢被掘者。非止一次。現張非常網捕。一面命人看守。以防後事云。

老梅組合
通常總會

淡水郡老梅信用購買販賣利用組合。來十五日午前八時。于老梅公學校。開第十四回通常總會。附議諸事報告並決議。

高雄各街庄
協議會日程

高雄州下街庄協議會。決定依左記日程開會。▲屏東郡屏東街一月三十日。長興庄。二十八日。鹽埔庄。二十五日。高樹庄。二十七日。▲鳳山郡鳳山街二十三日。小港庄十四日。林園庄十二日。大寮庄十六日。大樹庄二十日。仁武庄二十七日。鳥松庄二十五日。▲旗山郡旗山街一月二十八日。美濃庄一月二十七日。杉林庄十八日。甲仙庄二十日。內門庄一月十六日。六龜庄二十四日。▲潮州郡潮州庄一月二十八日。萬巒庄一月二十三日。內埔庄一月二十四日。竹田庄一月二十四日。新埤庄一月二十九日。枋寮庄一月二十七日。枋山庄一月二十五日。▲岡山郡燕巢庄一月十八日。阿蓮庄一月二十日。路竹庄一月二十一日。彌陀庄一月二十三日。湖內庄一月二十四日。楠梓庄一月二十五日。左營庄一月二十六日。岡山庄一月二十七日。田寮庄一月三十日。（其他尚未決定）

時評

郵便貯金。激減二三億。足見降利反響之大矣。低利政策。一般未能盡行。如此大勢。政府何以矯而正之。

○

寄府我代表部。議對事務局案之結論及意見。而後電京請訓。究竟事務局。如何調和。我代表部。如何應承。當不出既定方針之範圍矣。

○

荒木大將。戰死興安嶺。武藤軍司令官。爲書頌功。侍從奏聞。宸衷滿足。臣子忠烈。猶有餘榮。種魂族裨。照映益大也。

○

陸軍少年空軍制一倘。華族子弟。及實業實魚少年。爭先志願。國民奉仕觀念之發達。此非一證歟。

○

調四十萬大兵。規復山海關。固守熱河。能不能。不須設想。烏合之兵。從而爲亂。識者憂之。南北各派軍長。能先綢繆否。

○

失關之石國長君。至於錦跪。失地失民之張學良君。猶爲華北盟主。非小敵大。刑罰失當。長奸枯惡。國家危矣。

○

總督於自治制。及土地諸問題。有機會輒言及。如見肺肝矣。二者於國利民福。關繫絕大。實行時機。好促進之。

○

上下兩院議員。近年來多來視察。在參政權未享自治權未擴之今日。得使本島事情。多少理解於中央。眞相無誤。幸甚。

○

督府圖書館。昨年延人員十九萬餘。其中本島人五萬餘。讀書種子。何如此之少也。

○

臺灣茶業。正要擴張之際。適波斯人來。彼此可謂得機矣。島內關係官民。俱宜有以應之。

帝大滿蒙圖書展
羅列珍奇和漢洋書
十四五日一般公開

臺北帝大圖書館。羅列滿蒙關係文獻。分陳于兩室。第一室爲遼金元清各時代歷史書。並滿蒙關係地誌及考古資料等。以本邦刊行物爲主。其漢籍洋書等係同大學所苦心蒐集之珍品。第二室滿蒙天然資源之調査資料。及各種產業財政。其他社會全般。又對自然科學方面之研究資料、網羅和漢洋書陳列。合兩室展開滿蒙創成當時至滿洲事變前之滿蒙鳥瞰圖。總點數四百。藉全島第二回圖書館週間機會。于十四五兩日午前九時起午後四時。將爲一般公開。

督府圖書館展覽
異彩報告及意見書

自十三日開始之督府圖書館滿洲上海事變關係資料展。由外務省寄贈國際聯盟中國調査委員會報告書（和英文）。同對報告書帝國政府意見書（和英文）。帝國參與員提出于國際聯盟中國調査委員會之調書。（英法文）。陸軍省發行滿洲現狀。海軍省發行上海事變關係圖書等。陳列書人所不期待之圖書資料。頗放異彩。以外由滿洲取到投亂書報等。多有可觀者。又臺北市役所。爲此圖書館週間。于十四日夜映照二宮尊德翁三卷。滿人吳鳳六卷。上海滿洲事變各一卷。爲一般公開云。

斗六郡街庄
第一回豫算
磋商完了

臺南州斗六郡街庄當局對于昭和八年度之豫算。召集各街庄長助役幹部等。于郡所樓上會議室。開算豫磋商會。去十三日。第一回完了。第二回按依左記日程開之。十四日大坤庄。十六日古坑庄。十七日莿桐庄。十八日斗南庄。十九日斗六街。

新竹大同會
贈彩抽籤
發表當籤番號

新竹島人聯合商店之大同會。歲暮贈彩大賣。去十二日午前九時。在公會堂抽籤。當籤番號。發表如下。即一等當籤二、五四六號。八、二九二。五、三〇八。二、六二四。八、六二四。二等二、八〇九。及八、八二三。二、九八五。三、四六四。九、〇九六。參等三、四八一號及九、二四二〇。四、八〇二。三、五四三〇。六、四三三。三、九九六。四等以下節略。

臺北勸業信組
申入口數
達三分之二

臺北勸業信用利用組合。於客臘底許可。開役員會決議。一、推薦陳清波氏。爲組合長。二、因經費節約上。至第二回總會。暫不置專務理事。三、各役員協力。募集組合員。自著手募集以來。申入者殺到。加入者數四百五十餘名。加入口數。達四千口。即三分之二。因是。役員一同。殊形緊張。準備開辦業務云。

新竹市住宅
欲貸與民間

新竹市。因市區改正。被折毀家屋不少。致市內住宅告缺。擬爲補充。將番山建築低利資。築成市營之文化住家三十六戶。在於新公園入口。欲貸下於民間。希望者。限來十五日向市會計課申之事。

起訴猶豫中
竊自轉車
被北署拘去

北署岸澤、橫塚、陳、黃四刑事。去十一日午前一時。在管內密行中。發見一舉動可疑本島人。拘之到署。査究結果。判明爲宮崎街長門三〇五番地。住所不定無職王阿枝。年二十一。曾因竊盜受起訴猶豫中。再由臺北醫院、千歲町市場、新起町市場。自轉車置場。竊取自轉車二十餘臺。竊取市內太平町二丁目賴清江所有之後拖車。及由數處。竊取現金。現正査究餘罪云。

厩焚馬死
溪口庄長宅中

嘉義郡溪口庄溪口溪口庄長張進國氏。年四十七。其家于十二日午前二時十分厩焚。當時派出所員及壯丁團員庄民等。急爲出救。至同三時撲滅。竹屋一棟蓋茅者被全燒。損害

管東密屠者
大肆恐嚇

臺南市役所。前因市內密屠者多。爲嚴行管束計。乃雇市寶町二丁目杜牛。年三十八。爲取締員。杜本一前科八犯之無賴。當局欲以毒攻毒。故用斯人。詎意杜竟乘此奸差。廣布爪牙。對諸密屠者。恫嚇金錢。予取予求。衆莫敢新。然事爲臺南警署干野吳兩刑事所聞。久在偵伺中。至客月遂爲所捕。雖屢次訊問。事無證左。頗難處理。渠亦堅不肯承。至去十一日。始自供其恐喝豚之挑夫萊松。謂不獻金供養。將報當局以免其職。是以萊妻自大昨年六月起。每月納渠兩金。此外更恐喝入船町康丕。福住町蔡非諸密屠數次。得資揮霍。當局以其必有他罪。現追究中云。

常習賭犯五名

大甲郡清水街人王哀。洪胡萬。陳鵠。洪閩。洪才等五名。去六日午後五時頃。在園家。賭四色牌。被張巡査。當場瞞見。一串均受捉住。同行中至小學校側。洪才突然逃脫。至翌日始在大街路上。游巡査捕住。事至去十一日。方由篠原司法主任。召一千人犯到案。一一問審後。而正式拘留。聞此班係常習賭犯云。

內地人賭漢
一串六名被拘

嘉義市檜町人宮川順喜。年四十五。榮町人西田仁一。年四十。西門町大寺本茂。年三十七。同八百山初太郎。年四十八。同高鍋喜吉。年四十九。同井上理平。年五十一等。若輩賭博常習者。去十二日午前零時十五分。在同町六丁目「三番地理髮店岩崎奈之處。賭花札牌。被西門町派出所員探知。立至現場。拘入嘉義署司法室留置待辦中云。

在北署取調
子殺傷父續報

臺北市太平町四丁目米商駱宗添。去十二日午後四時。被其子殺傷一節。已如前報。負傷全治二週間。現正在北署之手取調云。

員林公園後
投繯遇救

去十一日夜分七時頃。在員林公園左側。即圳溝邊蕉園內。有一婦女。正在以繩仔縛於自頸。欲懸樹自縊。幸逢消防組落成式當日。有多數男女。欲往公園觀戲。及到公學校。看放彩化煙火等之通行人所見。急爲解下。更率之歸家。聞該婦乃員林街三條圳人某甲之妻。原因爲與其夫口角云。

瑞芳

信組福引

瑞芳信組。訂來十四日午前九時起。在庄役場會議室。開第十一回通常總會。是日欲對出席者。發福引抽籤。等級本數如下。望會員多數出席。▲一等券現金五圓一本▲二等券洋傘二本。▲三等券茶盆五大。▲四等券洗面器一五本。▲五等券石鹼一七七本。▲六等券以下各毛巾一本。

閹鷄被竊

去十一日大雨之夜。瑞芳鯉潭坑二七八番地一帶居戶。廖水田外二戶。被偸鷄賊竊去。大鷄九頭及鴨六一。被害額三十餘圓。

嘉義

財盡子亡

嘉義郡中埔庄會計役張文洪。年二十七。與跳舞鼓陳氏枝梅。年十七。服毒情死。枝梅當時即死。文洪入嘉義病院救治。至十二日午前三時十五分亦死。照其遺書。云要與枝梅同穴。然張於同庄白芒埔共同墓地。公金費消額四千九百六十七圓。係於十一日。由乃父張晨。全部辦還清楚。聞倘有對民間借用約三千餘圓云。

火燒蔗園

嘉義郡大林庄大林新高製糖會社。所有同庄頂員林四六二蔗園發火。去十一日午後五時失火。庄民出爲打火。至六時半火息。計延燒甘蔗五十四萬斤。價格五百四十圓。現火原因未詳。

文山

圖書週間

全島讀書週間。新店庄圖書館。爲圖部落間讀者之便。特以庄內小公學校。爲中心地點。寄託巡迴圖書。以供利用。又另有映寫活動寫眞。力爲宣傳。日程如左。

一月十三日　夜於新店公學校
同　十四日　大坪林公學校
同　十五日　屈尺公學校
同　十六日　安坑公學校

橋落成式

既報新店庄安坑榮華護安橋。市架竣成。該地人士。於去十二日午後二時。舉行大之落成祝賀式。首由發起人敘禮。次村田庄長述祝。式畢開宴。六時散會。

總會日程

郡下各信組。昭和七年通常總會開催。決定如左。一月十六日午後一時石碇信用道□。同十八日午前九時安坑信用購買組合。同十九日午前九時。深坑信用購買組合。同二十日午前九時。木柵信用購買利用組合。同二十一日午後一時景美信用購買利用組合。同二十三日午後九時。新店信用購買利用組合。同二十五日午前九時。坪林信用組合。二月六日午前九時。文山鑛業組合。

北港

技術員會

北港郡當局爲左記事項。訂來十七日午前九時起。召集郡下各街庄產業技手。於郡役所會議室。開懇談會。

會議事項

一、郡守訓示昭和八年產業技手覺悟。

二、十二月中實施農業施政並指導農民概況。

三、昭和七年度州獎勵堆肥豚舍建設進步狀況。

四、一月中要實施農業施政並農民指導所關。

五、三年輪作指導圃設置狀況

六、昭和七年度乾燥場工事進行狀況（以上由各街庄說明）

七、由北港郡農會支會說明臺南州農會北港郡支會事業。

八、由農事組合說明北港郡農事組合事業。

研究發受講習報告（依時間都合開催）

一、由岩元技手說明高雄州下農事視察狀況。

二、由三开郡技手說明中央研究所農業部之堆肥講習會概況

養豚視察

北港郡當局以農組合聯合會。此回主催。組織婦人視察團。訂二月二日午前十時四十分。發北港。赴嘉義農事試驗場。及臺南州農會種畜場及關廟。歸仁兩庄。副業養豚。日程擬三日間。目下由各街庄當局農事組合。勸誘參加云。

街勢調査

財務局勸務課長高橋生駒兩氏外四名。爲調査郡下地租。產業。衛生。街庄勢一般等項。去十一日來港。按逗留三日來日云。

爲計利便

北港信用組合。專務理事。川氏。能及週年纏在新。一般商工業者之補助貨幣缺乏。者番投私財向各銀行引換數千圓之補助貨幣。各人限定五圓。現日攜帶社市內各商人店舖引換。爲計其利便。

新營

磋商豫算

新營郡後壁庄協議會。訂十五日午前九時起。開於同役場。其他五街庄之協議會日程。未決定。按二十七日起每日各開催一街庄協議會。目下在郡役所。行各街庄豫算之磋商云。

兩總代會

新營郡柳營信用組合。昭和七年度之純益。按配當七分。定來十六日午前十時。同組合事務所。開總代員會。又新營信組之配當。則爲五分。按十七日午前九時。在組合事務所。開總代員會。

澎湖

時裡魚利

馬公街管內嵵裡鄉。人口約七百餘。俱以圍捕客魚爲生。如丁香。鰻。四配鰛。及鰡鰹。泥鰍等類。去年底。風日晴和。出漁近海。捕得四配鰛無數。肩挑商販。及馬公市場。鰛魚商。到處紛嘩。其得利不貲云。

廈客談略

據近自廈門者云。當地魚肉及各物騰貴。無應暗殺。甚爲恐慌。惟土著民族。及外來客籍。以及我臺僑等。俱各相安無事。以該埔公安局長。及我住廈領事。凡事公明正大。不爲左袒。故各界亦能諒解。不生叢端。爲可喜之現象。惟近有一二無賴。恒與當地要求體賠。頗受有識者排斥云。

詩壇

關仔嶺雜詠　西川萱南

峽樹參天嵐翠重。鹽泉沸々響淙々。羨煞戎殿眞無比。判是溪山秀氣鍾。

亂山中斷一溪奔。峽屋煙濃日欲昏。嵐氣藹然堪入畫。紅塵隔絕似桃源。

王師當日服群番。回首卅年爲見奔。看取關務等皇化。早梅花發傍蕃門。

新春雜詠　廣瀨楳

門前松竹綠婆娑。飼鴉東風一嘯歌。世態炎涼都不管。詆將詩葉細吟哦。

爆竹聲喧入耳頻。山河面目喜翻新。不辭傾盡屠蘇酒。爲表歡迎萬象春。

每喜消自知解戀愛逢春。春笑語頻。乘興杖藜山上過。桃花楊柳照留神。

無多詩思可勝春。喜作餞鼻以上人。庭畔桃花紅映面。年々胸懷與時新。